歯科医学総合講義６：639-6-DP1・DP2・DP3・DP4・DP5・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
6年次	通年	６年次クラス担任主任

学修目標（ＧＩＯ）と単位数	・学修目標（ＧＩＯ）：より良き歯科医師，歯学研究者となるために，基礎歯科医学および歯科臨床的諸問題に対応できる知識・態度を修得する。 ・単位数：２２単位
担当教員	＊根岸　慎一、＊有川　量崇、＊石井　良昌、＊伊藤　誠康、※小椋　正之、＊小峯　千明、三枝禎、塩崎　一成、＊清水　武彦、平塚　浩一、＊深津　晶、＊福本　雅彦、＊村上　洋、谷本　安浩、＊中山　洋平、＊野本　たかと、＊秦　光賢、吉垣　純子、＊飯田　崇、＊青木　伸一郎、五十嵐由里子、＊伊東　浩太郎、＊内山　敏一、＊宇都宮　忠彦、加藤　治、＊清水　邦彦、＊高井　英樹、竹内　麗理、＊續橋　治、＊五十嵐　憲太郎、＊石井　かおり、＊伊藤　龍朗、＊卯田　昭夫、＊内堀　聡史、＊梅澤　幸司、＊榎本　豊、＊大久保　昌和、＊岡部　達、＊岡本　京、＊岡本　康裕、＊神尾　直人、＊神谷　直孝、＊北川　剛至、栄原　紀子、＊小出　恭代、河野　哲朗、＊五関　たけみ、＊齋藤　真規、＊下坂　典立、＊末光　正昌、＊鈴木　亜沙子、＊鈴木　到、＊鈴木　正敏、田口　千恵子、田中　陽子、＊玉木　大之、玉村　亮、＊寺中　文子、＊林　佐智代、＊村岡　宏隆、松野　昌展、＊山本　泰、＊辻　理子、＊岩﨑　正敏、＊清水　真美、＊山口　桜子、＊渡邊　昂洋、青野　悠里、＊網野　雄太、＊飯塚　普子、＊大塚　航平、榊　実加、鈴木　裕介、永田　俊介、＊矢口　学
講義実施要項	１．講義および試験：205教室（204教室） ２．講義は令和５年版歯科医師国家試験出題基準に順じて４ブロック・１４ユニットに分割する。 Ⅰ．　必修及び領域A総論；必修の基本的事項１～１２および歯科医学総論Ⅰ～Ⅷ 　ユニット　１：　基礎・衛生 　ユニット　２：　基礎・衛生及び臨床 　ユニット　３：　基礎・衛生及び臨床 　ユニット　４：　生化・生理・解剖・組織・感免・衛生・診断 　ユニット　５：　歯科材料・補綴・衛生 　ユニット　６：　修復・歯周・歯内・小児・矯正・障害者・衛生・病理・薬理・法医 　ユニット　７：　外科・麻酔・臨検・放射線 Ⅱ．　領域B各論；各論Ⅰ～Ⅴ 　ユニット　８：　保存・歯周・歯内・小児・矯正・有床・歯冠・高齢者・インプラント 　ユニット　９：　外科・麻酔・放射線 Ⅲ．　領域B臨実；各論Ⅰ～Ⅴ 　ユニット10：　保存・歯周・歯内・小児・矯正 　ユニット11：　有床・歯冠・高齢者・インプラント 　ユニット12：　外科・麻酔・放射線 Ⅳ．　必修及び領域A総論；必修の基本的事項１～１２および歯科医学総論Ⅰ～Ⅷ 　ユニット13：基礎 　ユニット14：臨床
評価方法（ＥＶ）	１．平常試験：知識の修得具合の進捗状況を確認するため，平常試験を実施する。 　1-1）ユニット別試験 　　・ユニットごとに講義終了後，計14回実施する。 　　・試験問題は講義内容を反映した，新規問題，歯科医学総合講義６定期試験，追・再試験過去問の改変問題，または歯科医師国家試験の改変問題とする。平常試験の再試験は行わない。 　1-2）国家試験過去問題試験　4月：100問 ２．定期試験および追・再試験 　2-1）中間試験 　　・必修・領域A（基礎・総論）ユニット（１～７）終了後，歯科医師国家試験合格に必要な学力を適正に評価するため，中間試験（全400問）を実施する。問題は歯科医師国家試験に準じた改変問題，オリジナル問題，および学修ドリル問題を出題の中心とし，必修200問，領域Ａ200問とする。 　2-2）定期試験１、２ 　　・全ユニット終了後，歯科医師国家試験合格に必要な学力を適正に評価するため，定期試験（各400問）を実施する。問題は歯科医師国家試験に準じた改変問題を出題の中心とし，領域別出題割合は，歯科医師国家試験出題基準のブループリントに準ずる。定期試験に対する追・再試験は行わない。公欠の場合は平常試験の成績を定期試験の成績に振り替える。 ３．合否判定基準 　3-1）定期試験１，中間試験 　　・必修および領域Ａは中間試験の得点を全体の40%，定期試験１の得点を全体の60%とした総計100%を評価対象とする。 　　合格基準は正答率が，必修は８０%以上，領域Aおよび領域Ｂはそれぞれ７０%以上とする。合格者はすべての領域で合格基準を満たす者とする。ただし，4/5以上の出席を満たした者には，平常試験等の結果を合否判定に考慮することができる。 　3-2）定期試験２ 　　・合格基準は正答率が，必修は８０%以上，領域Ａおよび領域Ｂはそれぞれ７０%以上とする。合格者はすべての領域で合格基準を満たす者とする。ただし，4/5以上の出席を満たした者には，平常試験等の結果を合否判定に考慮することができる。 ＊歯科医学総合講義６の判定基準は，定期試験１（中間試験含む）および定期試験２がともに合格基準を満たしていることとする。

学生へのメッセージ オフィスアワー	講義内容は講義当日中に復習し，翌日以降に先延ばししないよう努力してください。疑問点，不明点があれば，講義担当者に質問することも有効です。該当する歯科医師国家試験の過去問題を必ず解くようにしてください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/01（火） 1時限 08:40～09:40	ガイダンス１	【授業の一般目標】 歯科医学綜合講義６に関する概略と評価について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医学総合講義６に関する概略を理解する。 2.歯科医学綜合講義６に関する評価を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：特に必要としない 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/04/02（水） 1時限 08:40～09:40	平常試験０ 国家試験過去問題試験	【授業の一般目標】 国家試験過去問題試験100問を解くことで、国試過去問題に対する知識の習得状況を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 国家試験の過去問題（必修・総論・各論）を解説することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/04/03（木） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A（材料）歯科材料・歯科生体材料の物理的、機械的、化学的および生物学的性質、応力－ひずみ曲線	【授業の一般目標】 歯科材料・歯科生体材料を理解するために、それらの物理的、機械的、化学的および生物学的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.金属材料、高分子材料、セラミック材料および複合材料の種類と性質について説明できる。 2.歯科生体材料の力学的、物理的および化学的性質について説明できる。 3.歯科生体材料の生物学的性質および生体安全性について説明できる。 4.応力－ひずみ曲線について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ａ　基本的性質	谷本　安浩
2025/04/04（金） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A（衛生）齲蝕の予防管理	【授業の一般目標】 適切な健康管理、増進を行うために、齲蝕の予防・管理について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.齲蝕の病因について説明できる。 2.齲蝕活動性試験・評価について説明できる。 3.代用甘味料について説明できる。 4.齲蝕の予防手段について説明できる。	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/04（金） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （衛生）齲蝕の予防管理	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕の予防・管理について、国家試験過去問を学修すること。 事前学修時間：60分 事後学修項目：齲蝕の予防・管理について、講義で得られた知識を定着させること。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　マルチメディア/資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ｂ　初期齲蝕の診断 ｃ　フッ化物応用 ｄ　食生活指導	田口　千恵子
2025/04/05（土） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （生理）　体液・血液	【授業の一般目標】 体液の異常で起こる疾病を理解するために，正常な体液の役割を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.体液の種類と組成を説明できる。 2.血球の生成と役割を説明できる。 3.貧血の種類と原因を説明できる。 4.出血性素因の種類と原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：体液の分類を学習する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：貧血と出血性素因が起こるメカニズムを理解する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ　主要症候 １　全身の症候 オ　血液・造血器、免疫	吉垣　純子
2025/04/07（月） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （組織）上皮組織	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、上皮組織の構造について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.細胞の構成要素を説明できる。 2.上皮組織の種類と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：上皮組織について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体等：パワーポイント、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】	河野　哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/07（月） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （組織）上皮組織	必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	河野　哲朗
2025/04/08（火） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （病理）　先天異常・奇形、嚢胞	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、先天異常及び奇形、嚢胞に関する病理学的知識について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2.先天異常を分類できる。 3.遺伝障害について説明できる。 4.胎児障害について説明できる。 5.奇形の成り立ちについて説明できる。 6.口腔・顎・顔面領域の代表的な先天性疾患の特徴について説明できる。 7.顎顔面口腔領域に発生する嚢胞の分類と病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・遺伝障害 ・胎児障害 ・症候群、特に色素沈着を認めるものと腫瘍を随伴するもの 事前学修時間：30分 事後学修項目： ・先天異常・奇形：確認試験及び解説 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｂ　先天異常・発育異常 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｋ　嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患	＊宇都宮　忠彦
2025/04/09（水） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （解剖）胸腹部内臓	【授業の一般目標】 胸腹部内臓の構成を説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.消化器系の構成を説明できる。 2.呼吸器系の構成を説明できる。 3.泌尿器系の構成を説明できる。 4.生殖器系の構成を説明できる。 5.循環器系の構成を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：各器官系の概要を復習する。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 プリントの配布、マルチメディアを使用。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	塩崎　一成 松野　昌展
2025/04/10（木） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （感免）　病原微生物と感染症①	【授業の一般目標】 微生物感染症について理解するために，感染症の種類と起因する微生物について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる 3.真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。 4.原虫感染症の種類と起因する原虫を説明できる。	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/10（木） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （感免） 病原微生物と感染症①	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習，関連する国家試験問題の解き直し 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ｂ　感染症	＊齋藤　真規
2025/04/11（金） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （衛生）歯周疾患の予防管理	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯周疾患の予防・管理、歯・口腔の不潔、機能・育成について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯周疾患の病因について説明できる。 2.歯周疾患のリスク因子について説明できる。 3.歯周疾患の予防手段について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯周疾患の予防、歯の沈着物に関して学修しておく。 ・事前学修時間：　60分 ・事後学修項目：配布資料を軸に、歯周疾患の予防、歯の沈着物、口腔ケア、ライフステージにおける保健指導を整理する。 ・事後学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　マルチメディア/配布資料/教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ａ　歯肉炎の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ｃ　口腔清掃指導 ｄ　禁煙支援 ｅ　生活習慣指導	田口　千恵子
2025/04/12（土） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （薬理） 薬物療法の基礎	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基本（薬物動態・薬理作用の機序）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物動態について説明できる。 2.薬理作用の機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法の基本（薬物動態・薬理作用の機序）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/14（月） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （生理） 内分泌	【授業の一般目標】 ホルモンの役割と分泌制御機構を理解し，内分泌異常について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.内分泌と外分泌の違いを説明できる。 2.ホルモンの種類と受容体を説明できる。 3.内分泌による糖代謝調節を説明できる。 4.内分泌によるカルシウム代謝調節を説明できる。 5.内分泌による体液調節を説明できる。 6.内分泌における視床下部の役割を説明できる。 7.ストレス応答における内分泌の役割を説明できる。 8.内分泌異常の原因を説明できる。 9.ホルモン分泌の概日リズムを説明できる。 10.性ホルモンの役割を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：内分泌器官と分泌されるホルモンの名称を復習しておく。 ・準備学修時間：１時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ケ　内分泌系 ａ　内分泌器官 ｂ　ホルモンの合成・分泌・作用	吉垣　純子
2025/04/15（火） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （病理）嚢胞	【授業の一般目標】 顎口腔領域の嚢胞性疾患の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.嚢胞性疾患の特徴を説明できる。 3.嚢胞性疾患の鑑別を行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：嚢胞性疾患の特徴を理解する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：嚢胞性疾患の特徴を説明できる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 ｂ　非歯原性嚢胞 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞	＊末光　正昌
2025/04/16（水） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （組織）支持組織 ①	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、結合組織、軟骨組織の構造について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.結合組織の分類を説明できる。 2.結合組織を構成する線維を説明できる。 3.結合組織に存在する細胞を説明できる。 4.軟骨組織を分類し、それぞれの組織学的特徴および存在部位を説明できる。	河野　哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/16（水） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （組織）支持組織 ①	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：結合組織、軟骨組織の構造 事前学習時間：30分 事後学修項目：結合組織、軟骨組織の構造について配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	河野　哲朗
2025/04/17（木） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （材料）義歯用材料、義歯床用裏装材、磁性アタッチメント	【授業の一般目標】 義歯用材料、義歯床用裏装材および磁性アタッチメントを理解するために、それらの基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.義歯用材料の種類、組成および性質について説明できる。 2.義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。 3.義歯床用裏装材の種類、組成および性質について説明できる。 4.磁性アタッチメントの仕組みと磁性合金の種類および性質について説明できる。 5.ノンメタルクラスプデンチャー用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｆ　歯冠修復・義歯用材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ６　歯冠修復・義歯用材料 ア　レジン（樹脂）系材料 ａ　加熱重合型アクリルレジン、常温重合型アクリルレジン ｂ　ポリスルフォン、ポリカーボネート ｆ　ステンレス鋼、歯科用磁性合金 オ　人工歯 カ　義歯床用リライン材 ７　成形技術・機器 ア　レジン（樹脂）系材料の成形技術・機器 ａ　加熱重合 ｂ　常温重合（流し込み成形） ｄ　加熱・加圧成形	永田　俊介
2025/04/18（金） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （衛生）口腔清掃	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯・口腔の不潔、機能・育成について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯の沈着物について説明できる。 2.口腔ケアについて説明できる。 3.ライフステージにおける保健指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：歯の沈着物に関して学修しておく。 ・事前学修時間：　60分 ・事後学修項目：配布資料を軸に、歯の沈着物、口腔ケア、ライフステージにおける保健指導を整理する。 ・事後学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　マルチメディア/配布資料/教科書 【学修方略（ＬＳ）】	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/18（金） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （衛生）口腔清掃	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｃ　口腔清掃（歯磨剤を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 イ　歯周疾患の予防・管理 ｅ　生活習慣指導 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｂ　保健指導	田口　千恵子
2025/04/19（土） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （生化）細胞・細胞小器官	【授業の一般目標】 生体を構成する成分を理解するために，細胞・細胞小器官の構造・機能を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.細胞・細胞小器官の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：既に配布されているプリントを見直し不明な点を探っておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布したプリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｃ　細胞・細胞小器官の構造・機能	竹内　麗理
2025/04/21（月） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （生化）五大栄養素	【授業の一般目標】 身体を構成する基本物質を理解するために，タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.生体を構成する基本成分を説明できる。 2.五大栄養素とエネルギー代謝を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：既に配布されているプリントを見直し不明な点を探っておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布したプリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｃ　細胞・細胞小器官の構造・機能	竹内　麗理
2025/04/22（火）	U1必修・領域A	【授業の一般目標】	＊末光　正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:40	（病理）腫瘍	顎口腔領域の腫瘍性疾患を鑑別することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.腫瘍性疾患の特徴を説明できる。 3.腫瘍性疾患の鑑別を行える。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：腫瘍性疾患の特徴を説明できる。 準備学修時間：60分 事後学修項目：腫瘍性疾患の鑑別点を説明できる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ｂ　歯原性悪性腫瘍 ｃ　非歯原性良性腫瘍 ｄ　非歯原性悪性腫瘍	＊末光　正昌
2025/04/23（水） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （解剖）歯の解剖学	【授業の一般目標】 歯の種類とその形態的特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯の種類と記号を説明できる。 2.永久歯の形態的特徴を説明できる。 3.乳歯の形態的特徴を説明できる。 4.歯種の鑑別ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の模型で歯冠の形，歯根の形と数を観察する。 ・準備学修時間：45分 ・事後学習項目：歯の種類とそれぞれの形態的特徴を覚える。 ・事後学習時間：45分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 必要に応じてスライドの提示，資料配布 講義で歯の模型(歯根付き)を使用するので各自持参すること。 確認テスト、平常試験1は５年３月の講義内容も含む。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 ア　歯の形態 ａ　基本事項	塩崎　一成 松野　昌展
2025/04/24（木） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （衛生）口腔状態の指標	【授業の一般目標】 健康保持・増進のための歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理に関する指標の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.齲蝕の予防効果の評価 2.歯周疾患の予防効果の評価 3.口腔清掃状態の評価 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯の硬組織疾患、歯周疾患の指標について 事前学修時間：60分 事後学修項目：歯の硬組織疾患、歯周疾患の指標について 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布・マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/24（木） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （衛生）口腔状態の指標	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ａ　歯の硬組織の検査 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患	田口　千恵子
2025/04/25（金） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （感免）病原微生物と感染症②	【授業の一般目標】 微生物感染症について理解するために，感染症の種類と起因する微生物について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる 3.真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。 4.原虫感染症の種類と起因する原虫を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ｂ　感染症	＊齋藤　真規
2025/04/26（土） 1時限 08:40～09:40	U1必修・領域A （薬理）　薬物療法の基礎	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基本（薬物動態・薬理作用の機序）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物動態について説明できる。 2.薬理作用の機序について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法の基本（薬物動態・薬理作用の機序）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態	三枝　禎
2025/04/28（月） 1時限 08:40～09:40	ガイダンス２	【授業の一般目標】 歯科医学総合講義に関する概略と評価について説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医学総合講義６に関する概略を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：特に必要としない。 ・準備学修時間：０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊根岸　慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/28（月） 1時限 08:40～09:40	ガイダンス２	無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/04/30（水） 1時限 08:40～09:30	平常試験１	【授業の一般目標】 歯科基礎医学知識の修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科基礎医学の知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など 準備学修時間：知識の修得に十分な学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/05/01（木） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （材料）合着・接着用材料	【授業の一般目標】 合着・接着用材料の種類、組成および性質について理解、学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 合着・接着用材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ９　装着用材料 ア　合着・接着用セメント ａ　レジンセメント 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ９　装着用材料 ア　合着・接着用セメント ｂ　グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント ｃ　その他歯科用セメント イ　仮着用セメント	永田　俊介
2025/05/01（木） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （材料）接着	【授業の一般目標】 被着面に対する接着術式を適切に行うために、接着システムについて理解、学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/01（木） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （材料）接着	205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ８　接着処理・技術 ア　接着性モノマー 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ８　接着処理・技術 イ　歯質接着処理 ａ　エナメル質被着面処理 ｂ　象牙質被着面処理 ａ　セラミックス被着面処理 ｂ　コンポジットレジン被着面処理 ｃ　金属被着面処理	永田　俊介
2025/05/01（木） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （材料）成形修復材料	【授業の一般目標】 成形修復材料を理解するために、それらの種類および基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。 2.コンポジットレジンにおけるフィラーの種類と役割について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア　成形修復用材料 ａ　コンポジットレジン 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア　成形修復用材料 ｂ　グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント	永田　俊介
2025/05/01（木） 4時限 13:00～13:50	学修ドリル試験１	【授業の一般目標】 必修・領域Aの範囲の学修ドリル試験を解くことで、国試過去問題に対する習得状況を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.国家試験の過去問題（必修・総論）を解説することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：学修ドリル、実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/05/01（木） 5時限 14:00～14:50	学修ドリル試験１	【授業の一般目標】 必修・領域Aの範囲の学修ドリル試験を解くことで、国試過去問題に対する習得状況を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.国家試験の過去問題（必修・総論）を解説することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：学修ドリル、実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。	＊根岸　慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/01（木） 5時限 14:00～14:50	学修ドリル試験１	【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/05/02（金） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （生化）エネルギー代謝	【授業の一般目標】 エネルギー代謝を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質の特徴、消化・吸収・ATP合成経路を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.タンパク質を構成するアミノ酸の構造と性状を説明できる。 2.炭水化物の種類と特徴を説明できる。 3.脂質の構造と特徴を説明できる。 4.ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。 5.エネルギー代謝経路を説明できる。 6.脱アミノ反応、β酸化、オルニチン回路を説明できる。 7.酵素の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：既に配布されているプリントを見直し不明な点を探っておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布したプリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	竹内　麗理
2025/05/02（金） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （生化）細胞外基質１	【授業の一般目標】 細胞外基質の役割を理解するために、その種類と特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.細胞外基質を列挙できる。 2.細胞接着配列を説明できる。 3.コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。 4.コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。 5.MMPの種類と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年・４年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	竹内　麗理
2025/05/02（金） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （生化）細胞外基質２	【授業の一般目標】 細胞外基質の役割を理解するために、その種類と特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.細胞外基質を列挙できる。 2.細胞接着配列を説明できる。 3.コラーゲン・ラミニン・プロテオグリカンの違いを説明できる。 4.コラーゲンの合成過程および分解過程を説明できる。 5.MMPの種類と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年・４年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	竹内　麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/02（金） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （生化）細胞外基質２	アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	竹内　麗理
2025/05/02（金） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ａ　放射線の性質と作用	＊村岡　宏隆
2025/05/02（金） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ａ　放射線の性質と作用	＊村岡　宏隆
2025/05/02（金） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。	＊村岡　宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/02（金） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ａ　放射線の性質と作用	＊村岡　宏隆
2025/05/07（水） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （組織）支持組織②	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、骨組織と血液の成分、骨髄の構造について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.骨組織に存在する細胞を列挙し、その構造と特徴を説明できる。 2.骨組織の基本構造について説明できる。 3.骨化様式および骨改造現象について説明できる。 4.血液の成分を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 5.骨髄の構造と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：骨組織と血液の成分、骨髄の構造 事前学習時間：30分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	河野　哲朗
2025/05/07（水） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （組織）歯・歯周組織①（エナメル質）	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、エナメル質の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.エナメル質の構造を説明できる。 2.エナメル質の成長線を説明できる。 3.エナメル質の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：エナメル質の構造 事前学習時間：60分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	河野　哲朗
2025/05/07（水） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （組織）歯・歯周組織②(象牙質・歯髄複合体1)	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。 2.象牙質の成長線を説明できる。	河野　哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/07（水） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （組織）歯・歯周組織②(象牙質・歯髄複合体1)	3.象牙質・歯髄複合体の加齢変化を説明できる。 4.歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：象牙質・歯髄複合体の構造 事前学習時間：60分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	河野　哲朗
2025/05/07（水） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｄ　エックス線撮影（口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影）	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平
2025/05/07（水） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/07（水） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	ｄ　エックス線撮影（口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影）	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平
2025/05/07（水） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （放射線）画像診断・放射線治療	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｄ　エックス線撮影（口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影）	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平
2025/05/08（木） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （衛生）健康管理・増進、予防	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.感染症の動向について説明できる。 2.感染症の成立について説明できる。 3.感染症の予防対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ７　感染症対策 ア　感染症対策と疫学 ｂ　感染症の予防	＊鈴木　到
2025/05/08（木） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （衛生）予防と健康管理・増進	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために，健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.地域社会と地域保健について説明できる。 2.学校保健の意義と分野について説明できる。 3.食育と学校安全について概説できる。 4.学校保健活動の組織について説明できる。 5.保健管理について説明できる。 6.組織活動について説明できる。 7.学校安全について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/08（木） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （衛生）予防と健康管理・増進	アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｃ　学校保健	＊鈴木　到
2025/05/08（木） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （衛生）予防と健康管理・増進	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために，健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.精神保健福祉について説明できる。 2.障害者保健福祉について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 カ　障害児・障害者の保健・福祉 ｄ　自立支援と福祉の制度	＊鈴木　到
2025/05/08（木） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （臨検）赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.検査の手技（採血・尿検査・血圧）を説明できる。 3.貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧 について説明できる。 4.検査結果を適切に分析することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：４年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：４年次に配布した講義ファイル、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊福本　雅彦
2025/05/08（木） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （臨検）赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.検査の手技（採血・尿検査・血圧）を説明できる。 3.貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧 について説明できる。 4.検査結果を適切に分析することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊深津　晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/08（木） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （臨検）赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断	事前学修項目：４年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：４年次に配布した講義ファイル、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊深津　晶
2025/05/08（木） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （臨検）赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.検査の手技（採血・尿検査・血圧）を説明できる。 3.貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧 について説明できる。 4.検査結果を適切に分析することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：４年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：４年次に配布した講義ファイル、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊續橋　治
2025/05/09（金） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （感免）病原微生物と感染症③	【授業の一般目標】 微生物感染症について理解するために，感染症の種類と起因する微生物について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる 3.真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。 4.原虫感染症の種類と起因する原虫を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ｂ　感染症	＊齋藤　真規
2025/05/09（金） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （感免）病原微生物と感染症④	【授業の一般目標】 口腔と全身に関するウイルス感染症を理解するために，感染症と起因する病原体について学修する。	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/09（金） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （感免）病原微生物と感染症④	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ウイルスの基本構造と性状および増殖様式を説明できる。 3. ウイルス感染症と起因となるウイルスの性状を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔と全身に関するウイルス感染症について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容について復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ａ　病原微生物	＊齋藤　真規
2025/05/09（金） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （感免）病原微生物と感染症⑤	【授業の一般目標】 口腔と全身に関するウイルス感染症を理解するために，感染症と起因する病原体について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ウイルスの基本構造と性状および増殖様式を説明できる。 3. ウイルス感染症と起因となるウイルスの性状を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔と全身に関するウイルス感染症について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容について復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 ａ　病原微生物	＊齋藤　真規
2025/05/09（金） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （臨検）赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断１	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 検査の手技（採血・尿検査・血圧）を説明できる。 3. 貧血、出血性素因、炎症・感染症、肝機能、腎機能、糖尿病、血圧 について説明できる。 4. 検査結果を適切に分析することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：４年次に配布した講義ファイルの必修・総論分野、基準値表、歯科医師国家試験出題基準 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：４年次に配布した講義ファイル、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	田中　陽子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/09（金） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （歯内）病態と検査	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯・歯髄・根尖歯周組織の正常構造を説明できる。 3.炎症の原因と機序を説明できる。 4.急性炎症と慢性炎症を説明できる。 5.歯髄からの痛みの伝達を説明できる。 6.歯内療法における診査・検査・診断について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容　歯髄・根尖歯周組織の正常構造と疾患の病態 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体　プリント　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｂ　歯髄・根管の検査	＊渡邊　昂洋
2025/05/09（金） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （歯内）基本手技と器具器材	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯内治療の基本的手技について説明できる。 3.歯内治療に用いる器具器材について説明できる。 4.歯髄保存療法について説明できる。 5.歯髄除去療法について説明できる。 6.根尖性歯周疾患の治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容　歯髄・根尖歯周組織の正常構造と疾患の病態 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体　プリント　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｂ　歯内療法	＊渡邊　昂洋
2025/05/10（土） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （生理）　興奮の伝導と伝達	【授業の一般目標】 神経と筋肉の働きを理解するために，膜電位と興奮伝導・伝達のメカニズムを学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.静止膜電位の成立機構を説明できる。 2.活動電位の発生メカニズムを説明できる。 3.神経，骨格筋，心筋の活動電位の違いを説明できる。 4.細胞外電極法と細胞内電極法を説明できる。 5.神経線維の種類と役割を説明できる。 6.興奮伝達のメカニズムを説明できる。 7.主な神経節の名称と役割を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：細胞内外のイオン組成を復習しておく。チャネルとポンプの役割を理解しておく。 ・準備学修時間：１時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/10（土） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （生理） 興奮の伝導と伝達	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ク　神経系 ａ　ニューロン、グリア	吉垣　純子
2025/05/10（土） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （生理） 神経系1 中枢と末梢	【授業の一般目標】 神経障害を理解するために，神経の種類と働きを学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.神経系の分類を説明できる。 2.中枢神経の働きを説明できる。 3.脳神経の役割を説明できる。 4.主な神経節の役割を説明できる。 5.神経線維の分類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：神経の解剖学的走行について確認しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ク　神経系 ｄ　自律機能 ｃ　運動機能 ｅ　高次脳機能	吉垣　純子
2025/05/10（土） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （生理） 神経系2 自律神経	【授業の一般目標】 神経障害を理解するために，神経の種類と働きを学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.自律神経の特徴を説明できる。 2.各臓器における自律神経の調節機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：神経の解剖学的走行について確認しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ク　神経系 ｄ　自律機能 ｃ　運動機能 ｅ　高次脳機能	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/12（月） 1時限 09:00～09:50	U2 必修・領域A （病理）先天異常	【授業の一般目標】 病理総論における先天異常を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.先天異常に関する国家試験問題を解説できるようになる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書の熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 イ　細胞・組織の損傷 ａ　代謝障害（変性）	＊末光　正昌
2025/05/12（月） 2時限 10:00～10:50	U2 必修・領域A （病理）循環障害	【授業の一般目標】 病理総論における循環障害を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.循環障害に関する国家試験問題を解説できるようになる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 オ　循環障害 ａ　全身の循環障害	＊末光　正昌
2025/05/12（月） 3時限 11:00～11:50	U2 必修・領域A （病理）　奇形、循環障害のまとめ	【授業の一般目標】 病因と病態を理解するために、先天異常及び退行性病変に関する病理学的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2.先天異常の分類と病理学的特徴について説明できる。 3.循環血液量の異常を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。 4.閉塞性循環障害を列挙し、その病理学的特徴について説明できる。 5.ショックの分類と病理学的特徴について述べることができる。 6.側副循環の異常について解説できる。 7.浮腫の成り立ちや病態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・奇形の分類 ・循環血液量の異常(充血、うっ血、虚血、出血、側副循環の異常、ショック) ・閉塞性循環障害(血栓、塞栓、梗塞、DIC) 事前学習時間：30分 事後学修項目：・奇形と循環傷害の学修資料 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態	＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/12（月） 3時限 11:00～11:50	U2 必修・領域A （病理）　奇形、循環障害のまとめ	ア　疾病の概念 ｂ　先天異常・発育異常 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｈ　循環障害	＊宇都宮　忠彦
2025/05/12（月） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （歯内）治療と器具	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯・歯髄・根尖歯周組織の正常構造を説明できる。 3.炎症の原因と機序を説明できる。 4.急性炎症と慢性炎症を説明できる。 5.歯髄からの痛みの伝達を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容　歯髄・根尖歯周組織の正常構造と疾患の病態 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体　プリント　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｂ　歯内療法	＊神尾　直人
2025/05/12（月） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （修復）	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の治療を適切に実施できる歯科医師になるために、歯科医師国家試験の保存修復領域既出問題に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯科医師国家試験の保存修復領域問題に対応できる。 3.歯の硬組織疾患の検査について説明できる。 4.修復治療の前準備・補助法について説明できる。 5.修復治療の基本的手技について説明できる。 6.硬組織疾患の検査と修復前準備に用いる器材について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯の硬組織疾患の検査（P.56-64）、修復治療の前準備・補助法（P.125-108） 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学　第6版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊神谷　直孝
2025/05/12（月） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （修復）	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の治療を適切に実施できる歯科医師になるために、歯科医師国家試験の保存修復領域既出問題に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯科医師国家試験の保存修復領域問題に対応できる。 3.歯の硬組織疾患の検査について説明できる。 4.修復治療の前準備・補助法について説明できる。 5.修復治療の基本的手技について説明できる。 6.硬組織疾患の検査と修復前準備に用いる器材について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯の硬組織疾患の検査（P.56-64）、修復治療の前準備・補助法（P.125-108） 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。	＊神谷　直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/12（月） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （修復）	事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学　第7版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊神谷　直孝
2025/05/13（火） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （解剖）頭蓋冠・頭蓋底	【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために頭蓋冠、頭蓋底を構成する各骨を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭蓋冠の構造を説明できる。 2.前頭骨の構造を説明できる。 3.後頭骨の構造を説明できる。 4.頭蓋底の構造を説明できる。 5.側頭骨の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有　頭蓋骨模型を用いて学習内容を各自が確認する。 （第１実習室で骨実習を予定） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ａ　頭蓋の全容	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/05/13（火） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （解剖）頭蓋冠・頭蓋底	【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造を理解するために頭蓋底、眼窩、鼻腔を構成する各骨を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.蝶形骨の構造を説明できる。 2.頭蓋底の構造を説明できる。 3.眼窩の構造を説明できる。 4.篩骨の構造を説明できる。 5.鼻腔の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有　頭蓋骨模型を用いて学習内容を各自が確認する。 （第１実習室で骨実習を予定） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ａ　頭蓋の全容	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/05/13（火） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （解剖）口蓋、上顎骨、下顎骨	【授業の一般目標】 口蓋、翼口蓋窩、上顎、下顎骨の構成を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.上顎骨周囲を構成する骨の名称と構造を説明できる。 2.翼口蓋窩の構造を説明できる。 3.下顎骨の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/13（火） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （解剖）口蓋、上顎骨、下顎骨	・準備学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有　頭蓋骨模型を用いて学習内容を各自が確認する。（第１実習室で骨実習を予定） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ａ　頭蓋の全容	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/05/13（火） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （修復）	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の治療を適切に実施できる歯科医師になるために、歯科医師国家試験の保存修復領域既出問題に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯科医師国家試験の保存修復領問題に対応できる。 3.代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 4.回転切削器械の種類と用途について説明できる。 5.回転切削器具の種類と用途について説明できる。 6. 回転切削器械以外の硬組織切削法について説明できる。 7.歯髄障害の原因について説明できる。 8.歯髄保護法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：硬組織の切削(p.97～105)、修復治療の留意点(p.120～125) 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（医歯薬出版　保存修復学　第6版、第7版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊神谷　直孝
2025/05/13（火） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （修復）	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の治療を適切に実施できる歯科医師になるために、歯科医師国家試験の保存修復領域既出問題に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯科医師国家試験の保存修復領域問題に対応できる。 3.修復治療の診療姿勢について説明できる。 4.修復治療の窩洞について説明できる。 5.修復物の具備すべき形状と面の性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：診療姿勢（P.36-40）、窩洞（P.109-120）、象牙質・歯髄複合体の保護法（P.122-128）、修復物の具備すべき形状と面の性質（P.135-137） 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（医歯薬出版　保存修復学　第6版、第7版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊神谷　直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/13（火） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 歯周治療学領域の臨床症例ついて適切な処置方針を立案するために、歯科医師国家試験実施問題の分析を行い臨床症例の分析法を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.与えられた歯周治療学領域における臨床症例について，その臨床的な問題点を抽出できる。 3.与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：111～117回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり（問題の演習と学生による解説） 学修媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｅ　歯周外科治療（歯周組織再生療法）	＊高井　英樹
2025/05/14（水） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （材料）印象材	【授業の一般目標】 印象材について理解するために、それらの基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.印象材の種類、組成および性質について説明できる。 2.印象材の弾性ひずみと永久ひずみについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｃ　印象用材料・機器 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ３　印象用材料 ア　非弾性印象材 ａ　酸化亜鉛ユージノール ｂ　モデリングコンパウンド ｃ　印象用石膏、印象用ワックス ａ　アルジネート ｂ　寒天 ｃ　シリコーンゴム ｄ　ポリエーテルゴム ウ　機能印象材 エ　印象用トレー オ　咬合採得用材料	永田　俊介
2025/05/14（水） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （材料）模型材、歯科用ワックス	【授業の一般目標】 模型材および歯科用ワックスを理解するために、それらの基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 2.歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 3.ワックスパターンの変形の原因およびその対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/14（水） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （材料）模型材、歯科用ワックス	アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｄ　模型用材料、ワックス 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ４　模型用材料、ワックス ア　歯科用石膏 ａ　普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏 ｂ　パラフィンワックス、シートワックス、レディキャスティングワックス、スティッキーワックス、ユーティリティーワックス	永田　俊介
2025/05/14（水） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （材料）鋳造の要点、埋没材	【授業の一般目標】 精度の良い鋳造体を作製するための方法を理解するために、埋没材および歯科精密鋳造について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科精密鋳造の原理と鋳造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。 2.鋳造用埋没材の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｇ　成形技術・機器 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ７　成形技術・機器 ウ　金属材料の成形技術・機器 ａ　鋳造工程	永田　俊介
2025/05/14（水） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周病検査を行うことができる。 3.歯周病検査の結果から治療計画を立案できる。 4.歯周外科治療の術式について説明ができる。 5.歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周病検査および治療計画について復習する。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 事後学習項目：授業配布プリント 事後学習時間：60分 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｃ　歯周治療	＊高井　英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/14（水） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周病検査を行うことができる。 3.歯周病検査の結果から治療計画を立案できる。 4.歯周外科治療の術式について説明ができる。 5.歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周外科治療の術式について予習する。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 事後学修項目：授業配布プリントの復習 事後学習時間：60分 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｃ　歯周治療	＊高井　英樹
2025/05/14（水） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周病検査を行うことができる。 3.歯周病検査の結果から治療計画を立案できる。 4.歯周外科治療の術式について説明ができる。 5.歯周外科治療で使用器具と使用方法について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周外科治療の術式について予習する。 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 事後学修項目：授業配布プリントの復習 事後学習時間：60分 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｃ　歯周治療	＊高井　英樹
2025/05/15（木） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （衛生）医の倫理	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.医の倫理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医の倫理 ・準備学修時間：180分 ・事後学習項目：医の倫理 ・事後学習項目：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １　医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア　医の倫理 ａ　患者の人権と医療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/15（木） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （衛生）医の倫理	1　医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア　医の倫理 b　医療者の倫理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など）	＊有川　量崇
2025/05/15（木） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （衛生）社会保障 ①	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.社会保障の定義と制度体系について説明できる。 3.保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：社会保障制度 ・準備学修時間：180分 ・事後学修項目：社会保障制度 ・事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 1　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 a　社会保障の概要	＊有川　量崇
2025/05/15（木） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （衛生）社会保障 制度②	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.社会保障の定義と制度体系について説明できる。 3.保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：社会保障制度 ・準備学修時間：180分 ・事後学修項目：社会保障制度 ・事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 1　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 c　介護保険	＊有川　量崇
2025/05/15（木） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （障害者）高齢者の疫学・医療倫理	【授業の一般目標】 高齢者に対する歯科治療が行えるようになるために、高齢者の疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高齢者の全身疾患について説明できる。 3.死因と寝たきりの状態について説明できる。 4.老年病について説明できる。 5.緩和ケアについて説明できる。 6.高齢者の歯科治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	＊梅澤　幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/15（木） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （障害者）高齢者の疫学・医療倫理	205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ス　患者管理の基本 ｂ　全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器疾患、腎・泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経・運動器疾患、内分泌・代謝・栄養疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ア　障害の概念 エ　診察の基本 オ　歯科治療上留意すべき事項 カ　健康支援、患者管理 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｆ　要介護度、介護状況 総論Ⅶ　治療 ５　緩和医療とターミナルケア ア　緩和医療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 イ　周術期の管理 ａ　口腔の評価、口腔機能管理	＊梅澤　幸司
2025/05/15（木） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （障害者）チーム歯科医療	【授業の一般目標】 医療機関、地域医療でのチームワークについて説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.多職種連携について説明できる。 3.病診連携、診診連携について説明できる。 4.チームワーク形成について説明できる。 5.コンサルテーションについて説明できる。 6.社会生活について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 ウ　チーム医療 ａ　チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 ウ　チーム医療 ｂ　医療チームの構成員と役割 ｃ　チーム医療における歯科の役割（かかりつけ歯科医、在宅医療、歯科訪問診療） ｄ　情報提供	＊梅澤　幸司
2025/05/15（木） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （障害者）高齢者の診察	【授業の一般目標】 高齢者の歯科治療が行えるようになるために、高齢者にみられる全身疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高齢者の歯科治療について説明できる。 3.認知症について説明できる。 4.脳血管疾患について説明できる。 5.介護技術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊梅澤　幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/15（木） 6時限 15:00～15:50	U2必修・領域A （障害者）高齢者の診察	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ６　全身疾患を有する者への対応 ア　留意すべき疾患 ｆ　精神疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 オ　歯科治療上留意すべき事項 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｃ　認知機能 ６　全身疾患を有する者への対応 ア　留意すべき疾患 ｇ　神経・運動器疾患 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｄ　運動機能 ６　全身疾患を有する者への対応 イ　身体的特徴への配慮	＊梅澤　幸司
2025/05/16（金） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （薬理）　薬物療法の基礎	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基本（薬理作用の機序・副作用）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬理作用の機序について説明できる。 2.薬物の副作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法の基本（薬理作用の機序・副作用）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ａ　薬理作用（薬力学、主作用および副作用を含む）	三枝　禎
2025/05/16（金） 2時限 10:00～10:50	U2必修・領域A （薬理）　薬物療法の基礎	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基本（副作用・薬物の投与）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の副作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法の基本（副作用・薬物の投与）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ｃ　薬物投与（連用と併用を含む）	三枝　禎
2025/05/16（金） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （薬理）　薬物療法の基礎	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基本（副作用）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の副作用について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法の基本（薬物の副作用）について振り返る（教科書）。	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/16（金） 3時限 11:00～11:50	U2必修・領域A （薬理） 薬物療法の基礎	・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ａ　薬理作用（薬力学、主作用および副作用を含む）	三枝　禎
2025/05/16（金） 4時限 13:00～13:50	U2必修・領域A （障害者）摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食嚥下機能とその障害を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.リハビリテーションの概念について説明できる 3.摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド，配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｆ　摂食嚥下障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｇ　発話障害〈発話機能障害〉 １１　治療の基礎・基本手技 サ　栄養療法 ａ　経口栄養、経静脈栄養、経管栄養［経腸栄養、胃瘻〈PEG〉］ 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 エ　嚥下 ａ　摂食嚥下の5期 ｂ　嚥下の神経機構 オ　発声、構音 ７　人体の成長・発達・加齢変化 エ　口腔・顎顔面の加齢変化 ｂ　機能的変化	＊林　佐智代
2025/05/16（金） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （障害者）摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食嚥下機能とその障害を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.摂食嚥下障害について説明できる。 3.栄養療法について説明できる。 4.発話機能について説明できる。 5.発話障害について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド，配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/16（金） 5時限 14:00～14:50	U2必修・領域A （障害者）摂食嚥下	205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｆ　摂食嚥下障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｇ　発話障害〈発話機能障害〉 １１　治療の基礎・基本手技 サ　栄養療法 ａ　経口栄養、経静脈栄養、経管栄養［経腸栄養、胃瘻〈PEG〉］ 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 エ　嚥下 ａ　摂食嚥下の5期 ｂ　嚥下の神経機構 オ　発声、構音 ７　人体の成長・発達・加齢変化 エ　口腔・顎顔面の加齢変化 ｂ　機能的変化	＊林　佐智代
2025/05/19（月） 1時限 09:30～11:00	平常試験２および解説講義	【授業の一般目標】 歯科基礎医学知識の修得状況を確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科基礎医学の知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書、講義配布資料、講義ノート、実践問題集など 準備学修時間：十分な知識修得に必要な学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/05/20（火） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （組織）歯・歯周組織③(象牙質・歯髄複合体2)	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、象牙質・歯髄複合体の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.象牙質・歯髄複合体の構造を説明できる。 2.象牙質の成長線を説明できる。 3.象牙質・歯髄複合体の加齢変化を説明できる。 4.歯髄を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：セメント質および象牙質・歯髄複合体の構造 事前学習時間：60分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	河野　哲朗
2025/05/20（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （組織）歯・歯周組織④（セメント質・歯根膜）	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、セメント質および歯根膜の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.セメント質および歯根膜の構造を説明できる。 2.セメント質の成長線を説明できる。 3.歯根膜を構成する細胞成分および線維成分を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：セメント質および歯根膜の構造 事前学習時間：30分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：30分	河野　哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/20（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （組織）歯・歯周組織④（セメント質・歯根膜）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ｂ　歯周組織	河野　哲朗
2025/05/20（火） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （組織）歯・歯周組織⑤（歯槽骨・歯肉）	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、歯槽骨および歯肉の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯槽骨の構造を説明できる。 2.歯肉の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯根膜と歯槽骨の構造について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ｂ　歯周組織	河野　哲朗
2025/05/20（火） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （有床）　部分床義歯の製作過程	【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の製作過程 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 3.部分床義歯に使用する器具を述べることができる。 4.部分床義歯治療の用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：部分床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：有（写真媒体を用いたグループ学修） 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/20（火） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （有床）　部分床義歯の製作過程	【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の製作過程 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 3.部分床義歯に使用する器具を述べることができる。 4.部分床義歯治療の用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：部分床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/20（火） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （有床） 部分床義歯の製作過程	アクテェブラーニング：有（写真媒体を用いたグループ学修） 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/20（火） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （有床） 部分床義歯の製作過程	【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の製作過程 部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 3.部分床義歯に使用する器具を述べることができる。 4.部分床義歯治療の用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：部分床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：有（写真媒体を用いたグループ学修） 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/21（水） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （感免）免疫の構成要素	【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の概要に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.免疫系の基本的構成要素を説明できる。 3.免疫担当臓器、細胞について説明できる。 4.自然免疫に関与する液性因子および細胞を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：免疫組織および担当臓器、自然免疫に関与する細胞・分子について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｇ　免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫）	＊齋藤　真規
2025/05/21（水） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （感免）自然免疫	【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、自然免疫に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.免疫系の基本的構成要素を説明できる。 3.免疫担当臓器、細胞について説明できる。 4.自然免疫に関与する液性因子および細胞を説明できる。 5.自然免疫の流れについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：免疫組織および担当臓器、自然免疫に関与する細胞・分子について学修しておく。 事前学修時間：60分	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/21（水） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （感免）自然免疫	事後学修項目：講義内容の内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 エ　自然免疫 ａ　微生物の認識機構 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 エ　自然免疫 ｂ　微生物の排除機構	＊齋藤　真規
2025/05/21（水） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （感免）獲得免疫 ①	【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、獲得免疫に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.獲得免疫の流れを説明できる。 3.体液性免疫を説明できる。 4.細胞性免疫を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：獲得免疫（体液性免疫、細胞性免疫）について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 オ　獲得免疫 ａ　体液性免疫 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 オ　獲得免疫 ｂ　細胞性免疫	＊齋藤　真規
2025/05/21（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （有床）全部床義歯の製作過程	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の製作過程 全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 3.全部床義歯に使用する器具を述べることができる。 4.全部床義歯治療の用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：全部床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：有（写真媒体を用いたグループ学修） 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/21（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （有床）全部床義歯の製作過程	ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/21（水） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （有床）全部床義歯の製作過程	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の製作過程 全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 3.全部床義歯に使用する器具を述べることができる。 4.全部床義歯治療の用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：全部床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：有（写真媒体を用いたグループ学修） 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/21（水） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （有床）全部床義歯の製作過程	【授業の一般目標】 テーマ：全部床義歯の製作過程 全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 3.全部床義歯に使用する器具を述べることができる。 4.全部床義歯治療の用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：全部床義歯製作過程の配付資料を基に自学自習を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：有（写真媒体を用いたグループ学修） 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/22（木） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （衛生）国際保健	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び，医療人として社会における役割と責任について理解し，修得することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.世界の保健・医療の問題と方向性について理解できる。 3.国際保健、国際協力について説明できる。 4.持続可能な開発目標（SDGs）について説明できる。 5.ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）について説明できる。 6.パンデミックについて説明できる。 7. 非感染性疾患（NCDs)について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（国際保健、世界の保健・医療）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/22（木） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （衛生）国際保健	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ５　国際保健 ア　国際保健 ｄ　国際協力 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ５　国際保健 ア　国際保健 ａ　持続可能な開発目標〈SDGs〉 ｂ　非感染性疾患〈NCDs〉 ｃ　パンデミック ｄ　国際協力	＊有川　量崇
2025/05/22（木） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （衛生）地域保健 ①	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ライフステージ別にみた保健事業を説明できる。 3.地域保健関連機関を説明できる。 4.公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 エ　保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み ｂ　保健衛生法規 ｄ　予防衛生法規 ｆ　地域保健関連機関 ｇ　福祉施設、介護施設 ｈ　医療施設 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動	＊有川　量崇
2025/05/22（木） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （衛生）地域保健 ②	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.地域保健関連機関を説明できる。 3.公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。 4.健康増進法を説明できる。 5.高齢者医療確保法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/22（木） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （衛生）地域保健②	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 エ　保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み ｂ　保健衛生法規 ｄ　予防衛生法規 ｆ　地域保健関連機関 ｇ　福祉施設、介護施設 ｈ　医療施設 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動	＊有川　量崇
2025/05/22（木） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （有床）　義歯装着後の管理	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として義歯装着後の管理についての知識・臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.義歯装着後の管理について説明できる。 3.義歯装着後に生じる問題の診察・検査について説明できる。 4.義歯装着後に生じる問題の処置方針について説明できる。 5.義歯の修理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題有床義歯関連領域過去問を自学自習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊鈴木　亜沙子
2025/05/22（木） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （有床）特殊な義歯（第118回国家試験解説）	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として特殊な設計を有する義歯の国家試験問題に対する分析・解釈する能力を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.特殊な設計を有する義歯の治療方針について説明できる。 3.顎顔面補綴治療について説明できる。 4.オーバーデンチャーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第117回歯科医師国家試験臨床実地問題過去問を自学自習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ７　特殊な装置による治療 ア　顎顔面補綴装置	＊鈴木　亜沙子
2025/05/22（木） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （有床）特殊な義歯（第118回国家試験解説）	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、主として特殊な設計を有する義歯の国家試験問題に対する分析・解釈する能力を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.特殊な設計を有する義歯の治療方針について説明できる。 3.顎顔面補綴治療について説明できる。 4.オーバーデンチャーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第117回歯科医師国家試験臨床実地問題過去問を自学自習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分	＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/22（木） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （有床）特殊な義歯（第118回国家試験解説）	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ７　特殊な装置による治療 ア　顎顔面補綴装置	＊鈴木　亜沙子
2025/05/23（金） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （生理）筋と運動	【授業の一般目標】 運動制御を理解するために，筋の分類と収縮機構を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.筋の分類を説明できる。 2.骨格筋の収縮機構を理解する。 3.心筋の収縮機構を理解する。 4.平滑筋の収縮機構を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：活動電位と興奮伝達を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学修項目：骨格筋・心筋・平滑筋の違いを確認する。 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 イ　運動・骨格系 ｂ　筋	吉垣　純子
2025/05/23（金） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （生理）感覚	【授業の一般目標】 恒常性を理解するために，一般感覚の成立機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.感覚の種類を列挙できる。 2.適刺激を説明できる。 3.感覚の受容機構を説明できる。 4.感覚伝導路を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：神経の分類と働きについて復習する。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：口腔感覚の種類と特徴，伝導路を復習する。 自己学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 ア　感覚 ａ　顔面皮膚、舌、口腔粘膜、口唇 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 ア　感覚 ｂ　味覚、嗅覚	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/23（金） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （生理）口腔感覚	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，口腔感覚の成立機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔に存在する感覚器の種類を列挙できる。 2.口腔感覚の伝導路を説明できる。 3.味覚の成立機構を説明できる。 4.嗅覚の成立機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：神経の分類と働きについて復習する。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：口腔感覚の種類と特徴，伝導路を復習する。 自己学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 ア　感覚 ａ　顔面皮膚、舌、口腔粘膜、口唇 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 ア　感覚 ｂ　味覚、嗅覚	吉垣　純子
2025/05/23（金） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （有床）　有床義歯の基礎知識	【授業の一般目標】 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の欠損による障害の病因・病態を説明できる。 3.歯の喪失や加齢変化による口腔の変化を説明できる。 4.歯列・咬合状態による歯の欠損の分類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Google Formで問題を解き知識の確認を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 カ　歯列・咬合の診察 ｂ　咬合状態	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/23（金） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （有床）　有床義歯の基礎知識	【授業の一般目標】 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.有床義歯に使用する器具を述べることができる。 3.義歯治療に関連する人体の構造・機能を説明できる。 4.義歯治療に関連する検査を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Google Formで問題を解き知識の確認を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/23（金） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （有床） 有床義歯の基礎知識	６　口腔・顎顔面の機能 オ　発声、構音	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/23（金） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （有床） 有床義歯の基礎知識	【授業の一般目標】 有床義歯治療手順の理解を深めるために基本的な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.有床義歯に使用する器具を述べることができる。 3.義歯治療に関連する人体の構造・機能を説明できる。 4.義歯治療に関連する検査を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：Google Formで問題を解き知識の確認を行う。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 オ　発声、構音	＊五十嵐　憲太郎
2025/05/26（月） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （材料）陶材、陶材焼付用金属、歯冠用レジン	【授業の一般目標】 陶材、陶材焼付用金属および歯冠用レジンを理解するために、それらの基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科用セラミックスの種類、組成および性質について説明できる。 2.陶材と金属の接合について説明できる。 3.歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｆ　歯冠修復・義歯用材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ６　歯冠修復・義歯用材料 イ　セラミック材料 ａ　陶材 ｂ　ジルコニア、アルミナ、ガラスセラミックス ｃ　陶材焼付用合金 ７　成形技術・機器 イ　セラミック材料の成形技術・機器 ａ　陶材の築盛・焼成 ｂ　陶材と金属の接合 ｃ　加熱・加圧成形 ６　歯冠修復・義歯用材料 エ　複合材料 ａ　間接修復用コンポジットレジン ｂ　歯冠補綴用コンポジットレジン ｃ　CAD/CAM用コンポジットレジン ７　成形技術・機器 ア　レジン（樹脂）系材料の成形技術・機器 ｃ　光重合	永田　俊介
2025/05/26（月） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （材料）切削・研削・研磨材料	【授業の一般目標】 切削・研削・研磨材料を理解するために、それらの種類および基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/26（月） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （材料）切削・研削・研磨材料	事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｂ　診療用器械、切削・研削工具・研磨材 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ２　診療用器械・器具 イ　切削・研削工具、研磨材	永田　俊介
2025/05/26（月） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （材料）歯科用器械	【授業の一般目標】 歯科用器械を理解するために、それらの種類および基本的性質について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.エアータービンおよびマイクロモータの特徴について説明できる。 2.診断、治療機器の種類および特徴について説明できる。 3.光照射器の種類および特徴について説明できる。 4.歯科用レーザーの種類および特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義、プリントの内容を整理する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｂ　診療用器械、切削・研削工具・研磨材 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ２　診療用器械・器具 ア　診療用器械 ａ　歯科用ユニット ｂ　エアタービン ｃ　マイクロモーター ｄ　レーザー機器 ｅ　口腔内スキャナー ｆ　超音波スケーラー	永田　俊介
2025/05/26（月） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （歯冠）プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.プロビジョナルレストレーションの臨床的意義，種類，製作方法について説明できる。 3.印象材の種類と特徴について説明できる。 4.歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5.印象法の種類と特徴について説明できる。 6.咬合採得の意義を説明できる。 7.咬合支持に応じた咬合採得法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得 事前学習時間：30分 事後学習項目：プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/26（月） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （歯冠）プロビジョナルレストレーション、印象採得、咬合採得	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｅ　プロビジョナルレストレーション ｆ　顎間関係の記録	＊飯田　崇
2025/05/26（月） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （歯冠）　咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整、装着と術後管理	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明できる。 3.咬合器を分類し，特徴を説明できる。 4.半調節性咬合器の調節方法を説明できる。 5.クラウン試適時の調整手順と調整方法を説明できる。 6.クラウン咬合面の調整方法を説明できる。 7.仮着の必要性を説明できる。 8.各種歯科用セメントの特徴を述べることができる。 9.術後管理の重要性を説明できる。 10.リコールの意義と検査項目を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整、装着と術後管理 事前学習時間：30分 事後学習項目：咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整、装着と術後管理 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｆ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｈ　口腔内試適 ｉ　仮着 ｊ　装着	＊飯田　崇
2025/05/26（月） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （歯冠）　歯冠補綴治療の手順と術式	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療時に歯冠補綴治療の流れと術式を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.築造窩洞形成の手順・術式を説明できる。 3.支台築造法手順・術式を説明できる。 4.精密印象採得、顎間関係の記録の手順・術式を説明できる。 5.クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着の手順・術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第５版、６版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/26（月） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （歯冠） 歯冠補綴治療の手順と術式	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｊ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 ｄ　印象採得 ｆ　顎間関係の記録 ｈ　口腔内試適 ｉ　仮着 ｊ　装着	＊飯田　崇
2025/05/27（火） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （解剖） 神経系総論・自律神経	【授業の一般目標】 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために神経系の概要と構造的機能的意味を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.中枢神経の区分と機能を説明できる。 2.末梢神経の構造的、機能的区分を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：中枢神経を構成する各部の名称を復習する。脳神経の分布領域を復習する。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 プリントの配布、マルチメディアを使用。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ク　神経系 ｄ　自律機能	塩崎　一成 松野　昌展
2025/05/27（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （解剖） 神経系総論・自律神経	【授業の一般目標】 末梢神経の機能と中枢との関係を理解するために脳神経核と神経節の構造的機能的意味を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.脳神経核の構造と機能を説明できる。 2.神経節の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：中枢神経を構成する各部の名称を復習する。脳神経の分布領域を復習する。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 プリントの配布、マルチメディアを使用。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ク　神経系 ｄ　自律機能	塩崎　一成 松野　昌展
2025/05/27（火） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （解剖） 頭頸部の筋	【授業の一般目標】 咀嚼筋・顔面筋・舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.上顎骨周囲を構成する骨の名称と構造を説明できる。 2.下顎骨の構造を説明できる。 3.咀嚼筋の名称・起始停止・作用・支配神経を説明できる。 4.表情筋（頬筋）の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 5.舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	塩崎　一成 松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/27（火） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （解剖）頭頸部の筋	・事前学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し プリントの配布、マルチメディアを使用。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｂ　咀嚼筋	塩崎　一成 松野　昌展
2025/05/27（火） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （歯冠）　歯冠補綴治療の流れと使用する器材	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.築造窩洞形成に使用する器材を説明できる。 3.支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 4.歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5.支台歯形成に必要な器材を説明できる。 6.精密印象，咬合採得に使用する器材を説明できる。 7.プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 8.クラウン・ブリッジの試適，調整，仮着に必要な器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｅ　歯列・咬合の検査 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊内堀　聡史
2025/05/27（火） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （歯冠）　クラウン・ブリッジの種類	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウン・ブリッジの種類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯冠補綴治療時に使用する器具や必要な材料 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/27（火） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （歯冠）　クラウン・ブリッジの種類	歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｅ　歯列・咬合の検査 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 ｄ　歯の欠如・欠損の治療	＊内堀　聡史
2025/05/27（火） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （歯冠）　前処置、支台歯形成、支台築造	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯冠補綴治療の補綴前処置を説明できる。 3.歯冠補綴治療における支台歯形成について説明できる。 4.支台築造について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：前処置，支台歯形成，支台築造 事前学習時間：30分 事後学習項目：前処置，支台歯形成，支台築造 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成 ｃ　支台築造	＊内堀　聡史
2025/05/28（水） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （生化）骨代謝１	【授業の一般目標】 骨リモデリング機構を理解するためにカルシウム調節機構と骨芽細胞、破骨細胞の情報伝達の仕組みと働きを学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.カルシウム代謝に関連するホルモンとその働きを説明できる。 2.骨芽細胞と破骨細胞の特徴を説明できる。 3.骨吸収因子と骨形成因子を列挙できる。 4.骨リモデリングに関与する骨芽細胞と破骨細胞の動きを説明できる。 5.大理石病や閉経後骨粗鬆症の原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；　無 学習媒体：　授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	平塚　浩一
2025/05/28（水）	U3必修・領域A	【授業の一般目標】	平塚　浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:00～10:50	（生化）骨代謝２	骨リモデリング機構を理解するためにカルシウム調節機構と骨芽細胞、破骨細胞の情報伝達の仕組みと働きを学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.カルシウム代謝に関連するホルモンとその働きを説明できる。 2.骨芽細胞と破骨細胞の特徴を説明できる。 3.骨吸収因子と骨形成因子を列挙できる。 4.骨リモデリングに関与する骨芽細胞と破骨細胞の動きを説明できる。 5.大理石病や閉経後骨粗鬆症の原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；　無 学習媒体：　授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	平塚　浩一
2025/05/28（水） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （生化）骨代謝３	【授業の一般目標】 骨リモデリング機構を理解するためにカルシウム調節機構と骨芽細胞、破骨細胞の情報伝達の仕組みと働きを学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.カルシウム代謝に関連するホルモンとその働きを説明できる。 2.骨芽細胞と破骨細胞の特徴を説明できる。 3.骨吸収因子と骨形成因子を列挙できる。 4.骨リモデリングに関与する骨芽細胞と破骨細胞の動きを説明できる。 5.大理石病や閉経後骨粗鬆症の原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；　無 学習媒体：　授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	平塚　浩一
2025/05/28（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （顎関節・咬合） 口腔顔面痛	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.侵害受容性疼痛について説明ができる。 3.神経障害性疼痛について説明ができる。 4.心因性疼痛について説明ができる。 5.顎関節症ならびに口腔顔面痛における画像検査所見の説明ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/28（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （顎関節・咬合） 口腔顔面痛	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 １　顎関節症	＊飯田　崇
2025/05/28（水） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （顎関節・咬合） 顎関節症	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.侵害受容性疼痛について説明ができる。 3.神経障害性疼痛について説明ができる。 4.心因性疼痛について説明ができる。 5.顎関節症ならびに口腔顔面痛における画像検査所見の説明ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔顔面痛，顎関節症 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 １　顎関節症	＊飯田　崇
2025/05/28（水） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （顎関節・咬合） 生理学と咀嚼系の機能障害	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために。補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。 3.下顎運動の基準となる点、線、面を分類し、説明できる。 4.下顎位の名称を挙げ、説明できる。 5.下顎の限界運動について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能 事前学習時間：30分 事後学修項目：補綴学の顎機能に関する知識・技能 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ａ　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動	＊飯田　崇
2025/05/29（木） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （衛生）医療関係職種業務	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し 修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の行動目標及び講義内容は臨床経験に基づいている。 2.歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。 3.医療関係職種の各身分に関する関係法規について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 事前学修時間：30分 事後学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 【学修方略（ＬＳ）】	小椋　正之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/29（木） 1時限 09:00～09:50	U2必修・領域A （衛生）医療関係職種業務	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ａ　歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法	小椋　正之
2025/05/29（木） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （衛生）医療法	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し 修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の行動目標及び講義内容は臨床経験に基づいている。 2.医療法について説明できる。 3.医療計画について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：医療保険制度、医療経済 事前学修時間：30分 事後学修項目：医療保険制度、医療経済 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｂ　医療法	小椋　正之
2025/05/29（木） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （衛生）医事衛生法規	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.医療法について説明できる。 3.医療計画について説明できる。 4.医事衛生法規について説明できる。 5.救急・災害時等の歯科保健医療対策について説明できる。 6.へき地医療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ｂ　医療計画、健康増進計画 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動 ｆ　地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割 ｇ　かかりつけ歯科医機能 ｈ　救急・災害時等の歯科保健医療 ｉ　へき地医療 ｊ　在宅医療	小椋　正之
2025/05/29（木） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （インプラント） 口腔インプラント治療の流れ	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊北川　剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/29（木） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （インプラント） 口腔インプラント治療の流れ	2.インプラント治療計画を立案し、治療手順を説明できる。 3.インプラント治療に必要な診査項目と検査法を列挙できる。 4.インプラント治療の上部構造の種類について説明できる。 5.インプラント治療の印象採得法について説明できる。 6.インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。 7.インプラント治療のリスクファクターを説明できる。 8.インプラントメインテナンスについて説明できる。 9.インプラント治療のトラブルと合併症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて学修しておく。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、動画、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ア　インプラント治療の基礎と成績 ａ　オッセオインテグレーションの獲得	＊北川　剛至
2025/05/29（木） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （インプラント） 口腔インプラント治療の流れ	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療計画を立案し、治療手順を説明できる。 3.インプラント治療に必要な診査項目と検査法を列挙できる。 4.インプラント治療の上部構造の種類について説明できる。 5.インプラント治療の印象採得法について説明できる。 6.インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。 7.インプラント治療のリスクファクターを説明できる。 8.インプラントメインテナンスについて説明できる。 9.インプラント治療のトラブルと合併症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて学修しておく。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、動画、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ア　インプラント治療の基礎と成績 ａ　オッセオインテグレーションの獲得	＊北川　剛至
2025/05/29（木） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （インプラント） 口腔インプラント治療の流れ	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療計画を立案し、治療手順を説明できる。 3.インプラント治療に必要な診査項目と検査法を列挙できる。 4.インプラント治療の上部構造の種類について説明できる。 5.インプラント治療の印象採得法について説明できる。 6.インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。 7.インプラント治療のリスクファクターを説明できる。 8.インプラントメインテナンスについて説明できる。 9.インプラント治療のトラブルと合併症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて学修しておく。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、動画、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】	＊北川　剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/29（木） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （インプラント） 口腔インプラント治療の流れ	205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ア　インプラント治療の基礎と成績 ａ　オッセオインテグレーションの獲得	＊北川　剛至
2025/05/30（金） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （薬理）　薬物療法	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法に関わる薬理学の知識（医薬品・薬物動態）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 医薬品について説明できる。 2. 薬物動態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法に関わる薬理学（医薬品・薬物動態）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態	三枝　禎
2025/05/30（金） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （薬理）　薬物療法	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法に関わる薬理学の知識（薬物動態）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物動態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法に関わる薬理学（薬物動態）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態	三枝　禎
2025/05/30（金） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （薬理）　薬物療法	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法に関わる薬理学（薬物の吸収，代謝）を身につける。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 薬物動態のうち，薬物の吸収，代謝について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：薬物療法（薬物動態・薬理作用の機序）について振り返る（教科書）。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：演習問題（国家試験問題と関連課題）をアップロード予定 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療	三枝　禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/30（金） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （薬理） 薬物療法	８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｃ　薬物動態	三枝　禎
2025/05/30（金） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （インプラント） 口腔インプラント材料について	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔インプラント用材料について理解し、説明することができる。 2.骨補填用材料について理解し、説明することができる。 3.細胞遮断膜について理解し、説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：SBOsについて学修しておく。 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、動画、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｊ　口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 １１　口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 ア　口腔インプラント用材料 イ　骨補填用材料 エ　細胞遮断膜	＊網野　雄太
2025/05/30（金） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （インプラント） インプラント手術について	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント埋入手術について説明できる。 3.インプラント二次手術について説明できる。 4.インプラント関連手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：SBOｓについて学修しておく。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント，スライドでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術	＊玉木　大之
2025/05/30（金） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （インプラント） 国試過去問解説	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために，臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔インプラント領域における国家試験問題の主文の解釈ができる。 3.口腔インプラント領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4.口腔インプラント領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5.口腔インプラント領域における問題の出題者の意図を読み解くことができる。	＊村上　洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/30（金） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （インプラント） 国試過去問解説	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・準備学修時間：　30　分 ・事後学修項目：過去の国家試験問題口腔インプラント領域を解く。 ・事後学修時間：　30 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｇ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ｂ　スクリュー固定式上部構造の製作	＊村上　洋
2025/05/31（土） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （病理）進行性病変	【授業の一般目標】 病理総論における進行性病変を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.進行性病変に関する国家試験問題を解説できるようになる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 ウ　修復と再生 ｂ　創傷治癒	＊末光　正昌
2025/05/31（土） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （病理）退行性病変	【授業の一般目標】 病理総論における退行性病変を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.退行性病変に関する国家試験問題を解説できるようになる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 イ　細胞・組織の損傷 ａ　代謝障害（変性）	＊末光　正昌
2025/05/31（土） 3時限 11:00～11:50	U3 必修・領域A （病理）退行性病変、進行性病変のまとめ	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、退行性病変及び進行性病変に関する病理学的知識について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/31（土） 3時限 11:00～11:50	U3 必修・領域A （病理）退行性病変、進行性病変のまとめ	1.以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2.萎縮の種類と病理学的特徴について説明できる。 3.変性及び代謝障害の種類と病理学的特徴について説明できる。 4.壊死、壊疽及びアポトーシスの病理学的特徴について説明できる。 5.肥大、過形成(増生)、化生について分類し、説明できる。 6.再生の基本について解説できる。 7.創傷治癒と異物処理について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・萎縮、変性、壊死、アポトーシスの特徴 ・肥大・過形成、再生、化生の特徴 ・創傷治癒機序 ・異物の処理機構 事前学修時間：30分 事後学修項目：・退行性病変、進行性病変：学修資料 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｃ　細胞・組織の損傷と修復	＊宇都宮　忠彦
2025/06/02（月） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （感免）獲得免疫②	【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、獲得免疫に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.獲得免疫の流れを説明できる。 3.体液性免疫を説明できる。 4.細胞性免疫を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：獲得免疫（体液性免疫、細胞性免疫）について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 オ　獲得免疫 ａ　体液性免疫 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 オ　獲得免疫 ｂ　細胞性免疫	＊齋藤　真規
2025/06/02（月） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （感免）獲得免疫③	【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、獲得免疫に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.獲得免疫の流れを説明できる。 3.体液性免疫を説明できる。 4.細胞性免疫を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：獲得免疫（体液性免疫、細胞性免疫）について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/02（月） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （感免）獲得免疫 ③	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 オ　獲得免疫 ａ　体液性免疫 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 オ　獲得免疫 ｂ　細胞性免疫	＊齋藤　真規
2025/06/02（月） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （感免）アレルギー疾患・自己免疫疾患・ワクチン	【授業の一般目標】 免疫疾患を理解するために、免疫異常（自己免疫疾患）および予防ワクチンに関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.アレルギー疾患の種類、発症機序を説明できる。 3.自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。 4.ワクチンについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：自己免疫疾患、アレルギー、ワクチンについて学修しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 ク　免疫異常 ｂ　自己免疫疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 ク　免疫異常 ｃ　アレルギー（過敏症）	＊齋藤　真規
2025/06/02（月） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （矯正）歯科矯正学の基礎①	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.矯正治療の流れについて説明できる。 3.症例の所見をとることができる。 4.適切な用語を用いて症例概要を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正治療計画の立案に必要な診査・検査項目について 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 ア　診察	＊石井　かおり
2025/06/02（月） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （矯正）歯科矯正学の基礎②	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊石井　かおり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/02（月） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （矯正）歯科矯正学の基礎②	2.矯正治療の流れを説明できる。 3.セファロ分析の計測について説明できる。 4.抜歯非抜歯の判定について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正治療に用いる器具・器材 準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｅ　不正咬合の治療	＊石井　かおり
2025/06/02（月） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （矯正）歯科矯正学の基礎③	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の移動様式について説明できる。 3.矯正装置の作用について説明できる。 4.矯正力の作用様式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正装置について 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊五関　たけみ
2025/06/03（火） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （解剖）脳神経・脈管の通路1	【授業の一般目標】 頭蓋骨を構成する骨・脳神経の通路・外頸動脈の枝の通路を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。 2.脳神経の通路と脳神経が通る頭骨の孔を説明できる。 3.外頸動脈の枝の通路と顎動脈が通る頭骨の孔を説明できる。 4.翼口蓋窩と構造が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：脳神経と顎動脈が通る頭骨の孔を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有　各自が頭蓋骨模型を用いて学習項目を確認する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む）	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/06/03（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （解剖）脳神経・脈管の通路2	【授業の一般目標】 頭蓋骨を構成する骨・脳神経の通路・外頸動脈の枝の通路を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭蓋骨を構成する骨の名称と構造を説明できる。 2.脳神経の通路と脳神経が通る頭骨の孔を説明できる。 3.外頸動脈の枝の通路と顎動脈が通る頭骨の孔を説明できる。 4.翼口蓋窩と構造が説明できる。	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/03（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （解剖）脳神経・脈管の通路2	【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：脳神経と顎動脈が通る頭骨の孔を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有　各自が頭蓋骨模型を用いて学習項目を確認する。 （第１実習室で骨実習を予定） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む）	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/06/03（火） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （解剖）骨と頭頸部の筋	【授業の一般目標】 咀嚼筋・顔面筋・舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.上顎骨周囲を構成する骨の名称と構造を説明できる。 2.下顎骨の構造を説明できる。 3.咀嚼筋の名称・起始停止・作用・支配神経を説明できる。 4.表情筋（頬筋）の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 5.舌骨上筋群の起始停止・作用・支配神経を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頭蓋骨を構成する骨15種23個の名称を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：配布プリントを熟読する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有　頭蓋骨模型を用いて学習内容を各自が確認する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｂ　咀嚼筋	塩崎　一成 松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/06/03（火） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （矯正）歯科矯正学の基礎④	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.矯正治療の流れを説明できる。 3.診療に用いる器具・器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正治療に用いる器具・器材 準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｅ　不正咬合の治療	鈴木　裕介
2025/06/03（火） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （小児）歯の外傷	【授業の一般目標】 小児の歯の外傷について修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯の外傷の特徴を理解する。 3.小児の歯の外傷の診断について説明できる。 4.小児の歯の外傷の処置法について説明できる。	＊岡本　京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/03（火） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （小児）歯の外傷	【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目　『小児の口腔科学　第5版　学建書院』　外傷の項目 ・事前学修時間　30分 ・事後学修項目　講義資料 ・事後学修時間　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ａ　乳歯	＊岡本　京
2025/06/03（火） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （小児）齲蝕	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児齲蝕への対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児歯科国家試験過去問題について 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学　第5版　学建書院 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 エ　小児の歯の硬組織疾患 ａ　齲蝕	＊伊藤　龍朗
2025/06/04（水） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （衛生）保健の保持・増進と社会保障の仕組み	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.社会保障の定義と制度体系について説明できる。 2.保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 ウ　社会保障制度 ａ　社会保障の概要	＊鈴木　到
2025/06/04（水） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （衛生）保健の保持・増進と社会保障の仕組み	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.介護保険法について説明できる。 2.介護保険制度について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/04（水） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （衛生）保健の保持・増進と社会保障の仕組み	事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｃ　介護保険法	＊鈴木　到
2025/06/04（水） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （衛生）保健の保持・増進と社会保障の仕組み	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.介護予防、生活支援について説明できる。 2.地域包括ケアシステムについて説明できる。 3.介護保険制度に関わる医療関係職について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 オ　高齢者保健、高齢者歯科保健 ｄ　日常生活支援事業、介護予防、フレイル対策	＊鈴木　到
2025/06/04（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （小児）治療計画	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児患者の治療計画の立案ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：治療計画について 準備学修時間：30分 事後学修項目：小児患者の治療計画を立案する 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学　第5版　学建書院 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 １　治療の基礎 ア　治療計画 ａ　治療計画の立案・提示	＊清水　邦彦
2025/06/04（水） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （小児）保隙１	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.保隙装置の製作法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊清水　邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/04（水） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （小児）保隙１	準備学修項目：保隙装置の作製について 準備学修時間：30分 事後学修項目：各種保隙装置作成に必要な材料手順を整理する 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学　第5版　学建書院 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ア　不正咬合の予防 ａ　予防矯正、保隙（静的咬合誘導）	＊清水　邦彦
2025/06/04（水） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （小児）保隙２	【授業の一般目標】 患者から信頼される人間性豊かな医療人となるために，歯科医師として求められる基本的な知識・技能・態度を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.保隙装置の製作法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保隙装置の作製について 準備学修時間：30分 事後学修項目：各種保隙装置作成に必要な材料手順を整理する 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：小児の口腔科学　第5版　学建書院 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ア　不正咬合の予防 ａ　予防矯正、保隙（静的咬合誘導）	＊清水　邦彦
2025/06/05（木） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （生化）歯と歯周組織および唾液の構成成分１	【授業の一般目標】 口腔の機能を理解するために、歯と歯周組織および唾液・血液の特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。 2.象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。 3.歯肉の代謝の特徴を説明できる。 4.唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。 5.唾液の消化酵素について説明できる。 6.唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 7.唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。 8.歯肉の抗菌因子を説明できる。 9.血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	平塚　浩一
2025/06/05（木） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （生化）歯と歯周組織および唾液の構成成分２	【授業の一般目標】 口腔の機能を理解するために、歯と歯周組織および唾液・血液の特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。	平塚　浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/05（木） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （生化）歯と歯周組織および唾液の構成成分２	2.象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。 3.歯肉の代謝の特徴を説明できる。 4.唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。 5.唾液の消化酵素について説明できる。 6.唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 7.唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。 8.歯肉の抗菌因子を説明できる。 9.血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	平塚　浩一
2025/06/05（木） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （生化）歯と歯周組織および唾液の構成成分３	【授業の一般目標】 口腔の機能を理解するために、歯と歯周組織および唾液・血液の特徴を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.エナメル質の無機質・有機質の種類と特徴を説明できる。 2.象牙質の有機質の種類とその特徴を説明できる。 3.歯肉の代謝の特徴を説明できる。 4.唾液緩衝作用・抗菌因子に関連する因子を列挙し機能を説明できる。 5.唾液の消化酵素について説明できる。 6.唾液の粘性と血液型判定について説明できる。 7.唾液と歯肉溝滲出液の成分の違いを説明できる。 8.歯肉の抗菌因子を説明できる。 9.血清タンパク質の種類とその機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：２年の時に配布したプリントを見直しておくこと。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：確認試験と解説。配布プリントの見直し。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	平塚　浩一
2025/06/05（木） 4時限 13:00～13:50	U3必修：領域A （口外）治療の基礎、基本手技①	【授業の一般目標】 顎口腔領域に関連する周術期の管理ついて説明できるよう学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域治療に関連する周全身疾患ついて説明できる。 事前学修時間：30分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 カ　麻酔法 ａ　局所麻酔	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/05（木） 4時限 13:00～13:50	U3必修：領域A （口外）治療の基礎、基本手技①	【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 キ　創傷の処置 ａ　洗浄、消毒 ｂ　止血 ｃ　縫合	＊飯塚　普子
2025/06/05（木） 5時限 14:00～14:50	U3必修：領域A （口外）治療の基礎、基本手技②	【授業の一般目標】 顎口腔領域に関連する周術期の管理ついて説明できるよう学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域治療に関連する周全身疾患ついて説明できる。 事前学修時間：30分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ク　膿瘍の処置 ａ　穿刺、切開、ドレナージ 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ａ　抜歯	＊飯塚　普子
2025/06/05（木） 6時限 15:00～15:50	U3必修：領域A （口外）治療の基礎、基本手技③	【授業の一般目標】 顎口腔領域に関連する周術期の管理ついて説明できるよう学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域治療に関連する周全身疾患ついて説明できる。 事前学修時間：30分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ク　膿瘍の処置 ａ　穿刺、切開、ドレナージ 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ａ　抜歯	＊飯塚　普子
2025/06/06（金） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （生理）循環器	【授業の一般目標】 循環器の役割を理解し，循環調節を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.心臓の構造を説明できる。 2.刺激伝導系の構成と役割を説明できる。 3.体循環と肺循環の経路と違いを説明できる。 4.血管の種類と構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：血液・血球の役割を復習しておく。 ・準備学修時間：１時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/06（金） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （生理）循環器	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ウ　循環器系 ａ　心臓、血管系、リンパ管系 ｂ　循環調節	吉垣　純子
2025/06/06（金） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （生理）呼吸器	【授業の一般目標】 呼吸の調節機構を理解するために，呼吸器の構成と酸素運搬機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.外呼吸と内呼吸を説明できる。 2.呼吸筋とその役割を列挙できる。 3.肺気量の種類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：呼吸器の構造を理解しておく。 ・準備学修時間：１時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 エ　呼吸器系 ａ　気道、肺・呼吸筋 ｂ　ガス交換 ｃ　呼吸調節	吉垣　純子
2025/06/06（金） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （生理）呼吸器	【授業の一般目標】 呼吸の調節機構を理解するために，呼吸器の構成と酸素運搬機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。 2.血液の酸塩基平衡を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：呼吸器の構造を理解しておく。 ・準備学修時間：１時間 ・事後学修項目：練習問題の解説を作成する。 ・事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントの配布、チェックテストの実施 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 エ　呼吸器系 ａ　気道、肺・呼吸筋 ｂ　ガス交換	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/06（金） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （生理）呼吸器	c　呼吸調節	吉垣　純子
2025/06/06（金） 4時限 13:00～13:50	U3必修：領域A （口外）口腔内の症候①	【授業の一般目標】 顎口腔領域にあらわれる主要な症候を説明できるようにするために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身疾患に関連して生じる口腔の症候を説明できる。 3.口腔粘膜にあらわれる症候を説明できる。 4.顎骨にあらわれる症候を説明できる。 5.顎関節に生じる症候を説明できる。 6.顔面・リンパ節に生じる症候を説明できる。 7.唾液腺にあらわれる症候を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、全般 ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 イ　口腔・顎顔面領域の症候 ｆ　口腔粘膜の症候	＊飯塚　普子
2025/06/06（金） 5時限 14:00～14:50	U3必修：領域A （口外）口腔内の症候②	【授業の一般目標】 顎口腔領域にあらわれる主要な症候を説明できるようにするために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身疾患に関連して生じる口腔の症候を説明できる。 3.口腔粘膜にあらわれる症候を説明できる。 4.顎骨にあらわれる症候を説明できる。 5.顎関節に生じる症候を説明できる。 6.顔面・リンパ節に生じる症候を説明できる。 7.唾液腺にあらわれる症候を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、全般 ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 イ　口腔・顎顔面領域の症候 ｆ　口腔粘膜の症候	＊飯塚　普子
2025/06/06（金） 6時限 15:00～15:50	U3必修：領域A （口外）口腔内の症候③	【授業の一般目標】 顎口腔領域にあらわれる主要な症候を説明できるようにするために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身疾患に関連して生じる口腔の症候を説明できる。 3.口腔粘膜にあらわれる症候を説明できる。 4.顎骨にあらわれる症候を説明できる。 5.顎関節に生じる症候を説明できる。 6.顔面・リンパ節に生じる症候を説明できる。 7.唾液腺にあらわれる症候を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、全般 ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/06（金） 6時限 15:00～15:50	U3必修：領域A （口外）口腔内の症候③	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 イ　口腔・顎顔面領域の症候 ｆ　口腔粘膜の症候	＊飯塚　普子
2025/06/07（土） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （病理）炎症	【授業の一般目標】 病理総論における炎症を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.炎症に関する国家試験問題を解説できるようになる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 カ　炎症 ａ　病因	＊末光　正昌
2025/06/07（土） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （病理）腫瘍	【授業の一般目標】 病理総論における腫瘍を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 コ　腫瘍 ａ　病因	＊末光　正昌
2025/06/07（土） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （病理）炎症、腫瘍のまとめ	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症及び腫瘍に関する病理学的知識について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2.急性炎症と慢性炎症の特徴及び相違点を解説できる。 3.炎症の病理組織学的分類と特徴について説明できる。 4.腫瘍の定義と分類について説明できる。 5.顎顔面口腔領域に発生する腫瘍の病理学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・炎症の定義と病理学的特徴 ・腫瘍の定義と病理学的特徴 事前学修時間：30分 事後学修項目：・炎症、腫瘍：学修資料 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】	＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/07（土） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （病理）炎症、腫瘍のまとめ	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｄ　炎症 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｇ　腫瘍・腫瘍類似疾患	＊宇都宮　忠彦
2025/06/09（月） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （組織）口腔粘膜	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、口腔粘膜の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔粘膜の構造を説明できる。 2.口腔粘膜の機能的分類とそれぞれの特徴や該当部位を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔粘膜の構造 事前学習時間：60分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔	河野　哲朗
2025/06/09（月） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （組織）唾液腺	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、唾液腺の構造を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.唾液腺の構造を説明できる。 2.唾液腺を構成する細胞および組織を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：唾液腺の構造 事前学習時間：60分 事後学修項目：配布プリントおよび確認試験にて復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体等：プリント配布，PPTスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ｂ　唾液腺	河野　哲朗
2025/06/09（月） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （組織）顎関節	【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解するために、構成する細胞・組織について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎関節の構造について説明できる。 2.顎関節を構成する細胞および組織を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎関節の構造に微細構造について ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】	河野　哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/09（月） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （組織）顎関節	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア　頭頸部の形成 ｂ　顎顔面（口蓋、顎関節を含む）	河野　哲朗
2025/06/09（月） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （口外）手術解剖 ①	【授業の一般目標】 口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科学４年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊山本　泰
2025/06/09（月） 5時限 14:00～14:50	U3必修・領域A （口外）手術解剖 ②	【授業の一般目標】 口腔外科手術に関係する臨床解剖や合併症を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔外科手術の際に注意すべき解剖について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科学４年次の学習内容、解剖学の頭頸部分野の講義資料 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊山本　泰
2025/06/09（月） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （麻酔）全身の兆候	【授業の一般目標】 全身の兆候（嚥下障害・誤嚥・悪心・嘔吐・発熱・全身倦怠感）について理解することが出来る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.嚥下障害について説明することができる。 3.誤飲・誤嚥について説明することができる。 4.悪心・嘔吐について説明することができる。 5.発熱・全身倦怠感について説明することができる。	＊辻　理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/09（月） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （麻酔）全身の兆候	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4.管理上問題となる疾患」 ・準備学修時間：30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 ア　救急患者の診察 ａ　救急処置を要する症状および病態（心停止、失神、ショック、けいれん、頭痛、運動麻痺、呼吸困難、胸痛、アレルギー症状、誤飲、誤嚥）	＊辻　理子
2025/06/10（火） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （衛生）健康管理・増進、予防および環境保健①	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.環境保健について説明できる。 2.地球環境の変化・健康影響について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：健康管理・増進と予防のために環境保健について概説できる。 事前学修時間：60分 事後学修項目：健康管理・増進と予防のために環境保健について説明できる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ９　環境保健 ア　環境保健対策 ａ　地球環境の変化と健康影響	田口　千恵子
2025/06/10（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （衛生）健康管理・増進、予防および環境保健②	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.国民栄養・食品保健について説明できる。 2.感染症対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：健康管理・増進と予防のために感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について概説できる。 事前学修時間：60分 事後学修項目：健康管理・増進と予防のために感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について説明できる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ７　感染症対策 ア　感染症対策と疫学 ｂ　感染症の予防	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/10（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （衛生）健康管理・増進、予防および環境保健②	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ８　食生活と健康 イ　食品保健と食事指導 ａ　食の安全性と機能性 ｂ　食育基本法 ｃ　食生活と口腔保健	田口　千恵子
2025/06/10（火） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （衛生）健康管理・増進、予防および環境保健③	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.廃棄物の分類について説明できる。 2.水質環境について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：健康管理・増進と予防のために感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について概説できる。 事前学修時間：60分 事後学修項目：健康管理・増進と予防のために感染症対策、国民栄養・食品保健および環境保健について説明できる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ９　環境保健 ア　環境保健対策 ｄ　廃棄物処理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ９　環境保健 ア　環境保健対策 ｅ　生活環境と健康	田口　千恵子
2025/06/10（火） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （麻酔）全身の兆候	【授業の一般目標】 全身の兆候（脱水・浮腫・意識障害・呼吸困難・チアノーゼ）について理解することが出来る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.脱水について説明することができる。 3.浮腫について説明することができる。 4.意識障害について説明することができる。 5.呼吸困難について説明することができる。 6.チアノーゼについて説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4.管理上問題となる疾患」 ・準備学修時間：30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 ア　救急患者の診察 ａ　救急処置を要する症状および病態（心停止、失神、ショック、けいれん、頭痛、運動麻痺、呼吸困難、胸痛、アレルギー症状、誤飲、誤嚥）	＊辻　理子
2025/06/10（火）	U3必修・領域A	【授業の一般目標】	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
5時限 14:00～14:50	（麻酔）全身管理法	全身疾患患者に適切に対応できるようになるために、バイタルサイン測定やその方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.バイタルサインについて説明することができる。 3.血圧について説明することができる。 4.脈拍について説明することができる。 5.呼吸について説明することができる。 6.体温について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学で学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 エ　全身の診察 ｃ　バイタルサイン（呼吸、脈拍、血圧、体温）	＊下坂　典立
2025/06/10（火） 6時限 15:00～15:50	U3必修・領域A （麻酔）全身管理	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために生体管理モニターについて説明することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.自動血圧計の装着方法について説明することができる。 3.3点誘導心電図の装着方法について説明することができる。 4.パルスオキシメーターの装着方法について説明することができる。 5.12誘導心電図について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード歯科麻酔学で学修する ・準備学修時間：　３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料およびスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 エ　全身の診察 ｃ　バイタルサイン（呼吸、脈拍、血圧、体温）	＊下坂　典立
2025/06/11（水） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （薬理）抗微生物薬	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、抗微生物薬に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.抗菌薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2.抗真菌薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3.抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「抗感染症薬」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｃ　抗微生物薬	青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/11（水） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （薬理）抗微生物薬		青野　悠里
2025/06/11（水） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （薬理）抗腫瘍薬・代謝改善薬・ビタミン	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.抗腫瘍薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2.ビタミン製剤を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3.硬組織代謝改善治療薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｄ　抗腫瘍薬 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｅ　代謝改善薬、ビタミン	青野　悠里
2025/06/11（水） 3時限 11:00～11:50	U3必修・領域A （薬理）抗腫瘍薬・代謝改善薬・ビタミン	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミンに関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.抗腫瘍薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 2.ビタミン製剤を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 3.硬組織代謝改善治療薬を列挙し、作用機序、副作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「抗腫瘍薬、代謝改善薬、ビタミン」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｄ　抗腫瘍薬 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ウ　疾患に応じた薬物療法 ｅ　代謝改善薬、ビタミン	青野　悠里
2025/06/11（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （麻酔）ショック	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、「全身の症候」について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ショックについて説明することができる。 3.ショックの分類について説明することができる。 4.体重減少・増加を併発する疾患、状態について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学の「6術中管理、Fショック」	＊鈴木　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/11（水） 4時限 13:00～13:50	U3必修・領域A （麻酔）ショック	について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 イ　周術期の管理 ｃ　全身的併発症、合併症	＊鈴木　正敏
2025/06/11（水） 5時限 14:00～14:50	U3必修：領域A （麻酔）全身偶発症	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症とその対応、予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.血管迷走神経反射について説明することができる。 3.血管迷走神経反射の原因について説明することができる。 4.血管迷走神経反射発症時の対応について説明することができる。 5.過換気症候群について説明することができる。 6.過換気症候群の原因について説明することができる。 7.過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15.歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 イ　周術期の管理 ｃ　全身的併発症、合併症	＊鈴木　正敏
2025/06/11（水） 6時限 15:00～15:50	U3必修：領域A （麻酔）全身偶発症	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症とその対応、予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.アナフィラキシーショックについて説明することができる。 3.アナフィラキシーショック発症時の対応について説明することができる。 4.局所麻酔薬中毒について説明することができる。 5.局所麻酔薬中毒発症時の対応について説明することができる。 6.メトヘモグロビン血症について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15.歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 ア　救急患者の診察 ａ　救急処置を要する症状および病態（心停止、失神、ショック、けいれん、頭痛、運動麻痺、呼吸困難、胸痛、アレルギー症状、誤飲、誤嚥）	＊鈴木　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/16（月） 1時限 09:30～12:15	平常試験３および解説講義	【授業の一般目標】 歯科基礎医学知識の修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科基礎医学知識の修得状況について確認する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など 準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/06/17（火） 1時限 09:00～09:50	ガイダンス３	【授業の一般目標】 歯科医学綜合講義６に関する概略について説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医学総合講義６に関する概略を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：特に必要としない。 ・準備学修時間：０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/06/17（火） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （生化）遺伝子とタンパク質の合成１	【授業の一般目標】 染色体を理解するために，染色体・DNA・核酸の基本構造とDNA複製機序を学習する。 タンパク質合成を理解するために，転写・翻訳・翻訳後修飾を学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.染色体の特徴を説明できる。 2.テロメアを説明できる。 3.核酸の種類と相違点を説明できる。 4.DNAの複製機序を説明できる。 5.タンパク質の合成過程を説明できる（セントラルドグマ）。 6.転写されたmRNAの修飾を説明できる。 7.リボゾームでの翻訳機構を説明できる。 8.タンパク質の翻訳後修飾（アミノ酸修飾・折りたたみ・シャペロン）を説明できる。 9.タンパク質の分解（ユビキチンープロテオソーム系、オートファジー）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プリントを予習し，曖昧な点を確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布プリントと関連問題を復習 事後学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 学修媒体；マルチメディア，配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｂ　ゲノム、遺伝子、染色体	栗原　紀子
2025/06/17（火） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （生化）遺伝子とタンパク質の合成２	【授業の一般目標】 染色体を理解するために、染色体・DNA・核酸の基本構造とDNA複製を学習する。 タンパク質合成を理解するために、転写・翻訳・翻訳後修飾を学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.染色体の特徴を説明できる。 2.テロメアを説明できる。 3.核酸の種類と相違点を説明できる。 4.DNAの複製機序を説明できる。	栗原　紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/17（火） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （生化）遺伝子とタンパク質の合成 ２	5.タンパク質の合成過程を説明できる（セントラルドグマ）。 6.転写されたmRNAの修飾を説明できる。 7.リボゾームでの翻訳機構を説明できる。 8.タンパク質の翻訳後修飾（アミノ酸修飾・折りたたみ・シャペロン）を説明できる。 9.タンパク質の分解（ユビキチンープロテオソーム系、オートファジー）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プリントを予習し，曖昧な点を確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布プリントと関連問題を復習 事後学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 学修媒体：マルチメディア，配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｂ　ゲノム、遺伝子、染色体	栗原　紀子
2025/06/17（火） 4時限 13:00～13:50	U4必修・領域A （生化）生化学的検査・解析手法	【授業の一般目標】 一般的な検査法を理解するために、生化学的解析手法を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ヒトゲノムの特徴を説明できる。 2.一塩基多型（NSPs）について説明できる。 3.Common diseaseには何かを説明できる。 4.PCR検査の基本的な原理を説明できる。 5.RNA発現解析（RT-PCR, Northern blot）を説明できる。 6.タンパク質発現解析（Western blot)を説明できる。 7.免疫組織化学染色とin situ hybridizationの違いを説明できる。 8.古典的ワクチンと次世代ワクチンの種類と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プリントを予習し，曖昧な点を確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布プリントと関連問題を復習 事後学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 学修媒体；マルチメディア，配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｂ　ゲノム、遺伝子、染色体	栗原　紀子
2025/06/17（火） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （生化）齲蝕	【授業の一般目標】 齲蝕の発生機序を理解するために，S. mutansによる硬組織の脱灰機序を学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ステファン曲線を説明できる。 2.ミュータンスレンサ球菌の糖代謝を説明できる。 3.菌体外多糖の種類と形成機序を説明できる。 4.代用甘味料の種類と意義を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プリントを予習し，曖昧な点を確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布プリントと関連問題を復習 事後学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；　無 学習媒体：マルチメディア，配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態	栗原　紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/17（火） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （生化）齲蝕	b　歯・歯周組織の疾患	栗原　紀子
2025/06/18（水） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （感免）口腔微生物学（口腔細菌叢）	【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物の関わりを理解するために、口腔常在微生物叢と口腔領域の免疫機構について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.唾液による防御機構を説明できる。 3.歯肉溝滲出液による感染防御を説明できる。 4.口腔常在微生物叢を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔の常在微生物および免疫機構を予習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：学修内容の復習 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 キ　感染症 a　病原微生物 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 イ　全身・口腔の生態系 b　常在微生物叢	＊齋藤　真規
2025/06/18（水） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （感免）口腔微生物学（齲蝕原性細菌）	【授業の一般目標】 口腔感染症および口腔微生物と全身疾患への関わりについて理解するために、関連する口腔微生物と病原因子について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲蝕に関連する微生物、病原因子および齲蝕発症機序を説明できる。 3.歯周病に関連する微生物および病原因子を説明できる。 4.全身疾患に関与する口腔微生物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕および歯周病に関与する微生物について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間・60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 イ　全身・口腔の生態系 c　プラーク〈口腔バイオフィルム〉 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ２　全身・口腔の生態系 イ　プラーク〈口腔バイオフィルム〉 a　歯肉縁上プラーク b　歯肉縁下プラーク	＊齋藤　真規
2025/06/18（水） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （感免）口腔微生物学（歯周病原細菌）	【授業の一般目標】 口腔感染症および口腔微生物と全身疾患への関わりについて理解するために、関連する口腔微生物と病原因子について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲蝕に関連する微生物、病原因子および齲蝕発症機序を説明できる。 3.歯周病に関連する微生物および病原因子を説明できる。 4.全身疾患に関与する口腔微生物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕および歯周病に関与する微生物について予習する。	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/18（水） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （感免）口腔微生物学（歯周病原細菌）	事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間・60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 イ　全身・口腔の生態系 ｃ　プラーク〈口腔バイオフィルム〉 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ２　全身・口腔の生態系 イ　プラーク〈口腔バイオフィルム〉 ａ　歯肉縁上プラーク ｂ　歯肉縁下プラーク	＊齋藤　真規
2025/06/18（水） 4時限 13:00～13:50	U4必修・領域A （感免）化学療法	【授業の一般目標】 感染症の治療法について理解するために、薬剤とその作用機序について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.化学療法について説明できる。 3.化学療法薬の作用機序を説明できる。 4.化学療法薬の副作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：化学療法について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間・60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 ア　疾病の概念 ｅ　感染症	＊齋藤　真規
2025/06/18（水） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （感免）滅菌・消毒	【授業の一般目標】 感染症を未然に防ぐ、あるいは流行している感染症の拡大を防ぐために滅菌と消毒について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.滅菌と消毒の定義を説明できる。 3.滅菌法の種類と用途を説明できる。 4.消毒法の種類と用途を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：齲蝕および歯周病に関与する微生物について予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間・60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：なし 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 イ　全身・口腔の生態系 ｃ　プラーク〈口腔バイオフィルム〉 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ２　全身・口腔の生態系	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/18（水） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （感免）滅菌・消毒	イ　プラーク〈口腔バイオフィルム〉 ａ　歯肉縁上プラーク ｂ　歯肉縁下プラーク	＊齋藤　真規
2025/06/19（木） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （組織）人体発生①	【授業の一般目標】 人体の発生について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.生殖子の形成について説明できる。 2.排卵・受精・着床について説明できる。 3.二層性胚盤・三層性胚盤について説明できる。 4.胚子期、胎児期における器官形成について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人体の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・準備学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 ア　人体の発生 ａ　生殖子形成、排卵、受精、着床、二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期	河野　哲朗
2025/06/19（木） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （組織）人体発生②	【授業の一般目標】 人体の発生について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.生殖子の形成について説明できる。 2.排卵・受精・着床について説明できる。 3.二層性胚盤・三層性胚盤について説明できる。 4.胚子期、胎児期における器官形成について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人体の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・準備学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 ア　人体の発生 ａ　生殖子形成、排卵、受精、着床、二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期	河野　哲朗
2025/06/19（木） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （組織）顔面の発生	【授業の一般目標】 口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を説明できる。 2.一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育	河野　哲朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/19（木） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （組織）顔面の発生	ア　頭頸部の形成 ｂ　顎顔面（口蓋、顎関節を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア　頭頸部の形成 ａ　鰓弓〈咽頭弓〉	河野　哲朗
2025/06/19（木） 4時限 13:00～13:50	U4必修・領域A （組織）顔面領域の発生	【授業の一般目標】 舌および唾液腺の発生を理解するために、由来や機序について学修する。 甲状腺および下垂体の発生理解するために、由来や機序について学修する。 顎関節の構造を理解するために、構成する細胞・組織について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 舌の発生について説明できる。 2. 唾液腺の発生について説明できる。 3. 甲状腺および下垂体の発生について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：舌・唾液腺・甲状腺・下垂体の発生および顎関節の構造について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 ア　人体の発生 ａ　生殖子形成、排卵、受精、着床、二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア　頭頸部の形成 ｃ　舌、唾液腺	河野　哲朗
2025/06/19（木） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （組織）歯の発生	【授業の一般目標】 歯の発生を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯の発生の概要を説明できる。 2. 歯胚の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ　歯・歯周組織の形成と歯の萌出 ａ　歯胚の形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ８　口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ　歯・歯周組織の形成と歯の萌出 ｂ　歯の硬組織形成 ｃ　歯周組織形成	河野　哲朗
2025/06/20（金） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （生理）顎運動と咀嚼	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，咀嚼の調節機構としての顎運動と顎反射を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 顎運動を説明できる。 2. 顎反射の種類を説明できる。	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/20（金） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （生理）顎運動と咀嚼	3.顎反射の反射弓を説明できる。 4.顎反射の咀嚼における意義を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：咀嚼筋の神経支配を復習しておく。 事後学修時間：１時間 事後学修項目：顎反射の種類・反射弓・特徴と咀嚼・顎位維持における役割を復習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ｂ　顎反射 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 ウ　咀嚼 ｂ　咀嚼運動の調節	吉垣　純子
2025/06/20（金） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （生理）嚥下・嘔吐	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，嚥下・嘔吐の機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.摂食嚥下の5期を説明できる。 2.嚥下調節に関わる感覚伝導路を説明できる。 3.嚥下に関わる筋を列挙できる。 4.誤嚥を防止するメカニズムを説明できる。 5.嘔吐時の生体応答を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：頭頚部の解剖について復習する。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：摂食嚥下の５期について，関わる感覚伝導路と筋の働きを復習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 エ　嚥下 ｂ　嚥下の神経機構 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 ｄ　吸啜、嘔吐	吉垣　純子
2025/06/20（金） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （生理）唾液と唾液腺	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，唾液成分と唾液分泌機構を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.唾液腺の種類を列挙できる。 2.唾液成分と役割を列挙できる。 3.唾液分泌の調節機構を説明できる。 4.唾液の組成変化を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：外分泌と内分泌の違いを理解しておく。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：唾液の機能と分泌調節機構を復習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義	吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/20（金） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （生理）唾液と唾液腺	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 カ　唾液分泌 ｂ　唾液の分泌機構 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 カ　唾液分泌 ａ　唾液の性状と機能	吉垣　純子
2025/06/20（金） 4時限 13:00～13:50	U4必修・領域A （生理）発声と構音	【授業の一般目標】 口腔機能としての構音の成立と障害を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.構音と発声の違いを説明できる。 2.母音と子音の違いを説明できる。 3.構音に必要な要素を説明できる。 4.構音障害の種類と原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：声帯の構造を理解しておく。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：起こりうる構音障害をまとめる。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 オ　発声、構音	吉垣　純子
2025/06/20（金） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （生理）消化吸収･排泄･体温	【授業の一般目標】 恒常性を理解するために，自律神経および内分泌で調節される植物性機能を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.消化吸収の過程を説明できる。 2.消化管ホルモンの種類と役割を説明できる。 3.排泄の調節機構を説明できる。 4.体温の調節機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：自律神経と内分泌の役割を理解しておく。 事前学修時間：１時間 事後学修項目：自律神経と内分泌の関わりを復習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 オ　消化器系 ａ　消化管 ｂ　肝臓・胆道・膵臓 ａ　腎臓、尿路	吉垣　純子
2025/06/21（土） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （診断）医療面接	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科治療における診察の基本に関する知識を修得する。	＊青木　伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/21（土） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （診断）医療面接	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2.医療面接で用いられる質問法について説明できる。 3.医療面接で必要なコミュニケーションスキルについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療面接関連の知識の確認 ・準備学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ａ　意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）	＊青木　伸一郎
2025/06/21（土） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （診断）問題志向型診療録	【授業の一般目標】 患者を理解のために，問題志向型診療録について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.主訴について説明できる。 3.現病歴について説明できる。 4.既往歴について説明できる。 5.社会歴について説明できる。 6.家族歴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：主訴、現病歴、既往歴、社会歴、家族歴 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ｄ　聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望）	＊岡本　康裕
2025/06/21（土） 3時限 11:00～11:50	学修ドリル試験２	【授業の一般目標】 必修・領域Aの範囲の学修ドリル試験を解くことで、国試過去問題に対する習得状況を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.国家試験の過去問題（必修・総論）を解説することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/06/23（月） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （解剖）　頭頸部の運動器	【授業の一般目標】 頭蓋骨と頭蓋の筋を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭蓋底の構造が説明できる。 2.上顎骨の構造が説明できる。 3.下顎骨の構造が説明できる。 4.顔面筋（表情筋）が説明できる。 5.咀嚼筋が説明できる。 6.舌骨上筋が説明できる。 7.咀嚼と嚥下に関与する筋のはたらきが説明できる。 8.咀嚼と嚥下に関与する筋のはたらきが説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭蓋骨と頭蓋の筋の構造を教科書を通読して復習する。 ・準備学修時間：30分	塩崎　一成 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/23（月） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （解剖）　頭頸部の運動器	・事後学修項目：頭蓋骨と頭蓋の筋の構造を配布プリントを見て復習する。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｂ　咀嚼筋	塩崎　一成 榊　実加
2025/06/23（月） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （解剖）　頭頸部の内臓	【授業の一般目標】 頭頸部の内臓の構造を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口腔の構造を説明できる。 2.舌の構造を説明できる。 3.唾液腺の構造を説明できる。 4.咽頭の構造を説明できる。 5.鼻腔の構造を説明できる。 6.喉頭の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造を配付資料・解剖の本で確認する。 準備学習時間：３０分 事後学習項目：口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造を再確認する。 事後学習時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔	塩崎　一成 榊　実加
2025/06/23（月） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （解剖）　歯	【授業の一般目標】 歯の構造を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯の異常構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：該当する内容を解剖の本で確認する。 準備学習時間：３０分 事後学習項目：歯と頭頸部の脈管の構造と機能を再確認する。 事後学習時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 ア　歯の形態 ｄ　特殊な形態	塩崎　一成 松野　昌展
2025/06/23（月） 4時限	U4必修・領域A （解剖）　頭頸部	【授業の一般目標】 頭頸部の血管、リンパの分布を理解する。	塩崎　一成 松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00～13:50	の循環器	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭頸部の循環器の構成を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：該当する内容を解剖の本で確認する。 準備学習時間：３０分 事後学習項目：歯と頭頸部の脈管の構造と機能を再確認する。 事後学習時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ａ　動脈系	塩崎　一成 松野　昌展
2025/06/23（月） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （解剖）　頭頸部の末梢神経	【授業の一般目標】 脳神経の分布とはたらきが説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頸部の三角と筋間隙が説明できる。 2.三叉神経の分布とはたらきが説明できる。 3.顔面神経の分布とはたらきが説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頸部の三角と筋間隙を復習する。三叉神経と顔面神経の復習をする。 ・準備学修時間：　30分 ・事後学修項目：三叉神経と顔面神経の走行をする。 ・事後学修時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経	塩崎　一成 松野　昌展
2025/06/24（火） 1時限 09:00～09:50	U3必修・領域A （衛生）母子保健、母子歯科保健	【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.健康増進と疾病予防について説明できる。 2.地域保健について説明できる。 3.母子保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（地域保健、母子保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ａ　地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律	＊有川　量崇
2025/06/24（火） 2時限 10:00～10:50	U3必修・領域A （衛生）産業保健、産業歯科保健	【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	U3必修・領域A （衛生）産業保健、産業歯科保健	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.産業保健について説明できる。 2.成人・高齢者保健について説明できる。 3.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（学校保健、産業保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ウ　産業保健、産業歯科保健 ｂ　労働衛生の3管理	＊有川　量崇
2025/06/24（火） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （衛生）ライフステージ別保健事業①	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ライフステージ別にみた保健事業を説明できる。 3.地域保健関連機関を説明できる。 4.公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 エ　保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み ｂ　保健衛生法規 ｄ　予防衛生法規 ｆ　地域保健関連機関 ｇ　福祉施設、介護施設 ｈ　医療施設 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動	＊有川　量崇
2025/06/24（火） 4時限 13:00～13:50	U4必修・領域A （衛生）　疫学と調査	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために，我が国の歯科領域における統計調査と結果を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科疾患実態調査について説明できる。 2.齲蝕の疫学について説明できる。 3.歯周疾患の疫学について説明できる。 4.不正咬合の疫学について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で配布した資料を整理・復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/24（火） 4時限 13:00～13:50	U4必修・領域A （衛生） 疫学と調査	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ウ　保健医療統計調査 ｂ　歯科領域における保健医療統計・疫学調査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 エ　齲蝕・歯周疾患の疫学要因 ａ　齲蝕の疫学要因 ｂ　歯周疾患の疫学要因	田口　千恵子
2025/06/24（火） 5時限 14:00～14:50	U4必修・領域A （衛生）口腔状態の指標	【授業の一般目標】 健康保持・増進のための歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理に関する指標の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 初期齲蝕の診断 2. 歯のフッ素症の評価 3. 不正咬合の指標 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯のフッ素症、不正咬合の指標について 事前学修時間：60分 事後学修項目：歯のフッ素症、不正咬合の指標について 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布・マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 イ　口腔と全身の健康増進 ａ　健康診断、口腔の診察・検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ａ　歯の硬組織の検査 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患	田口　千恵子
2025/06/27（金） 1時限 09:30～10:45	平常試験４および解説講義	【授業の一般目標】 歯科基礎医学知識の修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科基礎医学知識の修得状況について確認する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など 準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/06/30（月） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （材料）予防塡塞材料、歯内療法用材料	【授業の一般目標】 シーラントによる小窩・裂溝の塡塞および歯内療法を適切に行うために、予防塡塞材料および歯内療法関連材料の種類や基本的性質について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。 2. 歯内療法関連材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/30（月） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （材料）予防填塞材料、歯内療法用材料	する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（予防填塞材料、歯内療法関連材料）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｅ　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 イ　予防填塞用材料 ａ　アクリルレジン、コンポジットレジン ｂ　グラスアイオノマーセメント ａ　根管充填材 ｂ　仮封材、裏層材、覆髄材	永田　俊介
2025/06/30（月） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （材料）歯科用金属、金属の熱処理	【授業の一般目標】 歯科用金属材料を適切に使用するために、それらの性質と取り扱いについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科用金属材料の種類、組成および性質について説明できる。 2.金属の成形加工、軟化熱処理および硬化熱処理について説明できる。 3.歯科用磁性合金の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（歯科用金属、熱処理）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 １　生体材料の科学 ア　材料の種類 ｃ　金属材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ６　歯冠修復・義歯用材料 ウ　金属材料 ａ　金合金 ｂ　低融銀合金、金銀パラジウム合金 ｃ　陶材焼付用合金 ｄ　コバルトクロム合金 ｅ　チタン、チタン合金 ｆ　ステンレス鋼、歯科用磁性合金 ７　成形技術・機器 ウ　金属材料の成形技術・機器 ｂ　金属の接合 ｃ　金属の加工	永田　俊介
2025/06/30（月） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （材料）矯正用材料、加工用金属、金属の成形加工	【授業の一般目標】 矯正用材料および加工用金属の種類や基本的性質について学修し、金属の成形加工について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。 2.金属の成形加工、軟化熱処理、硬化熱処理および接合について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（矯正用材料、加工用金属）を整理・復習する。	永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/30（月） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （材料）矯正用材料、加工用金属、金属の成形加工	事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 １０　歯科矯正用材料 ア　線材料 ａ　ステンレス鋼線 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 １０　歯科矯正用材料 ア　線材料 ｂ　コバルトクロム合金線 ｃ　チタン合金線 ｄ　その他合金線材 イ　バンド、ブラケット、チューブ ウ　エラスティック材、コイルスプリング エ　接着用材料 ７　成形技術・機器 ウ　金属材料の成形技術・機器 ｃ　金属の加工	永田　俊介
2025/07/01（火） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （材料）インプラント用材料、骨補塡用材料、組織工学用材料	【授業の一般目標】 インプラント用材料、骨補塡用材料および組織再生用膜材料を適切に使用するために、それらの性質と取り扱いについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科インプラント用材料の種類、組成および性質について説明できる。 2.骨補塡用材料の種類、組成および性質について説明できる。 3.組織再生用膜材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（インプラント用材料、骨補塡用材料、組織工学用材料）を整理・復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 １１　口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 ア　口腔インプラント用材料 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 １１　口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 イ　骨補塡用材料 ウ　骨接合・顎骨再建用材料 エ　細胞遮断膜 オ　エナメルマトリックスタンパク質	谷本　安浩
2025/07/01（火） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （材料）ニューセラミックス、歯科用CAD/CAMシステム	【授業の一般目標】 歯科用セラミックスの臨床応用を適切に行うために、ニューセラミックスおよびCAD/CAMシステムの種類や基本的性質について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ニューセラミックスの種類、組成および性質について説明できる。 2.歯科用CAD/CAMシステムにおける切削加工および付加製造について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（ニューセラミックス、CAD/CAMシステム）を整理・復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書	谷本　安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/01（火） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （材料）ニューセラミックス、歯科用CAD/CAMシステム	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ６　歯冠修復・義歯用材料 イ　セラミック材料 ｂ　ジルコニア、アルミナ、ガラスセラミックス 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ７　成形技術・機器 エ　CAD/CAM ａ　切削加工 ｂ　積層造形（付加製造）	谷本　安浩
2025/07/01（火） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （有床）根拠に基づいた医療〈EBM〉	【授業の一般目標】 根拠に基づいた医療を行うためにEBMについての知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根拠に基づいた医療について説明できる。 3.EBMの手順を説明できる。 4.問題の定式化について説明できる。 5.科学的根拠について説明できる。 6.診療ガイドラインについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：Minds医療情報サービスのウェブサイトを閲覧しておいてください　minds.jcqhc.or.jp/　1時間 事後学修項目とそれに要する時間数　講義資料の見直し　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 ク　根拠に基づいた医療〈EBM〉 ａ　患者への適用	＊大久保　昌和
2025/07/01（火） 4時限 13:00～13:50	U5必修・領域A （有床）部分床義歯の治療	【授業の一般目標】 部分歯列欠損による障害の治療に関する基本的術式を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.可撤性部分床義歯の意義を述べることができる。 3.可撤性部分床義歯の製作過程を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：部分床義歯の目的について　1時間程度 事後学習項目：部分床義歯局部床義歯の製作過程について（日数をアレンジした過程を各自検討する。）1時間程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｅ　歯の欠如・欠損の治療	＊大久保　昌和
2025/07/01（火） 5時限 14:00～14:50	U5必修・領域A （有床）部分床義歯の基礎知識（病態・診察・検査）	【授業の一般目標】 歯列の欠損に対する障害の病因・病態とその診察・検査法について必要な知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の喪失に伴う口腔の変化を説明できる。 3.歯の喪失による口腔・顎顔面の機能障害を説明できる。 4.部分歯列欠損患者の咬合状態の診察法を説明できる。 5.部分歯列欠損患者の歯列・咬合状態の検査法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯列の欠損に対する障害について学修する。	＊大久保　昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/01（火） 5時限 14:00～14:50	U5必修・領域A （有床）部分床義歯の基礎知識（病態・診察・検査）	・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 カ　歯列・咬合の診察 ｂ　咬合状態 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｅ　咀嚼障害 ｇ　発話障害〈発話機能障害〉 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｅ　歯列・咬合の検査	＊大久保　昌和
2025/07/02（水） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （有床）全部床義歯の治療	【授業の一般目標】 無歯顎者に対する歯の欠損によって生じる障害の治療を適切に行えるようになるために、基本的術式および関連知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.補綴歯科治療に関わる感染予防対策について説明できる。 3.歯の喪失に伴う口腔・顎顔面の加齢変化について説明できる。 4.無歯顎者の病因・病態について説明できる。 5.無歯顎者の口腔環境の評価について説明できる。 6.無歯顎者の口腔機能(咀嚼機能、摂食嚥下機能、構音機能)の回復について説明できる。 7.全部床義歯治療における臨床操作について説明できる。 8.全部床義歯治療における技工操作について説明できる。 9.義歯装着後の口腔機能管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：全部床義歯治療の手順について確認する。 準備学習項目：（60分） 事後学習項目：配付資料と教科書を用いながら復習し必修対策を行う。 事後学習項目：（60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：教科書および配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｅ　歯の欠如・欠損の治療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 キ　院内感染対策 ａ　標準予防策〈standard precautions〉 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 エ　人体の加齢変化 ａ　細胞・組織・器官の形態的変化（口腔および顎骨を含む） ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｅ　咀嚼障害 ｇ　発話障害〈発話機能障害〉 ９　検査・臨床判断の基本 オ　口腔・顎顔面の検査 ｇ　口腔機能の検査 １１　治療の基礎・基本手技 シ　口腔機能のリハビリテーション ａ　咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能 ス　患者管理の基本 ａ　口腔環境の評価（口腔清掃状態、補綴装置の清掃状態、残存歯の状態、口腔粘膜の状態、咬合状態、補綴装置の適合状態、顎堤の状態、唾液、味覚）	＊五十嵐　憲太郎
2025/07/02（水） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （有床）全部床義歯に関連する基礎知識（構造と機能、病態・症候・診察）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、咀嚼、嚥下、発音とこれらの障害および症候について、全部床義歯補綴の理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/02（水） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （有床）全部床義歯に関連する基礎知識（構造と機能、病態・症候・診察）	1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.無歯顎者の解剖学的特徴について説明できる。 3.歯列欠損および無歯顎者の咬合様式について説明できる。 4.構音機能について説明できる。 5.無歯顎者の病態について説明できる。 6.無歯顎者の咀嚼障害、嚥下障害、発音障害について説明することができる。 7.無歯顎者にみられる口腔・顎顔面の機能障害（咀嚼障害・発話障害など）について説明できる。 8.全部床義歯装着者にみられる主要症候を説明することができる。 9.診察における高齢者への対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数　無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題　2時間 事後学習項目とそれに用手る時間数　上記および配布プリント　2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 オ　発声、構音 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 イ　歯の喪失に伴う変化・障害 ａ　口腔・顎顔面領域の変化・障害 総論Ⅳ　主要症候 ２　口腔・顎顔面の症候 ク　口腔・顎顔面の機能障害 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 ア　診療の基本 ａ　診察時の注意 ｇ　Quality of Life〈QOL〉	＊五十嵐　憲太郎
2025/07/02（水） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （有床）全部床義歯に関連する基礎知識（検査、構成要素、材料）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の検査・治療における基本的理論および材料学的な背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯に関わる検査について説明できる。 3.全部床義歯の構成要素を列挙できる。 4.全部床義歯の維持・支持・安定について説明できる。 5.印象用材料について説明できる。 6.義歯用材料について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学および関連国家試験問題の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｄ　歯の欠如・欠損の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｅ　歯列・咬合の検査 ｃ　咀嚼機能検査 ｆ　発声・構音・発語検査 総論Ⅶ　治療 １　治療の基礎 ウ　ライフステージ別の治療 ｃ　高齢者の治療 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ３　印象用材料 ウ　機能印象材 ６　歯冠修復・義歯用材料 ア　レジン（樹脂）系材料	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/02（水） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （有床）全部床義歯に関連する基礎知識（検査、構成要素、材料）	a　加熱重合型アクリルレジン、常温重合型アクリルレジン b　ポリスルフォン、ポリカーボネート オ　人工歯 カ　義歯床用リライン材	＊五十嵐　憲太郎
2025/07/02（水） 4時限 13:00～13:50	U5必修・領域A （歯冠）咬合、下顎位など①	【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の一般概念を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.下顎運動に関連する頭頚部の筋を列挙できる。 3.下顎運動に関連する頭頚部の筋の役割を説明できる。 4.顎関節の構成と役割を説明できる。 5.下顎運動の理解に必要な基準点、基準線、基準面を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：下顎運動と咬合の一般概念を理解する。 ・準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 イ　運動 a　下顎位、咬合接触・咬合様式、下顎運動	＊飯田　崇
2025/07/02（水） 5時限 14:00～14:50	U5必修・領域A （歯冠）咬合、下顎位など②	【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の概念を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.下顎位を列挙して説明できる。 3.咬頭嵌合位における上下顎機能咬頭の接触部位を説明できる。 4.作業側、平衡側における下顎頭運動を説明できる。 5.下顎運動と切歯路、顆路の関連を説明できる。 6.咬合様式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：下顎運動と咬合の概念を理解する。 ・準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 ウ　咀嚼 a　咀嚼能力	＊飯田　崇
2025/07/03（木） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （歯冠）歯冠補綴治療の手順と術式	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療時に歯冠補綴治療の流れと術式を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.築造窩洞形成の手順・術式を説明できる。 3.支台築造法手順・術式を説明できる。 4.精密印象採得、顎間関係の記録の手順・術式を説明できる。 5.クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着の手順・術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第５版、６版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/03（木） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （歯冠）歯冠補綴治療の手順と術式	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｊ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｃ　支台築造 ｄ　印象採得 ｆ　顎間関係の記録 ｈ　口腔内試適 ｉ　仮着 ｊ　装着	＊内堀　聡史
2025/07/03（木） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （歯冠）歯冠補綴治療の流れと使用する器材－臨床操作－	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、臨床における歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 3.支台歯形成に必要な器材を説明できる。 4.歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5.プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 6.クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学第５版・６版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・準備学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｂ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｅ　歯の欠如・欠損の治療	＊内堀　聡史
2025/07/03（木） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （歯冠）歯冠補綴治療の流れと使用する器材－技工操作－	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、技工操作における歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯冠補綴治療に必要な技工操作を説明できる。 3.歯冠補綴治療に必要な感染対策を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第５版・６版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、歯冠補綴装置の作製法を確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｂ　歯の硬組織疾患の治療	＊内堀　聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/03（木） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （歯冠）歯冠補綴治療の流れと使用する器材－技工操作－	【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｅ　歯の欠如・欠損の治療	＊内堀　聡史
2025/07/03（木） 4時限 13:00～13:50	U5必修・領域A （歯冠）クラウンブリッジの要件、ブリッジの構成要素、ブリッジの設計	【授業の一般目標】 クラウンブリッジの要件、ブリッジの構成要素、ブリッジの設計について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジの要件を説明できる。 3.ブリッジの構成要素を説明できる。 4.ブリッジの設計について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｂ　歯の硬組織疾患の治療	＊飯田　崇
2025/07/03（木） 5時限 14:00～14:50	U5必修・領域A （歯冠）前処置，感染予防	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義，種類，内容および感染予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義，種類，内容を説明できる。 3.感染予防の基本的な考え方と補綴歯科治療における対策を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｂ　歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 エ　消毒・滅菌と感染対策 ａ　消毒・滅菌法	＊飯田　崇
2025/07/04（金） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （歯冠）加齢と老化①	【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ説明できる。 3.加齢・老化による歯・顎・顔面の形態的変化を説明できる。 4.加齢・老化による歯・顎・顔面の機能的変化を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料	＊岩﨑　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/04（金） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （歯冠）加齢と老化①	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｂ　手段的日常生活動作〈IADL〉	＊岩﨑　正敏
2025/07/04（金） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （歯冠）加齢と老化②	【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ説明できる。 3.加齢・老化による歯・顎・顔面の形態的変化を説明できる。 4.加齢・老化による歯・顎・顔面の機能的変化を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｂ　手段的日常生活動作〈IADL〉	＊岩﨑　正敏
2025/07/04（金） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （歯冠）顎口腔機能検査	【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、顎口腔機能検査を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.咬合力に関する顎口腔機能検査を説明できる 3.咀嚼機能に関する顎口腔機能検査を説明できる。 4.口腔機能低下症に関する顎口腔機能検査を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎口腔機能検査を理解する。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 イ　顎口腔機能検査 ｃ　咀嚼機能検査	＊飯田　崇
2025/07/04（金） 4時限 13:00～13:50	U5必修・領域A （歯冠）高齢者（IADLなど）	【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ説明できる。 3.加齢・老化による歯・顎・顔面の形態的変化を説明できる。 4.加齢・老化による歯・顎・顔面の機能的変化を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/04（金） 4時限 13:00～13:50	U5必修・領域A （歯冠）高齢者（IADLなど）	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｂ　手段的日常生活動作〈IADL〉	＊飯田　崇
2025/07/04（金） 5時限 14:00～14:50	U5必修・領域A （歯冠）口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面領域に発生する有痛性疾患に対応するために、顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.脳神経系の役割について説明できる。 3.口腔顔面領域の有痛性疾患について説明できる。 4.非歯原性歯痛の原因疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 １　病因・病態 サ　疼痛 ｃ　口腔・顔面領域の疼痛	＊飯田　崇
2025/07/05（土） 1時限 09:00～09:50	U5必修・領域A （衛生）臨床疫学的指標、疫学と調査１	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.疫学の概念について説明できる。 2.観察研究、介入研究、臨床疫学について説明できる。 3.因果関係の成立について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ア　疫学とその応用 ａ　疫学の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ア　疫学とその応用 ｅ　観察研究、介入研究 ｄ　因果関係の成立	＊鈴木　到
2025/07/05（土） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （衛生）臨床疫学的指標、疫学と調査２	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床疫学的指標(アウトカム、リスク比、オッズ比）について説明できる。	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/05（土） 2時限 10:00～10:50	U5必修・領域A （衛生）臨床疫学的指標、疫学と調査２	2.スクリーニング検査について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し ・学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 ク　根拠に基づいた医療〈EBM〉 ｄ　臨床疫学的指標（アウトカム指標、相対危険度、寄与危険度、オッズ比） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ア　疫学とその応用 ｂ　スクリーニング検査	＊鈴木　到
2025/07/05（土） 3時限 11:00～11:50	U5必修・領域A （衛生）臨床疫学的指標、疫学と調査３	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.統計解析について説明できる。 2.歯科領域における統計指標について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントを整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し ・学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 ア　疫学とその応用 ｃ　統計解析 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ６　疫学と調査 イ　疫学指標 ｂ　歯科における疫学指標	＊鈴木　到
2025/07/08（火） 1時限 09:30～10:30	平常試験５および解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の必修・総論に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科臨床医学の必修・総論に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など。平常試験における出題数の内訳は試験日程，領域別出題数表を参照すること。 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他	＊根岸　慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/08（火） 1時限 09:30～10:30	平常試験５および解説講義	該当なし	＊根岸　慎一
2025/07/09（水） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （保存）齲蝕・非齲蝕性硬組織疾患	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、齲蝕および非齲蝕性硬組織疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲蝕の特徴について説明できる。 3.非齲蝕性硬組織疾患の種類とその特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：齲蝕、非齲蝕性硬組織疾患について学修しておく。 ・準備学修時間：60　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学　第7版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 イ　口腔・顎顔面領域の症候 ｂ　歯の症候（齲蝕、歯の損耗、着色・変色、亀裂、破折） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ａ　歯の硬組織疾患 歯科医学総論 総論Ⅳ　主要症候 ２　口腔・顎顔面の症候 ア　歯、歯髄・根尖歯周組織 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア　成形修復用材料 ｂ　グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント	＊内山　敏一
2025/07/09（水） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （保存）検査・前準備	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、検査法、修復前準備について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の硬組織疾患の検査法について説明できる。 3.修復前準備に用いる器具について説明できる。 4.ICDASについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の硬組織の検査法、修復処置に用いる器具、器械について学修しておく。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学　第7版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ａ　歯の硬組織の検査 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 イ　基本手技 ａ　視診、触診、打診、聴診 キ　歯・歯周組織の診察 ａ　歯と歯冠修復物 ９　検査・臨床判断の基本 オ　口腔・顎顔面の検査 ａ　歯の検査 １１　治療の基礎・基本手技 ウ　器械の安全な取扱法 ｂ　治療に用いる基本的器材 セ　歯科材料・機器 ｂ　診療用器械、切削・研削工具・研磨材	＊内山　敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/09（水） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （保存）検査・前準備	歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ２　診療用器械・器具 ア　診療用器械 ｂ　エアタービン ｃ　マイクロモーター ｄ　レーザー機器 イ　切削・研削工具、研磨材 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｂ　歯の硬組織疾患の治療	＊内山　敏一
2025/07/09（水） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （保存）治療の基礎・基本手技	【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、硬組織の切削、窩洞、修復法の種類と特徴について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.硬組織の切削について説明できる。 3.窩洞について説明できる。 4.直接修復法について説明できる。 5.間接修復法について説明できる。 6.コンポジットレジンの組成について説明できる。 7.コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：直接修復、間接修復について学修しておく。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学　第7版） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア　成形修復用材料 ａ　コンポジットレジン 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療 総論Ⅷ　歯科材料と歯科医療機器 ５　成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ウ　歯内療法用材料 ｂ　仮封材、裏層材、覆髄材 ７　成形技術・機器 ウ　金属材料の成形技術・機器 ａ　鋳造工程 ８　接着処理・技術 ア　接着性モノマー ａ　エナメル質被着面処理 ｂ　象牙質被着面処理 ａ　セラミックス被着面処理 ｂ　コンポジットレジン被着面処理 ９　装着用材料 ア　合着・接着用セメント ａ　レジンセメント ｂ　グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント	＊内山　敏一
2025/07/09（水） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （小児）人体の発生・成長・発達・加齢	【授業の一般目標】 小児の発育を考慮した小児歯科治療を実践するために、小児の身体的・精神的発達を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の発育を説明できる。 3.身体発育の特徴を説明できる。 4.身体発育と精神発達の評価法を説明できる。 5.小児の生理的特徴を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の身体的・精神的発達について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊清水　邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/09（水） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （小児）人体の発生・成長・発達・加齢	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ　人体の発育 ａ　発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ　人体の発育 ｂ　成長・発達（形態的・生理的変化）の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達） ｃ　小児の生理的特徴	＊清水　邦彦
2025/07/09（水） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （小児）人体の発生・成長・発達・加齢	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯・歯列の発育および小児への歯科的対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の発育を説明できる。 3.歯齢を説明できる。 4.歯列の発育を説明できる。 5.小児期の栄養について説明できる。 6.口腔機能の発達について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の歯・歯列の発育について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ　口腔・顎顔面の成長・発育 ａ　歯・歯列・咬合の発育（発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ８　食生活と健康 ア　国民栄養の現状と対策 ｂ　食事摂取基準 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 ウ　口腔機能向上に関する指導 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 エ　口腔健康管理 ｂ　口腔機能管理	＊清水　邦彦
2025/07/10（木） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （歯内）正常構造と機能と発生、加齢、病因	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、基本的な術式、構造と機能、発生、加齢、病因、病態を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の治療の基本的術式を説明できる。 3.歯内分野における正常構造と機能、発生、加齢を説明できる。 4.歯内分野における病因、病態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法総論全般 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造	＊神尾　直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/10（木） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （歯内）正常構造と機能と発生、加齢、病因	イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	＊神尾　直人
2025/07/10（木） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （歯内）歯内疾患の主要症候と検査	【授業の一般目標】 歯髄根尖歯周組織疾患の適切な診断・治療ができるようになるために、歯・歯髄・根尖歯周組織の主要症候、検査について習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯内分野における主要症候を説明できる。 3.歯内分野における検査を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容　歯内療法全般 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体　プリント　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患	＊岡部　達
2025/07/10（木） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （歯内）歯内治療の材料・方法	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療ができるようになるために、歯・歯髄・根尖歯周組織疾患の治療、歯科材料と歯科医療機器を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯内領域における治療法を説明できる。 3.歯内領域における材料と医療機器を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目　歯内療法全般 学習時間　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無　無し 媒体　プリント　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｂ　歯内療法	＊渡邊　昂洋
2025/07/10（木） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （小児）乳歯の形態的特徴	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、乳歯の形態的特徴、歯の数・形態・構造の異常、ならびに児童虐待について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.児童虐待について説明できる。 3.乳歯および幼若永久歯の形態的特徴を説明できる。 4.歯の数・形態・構造の異常について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集総論、各論I領域 準備学修時間：60分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化	＊清水　邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/10（木） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （小児）乳歯の形態的特徴	ウ　口腔・顎顔面の成長・発育 ａ　歯・歯列・咬合の発育（発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 ア　歯の形態 ｂ　乳歯 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 ア　母子保健、母子歯科保健と児童福祉 ｇ　児童虐待への対応	＊清水　邦彦
2025/07/10（木） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （小児）治療の基礎・基本手技	【授業の一般目標】 安全な小児歯科診療を実施するために小児歯科治療の基礎および対応法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.年齢別による小児のコミュニケーションを説明できる。 3.小児の対応法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の対応法について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 イ　小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 ａ　治療環境 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 イ　小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 ｃ　コミュニケーション 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 １　治療の基礎 ウ　ライフステージ別の治療 ａ　小児の治療	＊清水　邦彦
2025/07/11（金） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査および治療計画について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織検査について理解できる。 3.治療計画を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査および治療計画について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｃ　歯周組織（歯周病）検査	＊高井　英樹
2025/07/11（金） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周治療および歯周治療用材料を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周基本治療について理解できる。 3.歯周外科治療の基本手技について理解できる。	＊高井　英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/11（金） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （歯周）	4.歯周治療用材料について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周治療について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｃ　歯周治療	＊高井　英樹
2025/07/11（金） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査、治療計画および治療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯周組織検査について理解できる。 3.治療計画を立案できる。 4.歯周治療について理解できる。 5.歯周外科治療の基本手技について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査、治療計画および治療法を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｄ　歯周治療	＊高井　英樹
2025/07/11（金） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （障害者）摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能の発達および加齢変化を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.摂食機能の発達について述べられる。 3.嚥下のメカニズムについて説明できる。 4.嚥下障害について述べられる。 5.誤嚥性肺炎について述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ６　リハビリテーション イ　リハビリテーションの技術 ａ　摂食嚥下障害のリハビリテーション 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能	＊野本　たかと

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/11（金） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （障害者）摂食嚥下	エ　嚥下 ａ　摂食嚥下の5期 総論Ⅳ　主要症候 ２　口腔・顎顔面の症候 ク　口腔・顎顔面の機能障害 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｅ　摂食嚥下障害 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 イ　顎口腔機能検査 ｅ　摂食嚥下機能検査	＊野本　たかと
2025/07/11（金） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （障害者）摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食嚥下機能障害の病態とその検査を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。 3.摂食嚥下機能障害の病因および病態について説明できる。 4.摂食嚥下機能検査について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド，配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｆ　摂食嚥下障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 シ　口腔機能のリハビリテーション ａ　咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 エ　嚥下 ａ　摂食嚥下の5期 ｂ　嚥下の神経機構 ７　人体の成長・発達・加齢変化 ウ　口腔・顎の機能の発達 ａ　摂食嚥下機能 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｅ　摂食嚥下障害 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 イ　顎口腔機能検査 ｅ　摂食嚥下機能検査 ｆ　発声・構音・発語検査 ｇ　鼻咽腔閉鎖機能検査	＊林　佐智代
2025/07/12（土） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （矯正）形態検査①	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、不正咬合の特徴を捉え、診断および治療計画の立案に必要な検査・分析法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯列・咬合の診査項目を述べることができる。 3.模型分析の項目と特徴を述べることができる。 4.各種セファロ分析の項目と特徴を述べることができる。 5.分析により得られたデータを統合して不正咬合の状態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：90分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊五関　たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/12（土） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （矯正）形態検査①	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 カ　歯列・咬合の診察 ｂ　咬合状態	＊五関　たけみ
2025/07/12（土） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （矯正）形態検査②	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、不正咬合の特徴を捉え、診断および治療計画の立案に必要な検査・分析法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯列・咬合の診査項目を述べることができる。 3.模型分析の項目と特徴を述べることができる。 4.各種セファロ分析の項目と特徴を述べることができる。 5.分析により得られたデータを統合して不正咬合の状態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：90分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 オ　口腔・顎顔面の検査 ａ　歯の検査	＊五関　たけみ
2025/07/12（土） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （矯正）成長発育	【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面のの成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.成長発育の評価について説明できる。 3.骨年齢とその評価について説明できる。 4.成長スパートの予測について説明できる。 5.脳頭蓋の成長について説明できる。 6.上顎骨の成長発育の特徴について説明できる。 7.下顎骨の成長発育の特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①Scammomの臓器発育曲線について　②生理的年齢について 　③脳頭蓋の成長様式について　④上下顎骨の成長発育の特徴について ・事前学習時間：６０分 ・事後学修項目：顎顔面頭蓋の成長発育について ・事後学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 ウ　口腔・顎顔面の成長・発育 ｂ　頭蓋骨（顔面骨を含む）の成長の特徴（成長の時期、骨形成様式）	＊石井　かおり
2025/07/15（火） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （障害者）障害者の歯科治療	【授業の一般目標】 障害児・者の歯科治療が行えるようになるために、障害者の対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.障害者の保健・医療・福祉について述べられる。 3.障害者の概念や分類を説明できる。 4.障害者の行動調整法について述べられる。 5.障害者の歯科治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。	＊梅澤　幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/15（火） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （障害者）障害者の歯科治療	準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ア　障害の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ウ　行動調整 エ　診察の基本 オ　歯科治療上留意すべき事項 ５　高齢者への対応 ア　診療の基本 ａ　診察時の注意	＊梅澤　幸司
2025/07/15（火） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （障害者）治療の基礎・基本手技・行動調整	【授業の一般目標】 障害者の歯科治療について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.行動調整について説明できる。 3.スペシャルニーズのある人達の治療環境について説明できる。 4.スペシャルニーズのある人達の治療体位について説明できる。 5.スペシャルニーズのある人達のコミュニケーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 イ　小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 ａ　治療環境 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 イ　小児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 ｂ　患者の体位 ｃ　コミュニケーション 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 １　治療の基礎 オ　障害者の治療 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ウ　行動調整 エ　診察の基本 オ　歯科治療上留意すべき事項	＊梅澤　幸司
2025/07/15（火） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （障害者）障害者・高齢者の診察	【授業の一般目標】 障害児・者の歯科治療が行えるようになるために、障害者や高齢者の対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.障害者の保健・医療・福祉について述べられる。 3.障害者の概念や分類を説明できる。 4.障害者および高齢者にみられる疾患について説明できる。 5.障害者および高齢者の歯科治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当	＊梅澤　幸司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/15（火） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （障害者）障害者・高齢者の診察	項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ア　障害の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ２　小児への対応 オ　発達障害のある小児への対応 ａ　自閉スペクトラム症［自閉症スペクトラム障害〈ASD〉］ ｂ　注意欠如・多動症［注意欠陥多動性障害〈ADHD〉］ ｃ　限局性学習症［学習障害〈LD〉］ ３　障害者への対応 エ　診察の基本 オ　歯科治療上留意すべき事項 ６　全身疾患を有する者への対応 ア　留意すべき疾患 ａ　呼吸器疾患 ｂ　循環器疾患 ｆ　精神疾患 ｇ　神経・運動器疾患 ｋ　免疫・アレルギー疾患	＊梅澤　幸司
2025/07/15（火） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （衛生）保健の保持・増進と社会保障の仕組み	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な疾病・障害の概念を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.疾病・障害の概念・構造を説明できる。 2.国際生活機能分類（ＩＣＦ）を理解できる。 3.障害者福祉に関する法律を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 ア　患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 ａ　疾病・障害の概念・構造（社会的関わり）	＊鈴木　到
2025/07/15（火） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （衛生）保健・医療と健康増進	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために，人口統計および保健統計について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.人口静態・動態統計について説明できる。 2.出生および死亡に関する動向について説明できる。 3.各種保健統計について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進	＊鈴木　到

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/15（火） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （衛生）保健・医療と健康増進	6　疫学と調査 ウ　保健医療統計調査 a　人口統計、保健医療統計	＊鈴木　到
2025/07/15（火） 6時限 15:00～15:50	必修・領域A（衛生）予防と健康管理・増進	【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.学校歯科保健活動について説明できる。 2.学校歯科医について説明できる。 3.歯科健康診断について説明できる。 4.「心身の発達段階等からみた子どもの歯・口の健康づくり」の課題について説明できる。 5.学齢期の健康状況について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習し、関連国試過去問を解く。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ２　ライフステージ別にみた保健・福祉 イ　学校保健、学校歯科保健と学校安全 ｅ　学校歯科保健管理	＊鈴木　到
2025/07/16（水） 1時限 09:00～09:50	U4必修・領域A （衛生）ライフステージ別保健事業②	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ライフステージ別にみた保健事業を説明できる。 3.地域保健関連機関を説明できる。 4.公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 エ　保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み ｂ　保健衛生法規 ｄ　予防衛生法規 ｆ　地域保健関連機関 ｇ　福祉施設、介護施設 ｈ　医療施設 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動	＊有川　量崇
2025/07/16（水） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （衛生）ライフステージ別保健事業（地域包括ケア）	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ライフステージ別にみた保健事業を説明できる。 3.地域保健関連機関を説明できる。 4.公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。	＊有川　量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/16（水） 2時限 10:00～10:50	U4必修・領域A （衛生）ライフステージ別保健事業（地域包括ケア）	【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 エ　保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み ｂ　保健衛生法規 ｄ　予防衛生法規 ｆ　地域保健関連機関 ｇ　福祉施設、介護施設 ｈ　医療施設 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動	＊有川　量崇
2025/07/16（水） 3時限 11:00～11:50	U4必修・領域A （衛生）ライフステージ別保健事業（医療計画）	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ライフステージ別にみた保健事業を説明できる。 3.地域保健関連機関を説明できる。 4.公衆衛生活動、地域保健活動を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｅ　保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 エ　保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み ｂ　保健衛生法規 ｄ　予防衛生法規 ｆ　地域保健関連機関 ｇ　福祉施設、介護施設 ｈ　医療施設 ａ　公衆衛生活動、地域保健活動	＊有川　量崇
2025/07/16（水） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （衛生）食生活と健康1	【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために栄養と食品保健を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.国民栄養の現状について説明できる。 2.国民栄養の対策について説明できる。 3.食生活指針について説明できる。 4.食育基本法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：国民健康栄養調査結果、食生活指針 事前学修時間：60分 事後学修項目：国民健康栄養調査結果、食生活指針 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/16（水） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （衛生）食生活と健康1	教科書・資料配布・マルチメディア使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ８　食生活と健康 ア　国民栄養の現状と対策 ａ　国民栄養の現状 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ８　食生活と健康 ア　国民栄養の現状と対策 ｃ　食生活指針 ｂ　食育基本法	田口　千恵子
2025/07/16（水） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （衛生）食生活と健康2	【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために栄養と食品保健を学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.食の安全性と機能性について説明できる。 2.食事摂取基準について説明できる。 3.機能性表示食品について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：食事摂取基準、食品表示法、食品衛生法 事前学修時間：60分 事後学修項目：食事摂取基準、食品表示法、食品衛生法 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 教科書・資料配布・マルチメディア使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ８　食生活と健康 ア　国民栄養の現状と対策 ｂ　食事摂取基準 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ８　食生活と健康 イ　食品保健と食事指導 ａ　食の安全性と機能性 総論Ⅴ　診察 ５　高齢者への対応 イ　評価 ｉ　栄養状態	田口　千恵子
2025/07/17（木） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （病理）病理検査、粘膜疾患	【授業の一般目標】 病理検査と粘膜疾患を解説できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.病理検査を解説できるようになる。 3.粘膜疾患を解説できるようになる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ｊ　口腔潜在的悪性疾患	＊末光　正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/17（木） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （病理）病理検査、粘膜疾患	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ３　検体検査 ア　検体検査 ｆ　病理学検査	＊末光　正昌
2025/07/17（木） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （病理）嚢胞・腫瘍・腫瘍類似疾患	【授業の一般目標】 嚢胞・腫瘍・腫瘍類似疾患の鑑別をできる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.嚢胞に関する国家試験問題を解説できる。 3.腫瘍に関する国家試験問題を解説できる。 4.腫瘍類似疾患に関する国家試験問題を解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ｂ　非歯原性良性腫瘍 ｃ　口腔癌 ｇ　白血病 ｈ　悪性リンパ腫 ｉ　悪性黒色腫 ｋ　腫瘍類似疾患	＊末光　正昌
2025/07/17（木） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （病理）加齢変化・先天異常	【授業の一般目標】 加齢変化・先天異常の国家試験問題を解説できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 ア　口腔・顎顔面の先天異常 ａ　顔面裂	＊末光　正昌
2025/07/17（木） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （病理）齲蝕と齲蝕の続発症、歯周疾患、唾液腺疾患	【授業の一般目標】 齲蝕と齲蝕の続発症、歯周疾患、唾液腺疾患に関する国家試験問題を解説できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.齲蝕と齲蝕の続発症を解説できる。 3.歯周疾患を解説できる。 4.唾液腺疾患を解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分	＊末光　正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/17（木） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （病理）齲蝕と齲蝕の続発症、歯周疾患、唾液腺疾患	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ａ　齲蝕の病因 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患 ３　歯周疾患 ア　歯周疾患の病因と病態 ａ　歯肉病変とそのリスクファクター 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　唾液腺疾患の病態・診断・治療 ａ　発育異常	＊末光　正昌
2025/07/17（木） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （病理）症候群と全身疾患	【授業の一般目標】 症候群と全身疾患に関する国家試験問題を解説できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.症候群を解説できる。 3.全身疾患を解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 ウ　遺伝性疾患（主に頭蓋・顎顔面に症状がみられる） ａ　Crouzon症候群 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患 ｂ　根尖性歯周疾患	＊末光　正昌
2025/07/18（金） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （病理）顎骨の非腫瘍性病変と腫瘍様病変	【授業の一般目標】 顎骨の非腫瘍性病変と腫瘍様病変の診断をできるようになるために、その病態と特徴について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2.顎骨骨髄炎の病理学的特徴について説明できる。 3.顎・顎関節外傷の病理学的特徴について解説できる。 4.顎関節炎の病理学的特徴について述べることができる。 5.顎骨の遺伝性及び原因不明の疾患について説明できる。 6.線維骨性病変を列挙できる。 7.線維骨性病変の病理組織学的特徴について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 □事前学修（30分） ・顎骨の正常組織構造について解説できる。 ■事後学修（60分） ・顎及び顎関節の非腫瘍性病変と腫瘍様病変に関する学修資料 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/18（金） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （病理）顎骨の非腫瘍性病変と腫瘍様病変	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｅ　顎骨・顎関節の疾患	＊宇都宮　忠彦
2025/07/18（金） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （病理）病理学検査	【授業の一般目標】 正確な診断ができるようになるために、各種病理学検査の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.病理検査の意義について説明できる。 3.細胞診について説明できる。 4.組織診について説明できる。 5.各種病理検査の特徴を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：3年生で学習した病理学及び口腔病理学の復習 ・準備学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング（無） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ３　検体検査 イ　検体の採取・保存・確認	＊宇都宮　忠彦
2025/07/18（金） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために，臨床上繁用される薬物に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.循環器系に作用する薬物を列挙し，その特徴を説明できる。 2.呼吸器系に作用する薬物を列挙し，その特徴を説明できる。 3.全身疾患を有する患者の適用上の注意を列挙し，説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：課題別講義時に配布した講義プリント（薬物の作用部位・作用機序）を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア，プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｅ　薬物適用の注意 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｄ　薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策	青野　悠里
2025/07/18（金） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために，薬物投与上の注意に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.禁忌，小児・妊婦・高齢者の適用上の注意を列挙し、その特徴を説明できる。 2.薬力学的相互作用を説明できる。 3.薬物動態学的相互作用を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「薬物適用上の注意」「薬物相互作用」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/18（金） 4時限 13:00～13:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア，プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｅ　薬物適用の注意 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 イ　用法・用量 ｄ　薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策	青野　悠里
2025/07/18（金） 5時限 14:00～14:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために，薬物の保管・管理，臨床試験に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の管理について説明できる。 2.臨床試験について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「薬物の保管・管理，臨床試験」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア，プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 イ　保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 ｄ　医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ａ　薬物療法の種類と特徴 ｂ　用量と反応 ｃ　服薬計画・指導	青野　悠里
2025/07/19（土） 1時限 09:00～09:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物療法の種類とその特徴について説明できる。 2.薬効に影響を及ぼす因子を列挙できる。 3.薬物の作用部位・作用機序について説明できる。 4.薬物の用量と生体反応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬物療法の種類，薬効に影響を及ぼす因子，薬物の用量と生体反応について）を身につける。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ｂ　薬効	青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/19（土） 2時限 10:00～10:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の連用が起こす生体現象とその発現機構を説明できる。 2.代表的な薬物の副作用・有害作用，薬物相互作用を挙げられる。 3.代表的な鎮痛薬を挙げ，その作用機序を説明できる。 4.代表的な抗炎症薬を挙げ，その作用機序を説明できる。 5.薬物の保管・管理の留意点を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬理作用の機序，副作用・有害作用，薬物相互作用，鎮痛薬，抗炎症薬について）を身につける。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ａ　薬物療法の種類と特徴	青野　悠里
2025/07/19（土） 3時限 11:00～11:50	U6必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物の連用が起こす生体現象とその発現機構を説明できる。 2.代表的な薬物の副作用・有害作用，薬物相互作用を挙げられる。 3.代表的な鎮痛薬を挙げ，その作用機序を説明できる。 4.代表的な抗炎症薬を挙げ，その作用機序を説明できる。 5.薬物の保管・管理の留意点を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬理作用の機序，副作用・有害作用，薬物相互作用，鎮痛薬，抗炎症薬について）を身につける。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ８　薬物療法 ア　薬物の選択 ａ　薬物療法の種類と特徴	三枝　禎 青野　悠里
2025/07/22（火） 1時限 09:30～11:05	平常試験６および 解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の必修・総論に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科臨床医学の知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・準備学修時間：知識の習得に必要な時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/07/23（水） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （麻酔）院内感染 対策	【授業の一般目標】 院内感染に対する院内の取り組みについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊鈴木　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/23（水） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （麻酔）院内感染対策	1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.標準予防策〈stannderd precautions〉について説明できる。 3.個人防護具〈PPE〉について説明できる。 4.薬剤耐性と抗菌薬の適正使用について説明できる。 5.医療廃棄物処理法について説明できる。 6.感染対策委員会および感染制御〈対策〉チーム〈ICT〉の役割について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 キ　院内感染対策 ｅ　感染対策委員会、感染制御〈対策〉チーム〈ICT〉 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 キ　院内感染対策 ａ　標準予防策〈standard precautions〉 ｂ　個人用防護具〈PPE〉 ｃ　薬剤耐性［antimicrobial resistance〈AMR〉］と抗菌薬の適正使用［antimicrobial stewardship〈AMS〉］ ｄ　医療廃棄物処理	＊鈴木　正敏
2025/07/23（水） 2時限 10:00～10:50	U7必修・領域A （麻酔）医療安全	【授業の一般目標】 安全で適切な診療を行うために、医療事故の防止について理解する。 患者の満足度と医療の質の確保について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.患者の安全管理について説明することができる。 3.医療者の安全管理について説明することができる。 4.ヒヤリハットについて説明することができる。 5.アクシデント・インシデントレポートについて説明することができる。 6.患者説明文と同意書について説明することができる。 7.クリニカルパスについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「17.医療安全管理」。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 カ　医療事故の防止 ｅ　アクシデント、インシデント（ヒヤリハット）、医療事故報告書、インシデントレポート、医療事故の発生要因分析 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ２　社会と歯科医療 オ　医療の質の確保 ｃ　クリニカルパス ｂ　患者説明文書、同意書	＊鈴木　正敏
2025/07/23（水） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （麻酔）呼吸器疾患	【授業の一般目標】 安全な歯科治療を行うために、注意すべき呼吸器疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.呼吸機能検査について説明することができる。 3.閉塞性換気障害について説明することができる。 4.拘束性換気障害について説明することができる。 5.呼吸困難・チアノーゼについて説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4.管理上問題となる疾患」。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：配付資料、講義記載内容。	＊鈴木　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/23（水） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （麻酔）呼吸器疾患	事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ス　患者管理の基本 ｂ　全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器疾患、腎・泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経・運動器疾患、内分泌・代謝・栄養疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊鈴木　正敏
2025/07/23（水） 4時限 13:00～13:50	U7必修・領域A （麻酔）内分泌・代謝疾患	【授業の一般目標】 糖尿病・甲状腺機能疾患患者の歯科治療時の留意点について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づいて以下を教授する。 2.糖尿病の病態について説明することができる。 3.糖尿病患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。 4.甲状腺機能疾患について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学で学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｈ　内分泌疾患	＊鈴木　正敏
2025/07/23（水） 5時限 14:00～14:50	U7必修・領域A （麻酔）局所麻酔	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、局所麻酔の種類、特徴について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.局所麻酔薬の作用機序を説明することができる。 3.局所麻酔薬の種類を説明することができる。 4.歯科用局所麻酔薬に添加される血管収縮薬の種類とその作用機序について説明することができる。 5.血管収縮薬に留意すべき疾患について説明することができる。 6.血管収縮薬の相互作用がある薬剤について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「13.局所麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔	＊卯田　昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/23（水） 5時限 14:00～14:50	U7必修・領域A （麻酔）局所麻酔	a　局所麻酔	＊卯田　昭夫
2025/07/23（水） 6時限 15:00～15:50	U7必修・領域A （麻酔）精神鎮静法	【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、精神鎮静法の実際について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.静脈内鎮静法について説明することができる。 3.静脈内鎮静法で使用する薬物について説明することができる。 4.静脈内鎮静法時の呼吸抑制について、その原因と対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「12.精神鎮静法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 カ　麻酔法 ｃ　精神鎮静法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｃ　精神鎮静法	＊卯田　昭夫
2025/07/24（木） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （口外）手術法①	【授業の一般目標】 顎口腔領域口腔外科疾患を説明できるようにするために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.手術方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科４年次学習内容 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｃ　切開法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｄ　止血法、縫合法	＊山本　泰
2025/07/24（木） 2時限 10:00～10:50	U7必修・領域A （口外）手術法②	【授業の一般目標】 顎口腔領域口腔外科疾患を説明できるようにするために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.手術方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科４年次学習内容 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊山本　泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/24（木） 2時限 10:00～10:50	U7必修・領域A （口外）手術法②	アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｆ　抜歯、口腔の小手術	＊山本　泰
2025/07/24（木） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （口外）手術法③	【授業の一般目標】 顎口腔領域口腔外科疾患を説明できるようにするために学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.手術方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔外科４年次学習内容 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：授業内容の復習 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｅ　穿刺、切開排膿、ドレナージ	＊山本　泰
2025/07/24（木） 4時限 13:00～13:50	U7必修：領域A （口外）基本手技 ①	【授業の一般目標】 安全な歯科治療を行なうために、必要な診療のための基本的知識、技能、診査や検査の解釈を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.膿瘍の処置を説明できる。 3.膿瘍切開の手順を説明できる。 4.膿瘍切開の目的を説明できる。 5.治療の基礎・基本手技を説明できる。 6.抜歯の術式を説明できる。 7.抜歯の偶発症を説明できる。 8.抜歯に必要な器具を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、手術について ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、手術について 準備学修時間：３時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ク　膿瘍の処置 ａ　穿刺、切開、ドレナージ	＊飯塚　普子
2025/07/24（木） 5時限 14:00～14:50	U7必修：領域A （口外）基本手技 ②	【授業の一般目標】 安全な歯科治療を行なうために、必要な診療のための基本的知識、技能、診査や検査の解釈を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.膿瘍の処置を説明できる。 3.膿瘍切開の手順を説明できる。 4.膿瘍切開の目的を説明できる。 5.治療の基礎・基本手技を説明できる。 6.抜歯の術式を説明できる。	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/24（木） 5時限 14:00～14:50	U7必修：領域A （口外）基本手技 ②	7.抜歯の偶発症を説明できる。 8.抜歯に必要な器具を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、手術について ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学、手術について 準備学修時間：３時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ク　膿瘍の処置 ａ　穿刺、切開、ドレナージ	＊飯塚　普子
2025/07/24（木） 6時限 15:00～15:50	U7必修：領域A （口外）治療の基礎	【授業の一般目標】 顎口腔領域に関連する周術期の管理ついて説明できるよう学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身管理に留意する疾患を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域治療に関連する周全身疾患ついて説明できる。 事前学修時間：30分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ア　手術 ｆ　抜歯、口腔の小手術	＊飯塚　普子
2025/07/25（金） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （麻酔）循環器疾患	【授業の一般目標】 全身疾患（高血圧症および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.NYHAについて説明することができる。 3.高血圧症の病態、全身管理（救急処置を含む）について説明することができる。 4.虚血性心疾患について説明することができる。 5.狭心症の病態について説明することができる。 6.狭心症発症時の対応について説明することができる。 7.心筋梗塞の病態について説明することができる。 8.心筋梗塞発症時の対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊卯田　昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/25（金） 2時限 10:00～10:50	U7必修・領域A （麻酔）肝・腎疾患	【授業の一般目標】 全身疾患（肝・腎疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.肝疾患について説明することができる。 3.肝疾患患者の歯科治療時の留意点について説明することができる。 4.肝疾患患者の与薬時の留意点について説明することができる。 5.腎疾患について説明することができる。 6.腎疾患患者の歯科治療時の留意点について説明することができる。 7.腎疾患患者の与薬時の留意点について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｃ　消化器疾患	＊卯田　昭夫
2025/07/25（金） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （麻酔）１次救命処置	【授業の一般目標】 歯科治療中に発生した心肺停止状態に対応できるようになるために、救急蘇生法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.意識障害について説明することができる。 3.意識障害の評価について説明することができる。 4.一次救命処置（BLS）について説明することができる。 5.除細動とその適応について説明することができる。 6.二次救命処置について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「16.救急救命処置」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 イ　救急処置 ａ　一次救命処置〈BLS〉	＊辻　理子
2025/07/25（金） 4時限 13:00～13:50	U7必修・領域A （麻酔）術前の評価	【授業の一般目標】 安全に歯科治療を行うために、全身麻酔の実際、特に術前の診察内容および検査項目ついて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身麻酔の概念について説明することができる。 3.全身麻酔施行前の診察内容について説明することができる。 4.全身麻酔施行前の診察、特に全身状態の評価について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊辻　理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/25（金） 4時限 13:00～13:50	U7必修・領域A （麻酔）術前の評価	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔	＊辻　理子
2025/07/25（金） 5時限 14:00～14:50	U7必修・領域A （麻酔）心不全・弁膜疾患	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、注意すべき心臓疾患ついて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.心臓弁膜疾患について説明することができる。 3.弁膜疾患患者の観血的処置時の注意点について説明することができる。 4.感染性心内膜炎について説明することができる。 5.心不全について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4.管理上問題となる疾患」。 準備学修時間：30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ス　患者管理の基本 ｂ　全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器疾患、腎・泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経・運動器疾患、内分泌・代謝・栄養疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢	＊辻　理子
2025/07/28（月） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線の作用と性質・エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材・エックス線画像の原理、デジタルシステムについて学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.電離放射線について説明できる。 3.電磁放射線・粒子放射線について説明できる。 4.エックス線撮影装置およびフィルムの構造について説明できる。 5.エックス線画像の形成について説明できる。 6.歯科用デジタルエックス線画像診断システムについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：電離放射線、放射線の単位および測定、エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材、エックス線画像の形成、歯科用デジタルエックス線画像診断システムの基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：電離放射線、放射線の単位および測定、エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材、エックス線画像の形成、歯科用デジタルエックス線画像診断システムについて説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ａ　放射線の性質と作用 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｂ　エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/28（月） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 ア　エックス線画像の原理 ａ　電離放射線 ｂ　放射線の単位・測定	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平
2025/07/28（月） 2時限 10:00～10:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.医療情報システムについて説明できる。 3.放射線の人体への影響について説明できる。 4.線量単位について説明できる。 5.放射線防護と管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理の基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 イ　画像検査における医療情報 ａ　医療画像システム〈PACS〉 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｃ　放射線の防護・管理 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 ウ　医療放射線被曝の防護と管理 ａ　正当化・最適化・線量限度 ｂ　患者と医療従事者の放射線防護	＊村岡　宏隆
2025/07/28（月） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影）について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口内法、パノラマエックス線検査の撮影法、原理について説明できる。 3.口外法撮影の種類、原理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｄ　エックス線撮影（口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 エ　エックス線単純撮影 ａ　コントラストと分解能	＊村岡　宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/28（月） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	b　口内法エックス線撮影 c　パノラマエックス線撮影 d　顎顔面頭蓋部エックス線撮影	＊村岡　宏隆
2025/07/28（月） 4時限 13:00～13:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、ＣＴ（単純）、ＣＢＣＴ、ＭＲＩについて学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ＣＴの原理、特徴、適応について説明できる。 3.ＣＴの画像解剖について説明できる。 4.ＣＢＣＴの原理、特徴、適応について説明できる。 5.ＭＲＩの原理、特徴、適応について説明できる。 6.ＭＲＩの画像解剖について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：ＣＴ（単純）、ＣＢＣＴ、ＭＲＩについて説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：ＣＴ（単純）、ＣＢＣＴ、ＭＲＩの原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｅ　CT（単純、造影）、歯科用コーンビームCT 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 オ　CT ａ　原理、特徴、適応	＊村岡　宏隆
2025/07/28（月） 5時限 14:00～14:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、核医学検査、超音波検査について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.核医学検査（シンチグラフィ、PET）の原理、特徴、適応について説明できる。 3.超音波検査の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：核医学検査（シンチグラフィ、PET）、超音波検査について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：核医学検査（シンチグラフィ、PET）、超音波検査の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 キ　核医学検査 ａ　原理、特徴、順応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 ク　超音波検査 ａ　原理、特徴、適応	＊村岡　宏隆
2025/07/28（月） 6時限 15:00～15:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、各種造影検査、画像の鑑別診断について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.造影検査（エックス線検査、ＣＴ、ＭＲＩ）の原理、特徴、適応について説	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/28（月） 6時限 15:00～15:50	U7必修・領域A （放射線）画像検査	明できる。 3.画像の鑑別診断について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：各種造影検査、画像の鑑別診断の基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：各種造影検査の原理、特徴、適応および画像の鑑別診断について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ｅ　CT（単純、造影）、歯科用コーンビームCT 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 ２　画像検査 エ　エックス線単純撮影 ｄ　顎顔面頭蓋部エックス線撮影 ａ　原理、特徴、適応 ｂ　造影剤と副作用	＊村岡　宏隆 ＊大塚　航平
2025/07/29（火） 1時限 09:00～09:50	U7必修・領域A （放射線）放射線治療	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線治療の生物学的・物理学的基礎、放射線治療について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線治療の生物学的・物理学的基礎について説明できる。 3.口腔領域の放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線治療の生物学的・物理学的基礎、放射線治療について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線治療の生物学的・物理学的基礎、口腔領域の放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ７　放射線療法 ア　放射線療法の生物学的・物理学的基礎 ａ　放射線感受性、生物学的効果、放射線療法の治療効果 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ７　放射線療法 イ　口腔領域の放射線療法 ａ　治療の意義と目的 ｂ　種類、適応、特徴 ａ　有害事象の種類と特徴 ｂ　有害事象に対する口腔管理	＊村岡　宏隆
2025/07/29（火） 2時限 10:00～10:50	U7・領域A（臨検） 検査の種類と内容	【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.臨床検査の種類を説明することができる。 3.臨床検査の内容を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次で学修した内容を説明できる。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：検査の基本について説明できる。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし	＊深津　晶 ＊矢口　学

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/29（火） 2時限 10:00～10:50	U7・領域A（臨検） 検査の種類と内容	学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊深津　晶 ＊矢口　学
2025/07/29（火） 3時限 11:00～11:50	U7必修・領域A （臨検）検査の種類と内容	【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.臨床検査の種類を説明することができる。 3.臨床検査の内容を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次で学修した内容を説明できる。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：検査の基本について説明できる。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	＊深津　晶 ＊矢口　学
2025/07/29（火） 4時限 13:00～13:50	U8領域A（歯科法医学）保健医療論	【授業の一般目標】 歯科法医学を理解するために、わが国における死体解剖、死因究明制度及び死後変化について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.わが国における死体解剖について根拠となる法律とその目的について説明できる。 3.死因究明に関する２法における歯科医師の在り方を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：１）死体解剖の制度 ・準備学修時間：30分 事後学修項目： １）わが国の死体解剖に関する法規・目的 ２）死因究明に関する法規 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ａ　死体解剖と死因究明制度	＊秦　光賢
2025/07/29（火） 5時限 14:00～14:50	U8領域A（歯科法医学）保健医療論	【授業の一般目標】 歯科法医学を理解するために、死体に発現する全ての変化である死後変化（死体現象）および歯科法医学的な個人識別、身元確認について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.死体現象の法医学的意義について説明できる。 3.早期死体現象について説明できる。 4.晩期死体現象について説明できる。 5.特殊死体現象について説明できる。 6.身元不明死体の個人識別について説明できる。 7.個人識別を目的としたデンタルチャートについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：死体現象の概要 ・準備学修時間：30分	＊秦　光賢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/29（火） 5時限 14:00～14:50	U8領域A（歯科法医学）保健医療論	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 ３　歯科法医学 ア　死因の究明 ａ　死体解剖と死因究明制度	＊秦　光賢
2025/08/01（金） 1時限 09:30～10:35	平常試験７および解説講義，ガイダンス４	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の必修・総論に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科臨床医学の知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・準備学修時間：知識の習得に必要な時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/08/18（月） 1時限 09:30～12:00	中間試験１	【授業の一般目標】 歯科基礎医および歯科臨床医学の必修・総論に関する知識の修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科基礎医および歯科臨床医学の必修・総論に関する知識の修得状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/08/18（月） 2時限 13:30～16:00	中間試験２	【授業の一般目標】 歯科基礎医および歯科臨床医学の必修・総論に関する知識の修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科基礎医および歯科臨床医学の必修・総論に関する知識の修得状況を確認し，修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/08/19（火） 1時限 09:00～09:50	ガイダンス５	【授業の一般目標】 歯科医学総合講義６に関する概略と評価について説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科医学総合講義６に関する概略を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊根岸　慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/19（火） 1時限 09:00～09:50	ガイダンス５	・準備学修項目：特に必要としない。 ・準備学修時間：０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/08/19（火） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論（矯正）不正咬合	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために必要な不正咬合の病態および原因について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.不正咬合の先天的原因について説明できる。 3.不正咬合の後天的（環境的）原因について説明できる。 4.Angle I級、II級、III級不正咬合の特徴を説明できる。 5.顎顔面頭蓋に変形を生じる先天異常とその特徴を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：不正咬合の原因、不正咬合の分類、形態的検査、機能的検査について理解しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 ウ　診断	＊根岸　慎一
2025/08/19（火） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論（矯正）矯正力	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、矯正治療の流れを理解し矯正力と歯の移動について 理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.矯正治療の流れを説明できる。 3.矯正力の種類とその特徴を説明できる。 4.固定について説明できる。 5.歯の移動様式と生体反応について説明できる。 6.矯正治療における偶発症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目　矯正力の種類、作用様式および歯の移動様式、固定の種類について 事前学習時間　60分 事後学修項目　配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ウ　永久歯列期の不正咬合の治療	＊根岸　慎一
2025/08/19（火） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論（矯正）矯正装置①	【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べることができる。 3.舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 4.ヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。	＊石井　かおり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/19（火） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （矯正）矯正装置 ①	5.床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 6.拡大装置の種類および作用効果について説明できる。 7.矯正治療前後での計測角の変化について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料、教科書（歯科矯正学第6版：ｐ215－262） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊石井　かおり
2025/08/19（火） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （障害者）成長発育に関連した疾患・病態	【授業の一般目標】 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.各症候群の特徴を述べられる。 3.口腔・顎・顔面に異常を来す症候群について述べられる。 4.症候群と口腔の特徴について述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 エ　染色体異常 ａ　Down症候群 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 エ　染色体異常 ｂ　Turner症候群 ａ　Crouzon症候群 ｂ　Treacher Collins症候群 ｃ　鎖骨頭蓋骨異形成症〈鎖骨頭蓋異骨症〉 ｄ　第一第二鰓弓症候群 ｅ　軟骨無形成症 ａ　Beckwith-Wiedemann症候群 ｂ　Marfan症候群 ｅ　先天性外胚葉形成不全〈先天性外胚葉異形成症〉	＊梅澤　幸司
2025/08/20（水） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （保存）歯の硬組織疾患の治療	【授業の一般目標】 齲蝕、非齲蝕性硬組織疾患、変色および象牙質知覚過敏症に対して適切な処置が行えるようになるために、その原因と診断および処置方針について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.エナメル質齲蝕の進行と処置方針について説明できる。 3.象牙質齲蝕の進行と処置方針について説明できる。 4.非齲蝕性硬組織疾患の進行と処置方針について説明できる。 5.根面齲蝕の特徴と処置方針について説明できる。 6.高齢者の齲蝕の特徴について説明できる。 7.IPC法について説明できる。 8.歯の変色・着色の原因とその処置方針について説明できる。 9.象牙質知覚過敏症の特徴とその処置方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：エナメル質、象牙質、セメント質の組成と構造について学修しておく。 準備学修時間：30分	＊寺中　文子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/20（水） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （保存）歯の硬組織疾患の治療	事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ａ　齲蝕の病因 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ｂ　齲蝕のリスクファクター ｃ　tooth wear〈歯の損耗〉 ｄ　象牙質知覚過敏症 ｅ　歯の変色・着色 ｆ　歯の亀裂・破折 ａ　根面齲蝕 ｂ　初期齲蝕の診断 ｃ　フッ化物応用 ｄ　食生活指導	＊寺中　文子
2025/08/20（水） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （保存）間接修復法	【授業の一般目標】 実質欠損が生じた歯の機能を回復するために、間接修復法の種類、適応症、窩洞形態、印象採得、インレー体の作製、装着手順および歯科用セメントについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.各種間接修復法の特徴と適応症について説明できる。 3.メタルインレー修復とセラミックインレー修復窩洞の特徴について説明できる。 4.レジンコーティング法の目的とその術式について説明できる。 5.窩洞形成後の印象採得と仮封について説明できる。 6.セラミックインレー体の作製方法とその特徴について説明できる。 7.インレー体装着時のインレー体内面処理について説明できる。 8.歯科用セメントの種類とその特徴について説明できる。 9.間接修復法の予後とその対処法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：間接修復法の窩洞の違いについて理解しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｂ　間接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｃ　窩洞形成法 ｄ　象牙質・歯髄保護法	＊寺中　文子
2025/08/20（水） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （保存）直接修復法	【授業の一般目標】 歯の欠損に対して適切な接着修復を行うために、Minimal Intervention (MI) Dentistryに基づいた窩洞形成法、歯質接着メカニズムおよび接着操作について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.MI Dentistryについて説明できる。 3.コンポジットレジン修復法の特徴と適応症について説明できる。 4.コンポジットレジン修復における歯質接着性について説明できる。 5.接着修復法の臨床術式と操作上の要点について説明できる。 6.重合収縮応力の発生とその緩和方法について説明できる。 7.補修修復に必要な処理材とその術式について説明できる。	＊寺中　文子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/20（水） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （保存）直接修復法	8.コンポジットレジン修復後の保全について説明できる。 9.グラスアイオノマーセメント修復の特徴と適応症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：課題別臨床実習Ⅱで配布した講義資料を確認しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ａ　直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｅ　補修修復	＊寺中　文子
2025/08/20（水） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （歯内）病因・病態・症候	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療できるようになるために、歯髄・根尖歯周疾患の原因・病態・症候を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯髄・根尖歯周疾患の症候の変化を説明できる。 3.歯髄・根尖歯周疾患の主訴を説明できる。 4.歯髄・根尖歯周疾患の検査の意図を説明できる。 5.歯髄・根尖歯周疾患の検査を選択できる。 6.歯髄・根尖歯周疾患の診断プロセスを説明できる。 7.歯髄・根尖歯周疾患の処置方針を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　歯内療法全般 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし パワーポイントとそのプリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ａ　歯髄疾患	＊神尾　直人
2025/08/20（水） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （歯内）検査・治療・外傷歯の処置	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内療法の原則、処置法、用いる器具・材料、高齢者に対する配慮、外傷歯の病態と治療について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯内療法の治療の原則を説明できる。 3.歯髄・根尖性歯周疾患の処置を選択できる。 4.歯内療法の器具、材料を選択できる。 5.歯内療法における高齢者に対する配慮を説明できる。 6.外傷歯の病態と治療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 媒体パワーポイント、プリント。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	＊神尾　直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/20（水） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （歯内）検査・治療・外傷歯の処置	各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 ｄ　歯の外傷	＊神尾　直人
2025/08/21（木） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周病の原因、リスクファクター、宿主因子、全身疾患との関わりおよびその特徴と病態を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病のリスクファクターを列挙することができる。 3. 歯周病の宿主因子について説明することができる。 4. 歯周病の環境因子について説明することができる。 5. 歯周病の増悪因子について説明することができる。 6. 歯周病の病態について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周病の原因、リスクファクター、宿主因子、全身疾患との関わりおよびその特徴と病態を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ア　歯周疾患の病因と病態 ｂ　歯周炎とそのリスクファクター	＊高井　英樹
2025/08/21（木） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周基本治療で行う項目の内容を理解し、歯周外科治療が必要な場合は、その適応と術式を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。 3. 歯周基本治療で行う内容について説明できる。 4. 歯周外科治療の種類と適応症について説明できる。 5. 歯周外科の術式と使用器具について説明できる。 6. 歯周組織再生療法について説明できる。 7. 再評価検査の時期と目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周治療の流れ、歯周基本治療および外科治療を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｄ　歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）	＊高井　英樹
2025/08/21（木） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （歯周）	【授業の一般目標】 特殊な歯周病、高齢者および全身疾患を有する患者の歯周治療について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 特殊な歯周病の治療について説明できる。 3. 全身疾患を有する患者の歯周治療の注意点について説明できる。 4. 高齢者の歯周治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：特殊な歯周病、高齢者および全身疾患を有する患者の歯周治療を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊高井　英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/21（木） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （歯周）	アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｋ　全身疾患を有する者の歯周疾患治療	＊高井　英樹
2025/08/21（木） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （歯内）根未完成歯・歯内歯周疾患・外科的歯内療法	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、再根管治療、歯内ー歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根未完成歯の歯内療法を説明できる。 3.再根管治療を説明できる。 4.歯内ー歯周疾患の治療を説明できる。 5.内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　パワーポイント　プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｂ　歯髄除去療法	＊神尾　直人
2025/08/21（木） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （歯内）偶発症・顕微鏡による治療	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、再根管治療、歯内ー歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。 3.外科的歯内療法を説明できる。 4.歯内療法処置の偶発症とその予防を説明できる。 5.顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　プリント、パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｃ　根尖性歯周疾患の治療	＊神尾　直人
2025/08/22（金） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （小児）齲蝕，歯冠修復	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の齲蝕について説明できる。 3.小児の歯冠修復について説明できる。 4.既製金属冠について説明できる。 5.乳歯の歯内療法について説明できる。 6.幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊伊藤　龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/22（金） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （小児）齲蝕，歯冠修復	準備学修項目：実践問題集の歯冠修復、歯内療法の項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 エ　小児の歯の硬組織疾患 ｂ　齲蝕への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ａ　歯髄疾患 ｂ　歯髄疾患への対応	＊伊藤　龍朗
2025/08/22（金） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （小児）歯内療法，歯周疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯内療法および歯周疾患について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯の歯内療法について説明できる。 3. 幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 4. 小児の歯周疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の歯冠修復、歯内療法の項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ｃ　根尖性歯周疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ｄ　根尖性歯周疾患への対応 ３　歯周疾患 エ　小児期にみられる歯周疾患 ａ　小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 ｂ　小児の歯肉病変・歯周炎への対応	＊伊藤　龍朗
2025/08/22（金） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （小児）歯の外傷，乳歯の抜歯、粘膜疾患、咬合誘導	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の外傷、乳歯の抜歯、粘膜疾患、咬合誘導について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の外傷について説明できる。 3. 小児の抜歯について説明できる。 4. 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 5. 小児の咬合誘導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯の外傷、外科的処置、粘膜疾患、咬合誘導の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし	＊岡本　京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/22（金） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （小児）歯の外傷、乳歯の抜歯、粘膜疾患、咬合誘導	学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ａ　乳歯 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ｂ　永久歯 エ　児童虐待による歯の外傷 オ　歯の外傷の予防	＊岡本　京
2025/08/22（金） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （小児）咬合誘導、留意すべき疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の異常、小児疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の形成障害について説明できる。 3.小児疾患・症候群と口腔症状の関連について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の歯の異常、治療時に留意すべき疾患の項目 準備学修時間：120分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ウ　構造の異常 ｂ　エナメル質形成不全{症} 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １　口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴 イ　遺伝性疾患（主に口腔に症状がみられる） ｄ　骨形成不全症 ｃ　鎖骨頭蓋骨異形成症〈鎖骨頭蓋異骨症〉 ａ　Down症候群 ２　歯の異常 ア　数の異常 ａ　過剰歯 ｂ　先天欠如	＊岡本　京
2025/08/22（金） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （矯正）矯正装置②	【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べることができる。 3.舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 4.ヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 5.床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 6.拡大装置の種類および作用効果について説明できる。 7.矯正治療前後での計測角の変化について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料、教科書（歯科矯正学第6版：ｐ215－262） 【学修方略（ＬＳ）】	＊石井　かおり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/22（金） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （矯正）矯正装置 ②	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊石井　かおり
2025/08/26（火） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （有床）部分床義歯の構成要素１ （支台装置）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の構成要素（支台装置）について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の支台装置について説明できる。 3.支台装置の種類を説明できる。 4.支台装置の具備条件を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則	＊伊藤　誠康
2025/08/26（火） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （有床）部分床義歯の構成要素２ （連結子・フレームワーク・義歯床・人工歯）	【授業の一般目標】 テーマ：部分床義歯の構成要素２（連結子・フレームワーク・義歯床・人工歯） 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の構成要素（連結子・フレームワーク・義歯床・人工歯）について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の連結子について説明できる。 3.部分床義歯のフレームワークについて説明できる。 4.部分床義歯の義歯床について説明できる。 5.部分床義歯に用いられる人工歯について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｃ　サベイング、設計線の記入 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作	＊伊藤　誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/26（火） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （有床）部分床義歯の構成要素２ （連結子・フレームワーク・義歯床・人工歯）	e　人工歯の選択・排列・歯肉形成	＊伊藤　誠康
2025/08/26（火） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （有床）部分床義歯の設計原則・サベイング	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の設計原則およびそれを具現化するためのサベイングについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の設計原則について説明できる。 3.部分床義歯のサベイングについて説明できる。 4.部分床義歯の設計線の記入について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入	＊伊藤　誠康
2025/08/26（火） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （有床）部分床義歯の臨床操作・技工操作１（個人トレーの製作～フレームワークの製作）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の臨床操作および技工操作（個人トレーの製作、前処置、印象採得、フレームワークの製作）について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の個人トレーの製作について説明できる 3.部分床義歯製作時の前処置について説明できる。 4.部分床義歯の印象採得について説明できる。 5.部分床義歯の作業用模型の製作について説明できる。 6.部分床義歯の構成要素（支台装置、連結子、フレームワーク）の製作方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　サベイング、設計線の記入 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作 ｃ　サベイング、設計線の記入 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作	＊五十嵐　憲太郎
2025/08/26（火）	U8領域B：各論	【授業の一般目標】	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
5時限 14:00～14:50	（有床）部分床義歯の臨床操作・技工操作２（顎間関係の記録～装着）	部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の臨床操作および技工操作（顎間関係の記録、人工歯排列、試適、装着）について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 3. 部分床義歯製作時の咬合器装着・調節について説明できる。 4. 部分床義歯の人工歯の選択・排列・歯肉形成について説明できる。 5. 部分床義歯製作時の試適（ろう義歯、フレームワーク）について説明できる。 6. 部分床義歯製作時の埋没、重合について説明できる。 7. 部分床義歯製作時の咬合調整(削合)と仕上げについて説明できる。 8. 部分床義歯の装着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：教科書・参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学）での関連項目の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） ｅ　装着 ｆ　埋没、重合 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ	＊五十嵐　憲太郎
2025/08/27（水） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （有床）部分床義歯装着後の管理・補綴歯科治療の評価・高齢者の補綴治療	【授業の一般目標】 部分歯列欠損を有する高齢患者の適切な指導・管理方法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯装着後の管理について説明できる。 3. 補綴歯科治療の効果の評価について説明できる。 4. 補綴装置装着後の口腔機能向上に関する指導について説明できる。 5. 口腔機能に応じた栄養指導について説明できる。 6. 高齢者への歯の欠損への対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、有床義歯補綴学、よくわかる高齢者歯科学など）の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ６　高齢者等に関連した歯科診療 イ　歯の欠損への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 ウ　口腔機能向上に関する指導 ａ　口腔機能に応じた栄養指導 ｂ　残存組織の変化とその対応 ｃ　咬合の変化とその対応 ｄ　機能低下とその対応 ｅ　補綴装置の破損とその対応 カ　治療効果の評価	＊五十嵐　憲太郎
2025/08/27（水） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （有床）全部床義歯の臨床操作・技	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	工操作１（診察～作業用模型の製作）	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の構成要素について説明できる。 3.無歯顎患者の診察、検査、診断について説明できる。 4.全部床義歯製作時の前処置について説明できる。 5.全部床義歯の印象採得について説明できる。 6.全部床義歯の個人トレーの製作について説明できる。 7.全部床義歯の作業用模型の製作について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学第３／４版（医歯薬出版）の該当項目の確認 ・準備学修時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作	＊五十嵐　憲太郎
2025/08/27（水） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論（有床）全部床義歯の臨床操作・技工操作２（顎間関係の記録～咬合器装着・調整）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 3.全部床義歯の咬合器装着・調整について説明できる。 4.全部床義歯の人工歯の選択について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：無歯顎補綴治療学第３／４版（医歯薬出版）の該当項目の確認 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成	＊五十嵐　憲太郎
2025/08/27（水） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論（有床）全部床義歯の臨床操作・技工操作３（人工歯排列～試適）	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の人工歯排列について説明することがで切る。 3.全部床義歯の歯肉形成について説明できる。 4.全部床義歯の咬合様式について説明することができる。 5.全部床義歯の咬合平衡について説明することができる。 6.全部床義歯の咬合調整の理論を説明することができる。 7.全部床義歯のろう義歯の試適について説明できる。 8.発音機能の診査方法について説明することができる。 9.義歯の種類を目的により分類し、説明することができる。	＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/27（水） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （有床）全部床義歯の臨床操作・技工操作３（人工歯排列～試適）	【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数　無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題　2時間 事後学習項目とそれに用手る時間数　上記および配布プリント　2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成	＊鈴木　亜沙子
2025/08/27（水） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （有床）全部床義歯装着後の管理	【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の装着後の管理とその理論的背景を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯装着時の診査項目を列挙し、説明することができる。 3. 全部床義歯のリマウントの目的とその方法について述べることができる。 4. 全部床義歯装着時の患者指導の項目を列挙し、説明することができる。 5. 全部床義歯の短期的および長期的管理について説明することができる。 6. 全部床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 7. 全部床義歯装着後の咬合の変化に対する対応について説明できる。 8. 全部床義歯のリラインおよびリベースについて説明できる。 9. 全部床義歯の破損に対する対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数　無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題　2時間 事後学習項目とそれに用手る時間数　上記および配布プリント　2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ ８　指導と管理 イ　補綴装置に対する指導 ａ　セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア ｂ　残存組織の変化とその対応 ｃ　咬合の変化とその対応 ｄ　機能低下とその対応 ｅ　補綴装置の破損とその対応	＊鈴木　亜沙子
2025/08/28（木） 1時限 09:00～09:50	U10領域B：各論 （歯冠）　支台歯形成、支台築造	【授業の一般目標】 支台歯形成の目的と原則，歯頚部辺縁形態の分類と適応，支台歯形成の手順，注意点を理解する。 支台築造の臨床的意義，選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 支台歯形成の目的と原則，歯頚部辺縁形態の分類と適応，支台歯形成の手順，注意点を説明できる。 3. 支台築造の臨床的意義，選択基準を説明できる。 4. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 5. 支台築造の種類と方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/28（木） 1時限 09:00～09:50	U10領域B：各論 （歯冠） 支台歯形成、支台築造	アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成	＊飯田　崇
2025/08/28（木） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （歯冠） プロビジョナルレストレーション、印象採得、患者情報の記録と伝達	【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材，印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 印象用器材，印象法の種類と特徴を説明できる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。 7. 仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。 8. 口腔内情報を記録する意義について説明できる。 9. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 10. 歯の位置と形態の記録法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｅ　プロビジョナルレストレーション	＊飯田　崇
2025/08/28（木） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （歯冠） 咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整	【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、顎間関係の記録，下顎運動および咬合の概念を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. チェックバイトを説明できる。 3. 半調節性咬合器のプログラミングを説明できる。 4. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 5. パントグラフ描記法と全調節性咬合器のプログラミングを説明できる。 6. 前方誘導要素と後方誘導要素の咬合面に及ぼす影響を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/28（木） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （歯冠） 咬合器の種類と選択、咬合器装着、咬合器の調整	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｆ　顎間関係の記録	＊飯田　崇
2025/08/28（木） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （歯冠） 歯冠補綴治療の技工操作ーロストワックス法ー	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにロストワックス法による技工操作を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.作業用模型の製作方法を説明できる。 3.全部金属冠の製作方法を説明できる。 4.ブリッジのろう付け法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版、スタンダード歯科理工学第5版を参考に補綴装置の製作方 法と材料について理解しておく。 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｃ　その他の方法による製作	＊内堀　聡史
2025/08/28（木） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （歯冠） レジン前装冠・陶材焼付冠	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにレジン前装冠・陶材焼付冠について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.レジン前装冠・陶材焼付冠の製作方法を説明できる。 3.レジン前装冠・陶材焼付冠の特徴、適応症について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｃ　その他の方法による製作	＊内堀　聡史
2025/08/29（金） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （歯冠） 装着・術後管理	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために歯冠補綴装置の装着方法、および術後管理について説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯冠補綴装置の口腔内試適，調整方法について説明できる。	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/29（金） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （歯冠） 装着・術後管理	3.歯冠補綴装置の仮着・合着について説明できる。 4.歯冠補綴装置の術後管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学習時間：60分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｊ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｈ　口腔内試適 ｉ　仮着	＊飯田　崇
2025/08/29（金） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （歯冠） オールセラミッククラウン、CADCAM冠、接着ブリッジ、デジタルデンティストリー	【授業の一般目標】 オールセラミッククラウンの特徴，適応症，禁忌症，製作法について理解する。 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴，適応症，禁忌症，製作法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.オールセラミッククラウンの特徴，適応症，禁忌症，製作法を説明できる。 3.ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴，適応症，禁忌症，製作法を説明できる。 4.CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。 5.CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 6.CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｂ　CAD/CAMによる製作	＊飯田　崇
2025/08/29（金） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （歯冠） 口腔内装置、ブラキシズム	【授業の一般目標】 歯科に関連する睡眠関連疾患に対応できるようになるために、睡眠時ブラキシズムと睡眠時無呼吸症候群を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.睡眠時ブラキシズムの特徴を説明できる。 3.睡眠時ブラキシズムへの対応を説明できる。 4.睡眠時無呼吸症候群の特徴を説明できる。 5.睡眠時無呼吸症候群への対応を説明できる。 6.マウスガードによる歯・口腔の外傷予防について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/29（金） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論 （歯冠）　口腔内装置、ブラキシズム	【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ク　睡眠時無呼吸	＊飯田　崇
2025/08/29（金） 4時限 13:00～13:50	U8領域B：各論 （歯冠）　顎関節疾患	【授業の一般目標】 顎関節疾患と顎関節疾患に類似した疾患との鑑別および適切な治療方針の決定ができるようになるために，診断法および治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎関節疾患の特徴が説明できる。 3.顎関節疾患に類似した疾患を列挙できる。 4.顎関節疾患の診断法を説明できる。 5.顎関節疾患の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無 学修媒体：メディア、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 １　顎関節症	＊飯田　崇
2025/08/29（金） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （歯冠）　高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療	【授業の一般目標】 高齢者に対する歯科治療を円滑に行うために、管理に留意すべき全身疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.認知症の原因を説明できる。 3.認知症の検査を説明できる。 4.認知症への対応を説明できる。 5.Alzheimer病の病態を説明できる。 6.Parkinson病の病態と原因を説明できる。 7.Parkinson病への対応を説明できる。 8.誤嚥性肺炎の病態を説明できる。 9.誤嚥性肺炎への対応を説明できる。 10.オーラルディアドコキネシス等による高齢者の口腔機能評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：高齢者の管理に留意すべき全身疾患について理解する。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 １　疾患・病態 イ　認知障害 a　認知症	＊飯田　崇
2025/09/01（月） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （インプラント） 診査・治療計画	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.術前検査・診断・治療計画の立案について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】	＊北川　剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/01（月） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論（インプラント） 診査・治療計画	・準備学修項目：授業のSBOｓ ・準備学修時間：15　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ａ　上部構造の設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ｂ　埋入計画の立案	＊北川　剛至
2025/09/01（月） 2時限 10:00～10:50	U8領域B:各論（インプラント）コンピューター支援手術	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.シミュレーションソフトを用いた診断について説明できる。 3.ガイデッドサージェリーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOｓ ・準備学修時間：15　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ａ　上部構造の設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ｂ　埋入計画の立案 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術）	＊北川　剛至
2025/09/01（月） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論（インプラント） インプラント埋入手術	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.インプラント外科処置について説明できる。 3.インプラント外科処置における合併症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間：30分 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術）	＊玉木　大之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/01（月） 3時限 11:00～11:50	U8領域B：各論（インプラント） インプラント埋入手術	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術	＊玉木　大之
2025/09/01（月） 4時限 13:00～13:50	U8領域B:各論（インプラント）デジタルワークフロー	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.カスタムアバットメントについて理解し、説明できる。 3.デジタル印象採得装置について理解し、説明できる。 4.インプラント治療で使用するCAD/CAMソフトについて理解し、説明できる。 5.インプラント治療で使用するCAM機について理解し、説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOｓ ・準備学修時間：15　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配布資料、動画 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ａ　上部構造の設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｃ　印象採得 ｄ　プロビジョナルレストレーション ｅ　顎間関係の記録 ｆ　患者情報の記録と伝達	＊網野　雄太
2025/09/01（月） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論（障害者）　摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションが行えるようになるために対応について理解する. 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.治療的アプローチについて説明できる 3.代償的アプローチについて説明できる 4.環境改善的アプローチについて説明できる 5.心理的アプローチについて説明できる 6.栄養療法について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：摂食嚥下障害に対する評価・検査方法および対応について予習をする. ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：摂食嚥下障害に対する評価・検査方法および対応について予習をする. ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライドおよび配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉 ア　治療的アプローチ ａ　間接訓練 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉 ア　治療的アプローチ ｂ　直接訓練 イ　代償的アプローチ ウ　環境改善的アプローチ	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/01（月） 5時限 14:00～14:50	U8領域B：各論 （障害者） 摂食嚥下	エ　心理的アプローチ オ　栄養療法 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 イ　口腔機能の評価 ａ　口腔機能および摂食嚥下機能	＊林　佐智代
2025/09/02（火） 1時限 09:00～09:50	U8領域B：各論 （有床・高齢者） デジタルデンティストリー・高齢者の義歯装着後の指導と管理	【授業の一般目標】 歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴歯科治療後の適切な指導・管理を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.義歯製作過程におけるデジタルデンティストリーについて説明できる。 3.補綴歯科治療の効果の評価について説明できる。 4.補綴装置装着後の口腔機能向上に関する指導について説明できる。 5.口腔機能に応じた栄養指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 ウ　口腔機能向上に関する指導 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 エ　栄養指導 ａ　口腔機能に応じた栄養指導 ｄ　機能低下とその対応 カ　治療効果の評価 ４　部分床義歯による治療 ウ　技工操作 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作 ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/02（火） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論 （有床・高齢者） 補綴歯科治療と関連する高齢者の予防管理・歯科治療・口腔機能低下への対応	【授業の一般目標】 高齢患者における補綴歯科治療および口腔衛生管理・機能管理および栄養管理を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の喪失予防のための口腔保健指導について説明できる。 3.高齢者への口腔衛生管理・口腔機能管理について説明できる。 4.高齢者への栄養管理について説明できる。 5.高齢者への歯の欠損への対応について説明できる。 6.高齢者の発音障害（構音障害）に対する対応について説明できる。 7.高齢者の口腔機能の評価について説明できる。 8.口腔機能低下症の予防管理について説明できる。 9.口腔機能低下症への対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、有床義歯補綴学、よくわかる高齢者歯科学など）の確認 ・準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ６　高齢者等に関連した歯科診療 カ　口腔機能低下症への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/02（火） 2時限 10:00～10:50	U8領域B：各論（有床・高齢者） 補綴歯科治療と関連する高齢者の予防管理・歯科治療・口腔機能低下への対応	４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ウ　診断 エ　治療計画の策定 ５　高齢者等に関連した予防と管理 ア　歯の喪失予防 ａ　口腔保健指導 ｂ　口腔機能管理 ｃ　栄養管理 ｄ　口腔機能低下症の予防管理 ６　高齢者等に関連した歯科診療 イ　歯の欠損への対応 オ　発話障害〈発話機能障害〉への対応	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/02（火） 3時限 11:00～11:50	U8領域B:各論（インプラント）インプラントの基本構造	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.口腔インプラントの基本的な構造を理解し、説明することができる。 3.口腔インプラントの形状について理解し説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科インプラントの基本構造 ・準備学修時間：30　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配布資料、動画 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ア　インプラント治療の基礎と成績 ａ　オッセオインテグレーションの獲得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ａ　上部構造の設計	＊網野　雄太
2025/09/02（火） 4時限 13:00～13:50	U8領域B:各論（インプラント）インプラントの上部構造の種類	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.口腔インプラントの基本的な構造を理解し、説明することができる。 3.口腔インプラントの上部構造の種類について理解し、説明することができる。 4.口腔インプラントの上部構造の固定方法を理解し、説明することができる。 5.セメント固定とスクリュー固定の違いを理解し、説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科インプラントの上部構造について ・準備学修時間：30　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配布資料、動画 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 イ　インプラント義歯の設計 ａ　上部構造の設計 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作 ｂ　スクリュー固定式上部構造の製作	＊網野　雄太
2025/09/02（火） 5時限	U8領域B：各論（インプラント）	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関す	＊北川　剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:00～14:50	メインテナンスと合併症	る基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.インプラント治療のメインテナンスについて説明できる。 3.インプラント治療の合併症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOｓ ・準備学修時間：15　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｆ　インプラントのメインテナンス 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｅ　補綴装置の破損とその対応	＊北川　剛至
2025/09/05（金） 1時限 09:30～10:40	平常試験８および解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の各論に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科臨床医学の各論に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/09/06（土） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論（臨検）白血病と悪性リンパ腫	【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、造血器疾患の診断に必要な検査項目について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.白血病の分類を述べることができる。 3.各種白血病の病態を述べることができる。 4.各種白血病に関連する臨床検査を述べることができる。 5.悪性リンパ腫の分類を述べることができる。 6.悪性リンパ腫の病態を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：4年次に配布講義ファイルの総論部分　基準値表　歯科医師国家試験出題基準　主な検査項目の表記 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ケ　白血球系疾患 ａ　白血病 【国家試験出題基準（副）】	＊福本　雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/06（土） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （臨検）白血病と悪性リンパ腫	歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ケ　白血球系疾患 ｃ　悪性リンパ腫	＊福本　雅彦
2025/09/06（土） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （口外）良性腫瘍①	【授業の一般目標】 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍を診断し、治療方針を決定できるようになるために、各歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の特徴を述べることができる。 3.各疾患のエックス線像の特徴を述べることができる。 4.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍を診断できる。 5.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の治療法について述べることができる。 6.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の予後について述べることができる。 7.他の疾患（炎症性疾患・嚢胞性疾患）と鑑別診断を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学口腔の腫瘍について ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍	＊山本　泰
2025/09/06（土） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （口外）良性腫瘍②	【授業の一般目標】 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍を診断し、治療方針を決定できるようになるために、各歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の特徴を述べることができる。 3.各疾患のエックス線像の特徴を述べることができる。 4.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍を診断できる。 5.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の治療法について述べることができる。 6.歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍の予後について述べることができる。 7.他の疾患（炎症性疾患・嚢胞性疾患）と鑑別診断を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学口腔の腫瘍について ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍	＊山本　泰
2025/09/08（月） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （口外）唇顎口蓋裂①	【授業の一般目標】 唇顎口蓋裂を適切に診断、治療するために、病態、検査法、治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口唇・口蓋裂の病態について説明することができる。 3.口唇・口蓋裂の治療計画について説明することができる。 4.鼻咽腔閉鎖不全について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：唇顎口蓋裂・鼻咽腔閉鎖不全の診断、検査について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/08（月） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （口外）唇顎口蓋裂①	アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 ｂ　口唇裂・口蓋裂	＊飯塚　普子
2025/09/08（月） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （口外）唇顎口蓋裂②	【授業の一般目標】 唇顎口蓋裂を適切に診断、治療するために、病態、検査法、治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口唇・口蓋裂の治療法について説明することができる。 3.鼻咽腔閉鎖不全の治療法について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：唇顎口蓋裂・鼻咽腔閉鎖不全の治療法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 ｂ　口唇裂・口蓋裂	＊飯塚　普子
2025/09/08（月） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （口外）全身疾患	【授業の一般目標】 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.全身管理に留意する全身疾患・状態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：全身疾患に関連する疾患の病態・診断・治療について教科書および参考書を熟読する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業プリント、教科書、参考書、国家試験問題の確認をする。 ・事後学修時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ　歯科治療時の患者管理・麻酔管理 ｂ　術中管理	＊飯塚　普子
2025/09/08（月） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （口外）炎症	【授業の一般目標】 肉芽腫性炎に関連する疾患の病態・診断・治療 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.肉芽腫性炎（特異性炎）の種類を述べられる。 2.顎放線菌症の診断・病態・治療法について述べられる。 3.口腔結核の診断・病態・治療法について述べられる。 4.梅毒の診断・病態・治療法について述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：肉芽腫性炎に関連する疾患の病態・診断・治療について教科書および参考書を熟読する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業プリント、教科書、参考書、国家試験問題の確認をする。 ・事後学修時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 【学修方略（ＬＳ）】	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/08（月） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （口外）炎症	講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ　歯科治療時の患者管理・麻酔管理 ｂ　術中管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　軟組織の炎症の病態・診断・治療 ｆ　肉芽腫性炎 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　口腔症状を呈する細菌感染症 ａ　梅毒 ｂ　破傷風 ｃ　結核	＊飯塚　普子
2025/09/08（月） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （口外）神経疾患	【授業の一般目標】 神経疾患について理解する 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.三叉神経痛について説明できる 3.舌咽神経痛について説明できる 4.非定型顔面痛・非歯原性歯痛について説明できる 5.舌痛症について説明できる 6.癌性疼痛について説明できる 7.舌神経麻痺について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：三叉神経の解剖・舌咽神経の解剖 準備学修時間：３０分 事後学修時間：配布資料確認３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ　神経・運動器疾患の病態・診断・治療 ａ　三叉神経痛	＊飯塚　普子
2025/09/08（月） 6時限 15:00～15:50	U9領域B：各論 （口外）周術期管理	【授業の一般目標】 周術期管理について学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.周術期について説明できる。 2.周術期における栄養管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次栄養学講義資料 ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 エ　栄養指導 ａ　口腔機能に応じた栄養指導 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 イ　周術期の管理 ａ　口腔の評価、口腔機能管理 ｂ　全身状態の評価	＊石井　良昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/09（火） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （放射線）顎・口腔領域の疾患	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、頭頸部領域に発生する外傷と炎症の画像所見について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.頭頸部領域に発生する外傷と炎症の画像所見について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：外傷と炎症について理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：外傷と炎症の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ａ　歯の亀裂・破折・脱臼 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ａ　歯の亀裂・破折・脱臼 ｂ　歯槽骨骨折 ｃ　下顎骨骨折 ｄ　上顎骨骨折 ｃ　顎骨骨髄炎 ｄ　歯性上顎洞炎 ｅ　放射線{性}骨壊死、放射線骨髄炎 ｆ　薬剤関連顎骨疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　軟組織の炎症の病態・診断・治療 ｂ　口腔・頸部軟組織の炎症	＊村岡　宏隆
2025/09/09（火） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （放射線）顎・口腔領域の疾患	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞 ａ　歯原性良性腫瘍 ｂ　歯原性悪性腫瘍 ｃ　非歯原性良性腫瘍 ｄ　非歯原性悪性腫瘍 ｅ　骨関連病変 ｆ　線維骨性病変	＊村岡　宏隆
2025/09/09（火）	U9領域B：各論	【授業の一般目標】	＊村岡　宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 11:00～11:50	（放射線）顎・口腔領域の疾患	将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞 ａ　歯原性良性腫瘍 ｂ　非歯原性良性腫瘍 ｃ　口腔癌 ｅ　上顎洞癌 ｈ　悪性リンパ腫 ｉ　悪性黒色腫	＊村岡　宏隆
2025/09/09（火） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （放射線）顎・口腔領域の疾患	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：無 学修媒体：プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞 ａ　歯原性良性腫瘍 ｂ　非歯原性良性腫瘍 ｃ　口腔癌 ｅ　上顎洞癌 ｈ　悪性リンパ腫 ｉ　悪性黒色腫	＊村岡　宏隆
2025/09/09（火） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （口外）嚢胞	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する嚢胞性疾患を診断し、治療方針を立てられるようになるために、その病態および特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/09（火） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （口外）嚢胞	1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞を分類し、その特徴を述べることができる。 3.顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の鑑別診断をすることができる。 4.顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の治療法を説明することができる。 5.顎骨内に発生する嚢胞類似疾患を分類し、その特徴を説明できる。 6.顎骨内に発生する嚢胞類似疾患の鑑別診断ができる。 7.顎骨内に発生する嚢胞類似疾患の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：４年次口腔顎顔面外科学嚢胞性疾患について ・準備学修時間：60　分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞	＊飯塚　普子
2025/09/09（火） 6時限 15:00～15:50	U9領域B：各論 （口外）粘膜疾患	【授業の一般目標】 口腔粘膜ならびに前癌病変、主要類似疾患の診断と治療ができるようになるために、診断法、治療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔粘膜疾患とその類似疾患の診断、病態について述べることができる。 3.舌炎、口唇炎および類似疾患の診断、病態について述べることができる。 4.前癌病変の定義について説明することができる。 5.白板症と紅板症の診断法、病態について説明することができる。 6.前癌病変を説明し、その疾患名を挙げられる。 7.エプーリスの分類法と治療法について説明できる。 8.顎骨の骨隆起と骨腫の鑑別診断と治療の必要性の有無について判定できる。 9.線維性異形成症の病態と治療法について述べることができる。 10.Langerhans細胞組織球腫の分類、病態および診断法について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔粘膜ならびに前癌病変、主要類似疾患の診断について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク　口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 ｂ　天疱瘡、類天疱瘡	＊飯塚　普子
2025/09/10（水） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （口外）外傷①	【授業の一般目標】 適切な口腔外科治療を行うために、口腔領域の損傷の病態、適切な診断法を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顔面・口腔領域軟組織損傷の概念を説明し、適切な診断ができる。 3.歯牙の脱臼，破折の適切な診断ができる。 4.顎顔面骨骨折の特徴的な骨折様式を説明し，適切な診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目；顎口腔領域の損傷の診断法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊山本　泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/10（水） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （口外）外傷①	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ｃ　下顎骨骨折	＊山本　泰
2025/09/10（水） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （口外）外傷②	【授業の一般目標】 適切な口腔外科治療を行うために、口腔領域の損傷による合併症と治療法を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面骨折に対する各種処置法を説明し適切な治療方針を述べることができる。 3.軟組織損傷の治療法を説明し、適切な対処法を述べることができる。 4.合併症の診断法および治療法を説明し、適切な対処法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目；顎口腔領域の損傷の治療法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ｃ　下顎骨骨折	＊山本　泰
2025/09/10（水） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （口外）顎変形症	【授業の一般目標】 顎変形症について理解し、適切な治療方針の決定ができるように、治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎変形症の特徴を説明できる。 3.顎変形症の治療法について説明することができる。 4.顎変形症治療における合併症、偶発症を説明し、適切な対処法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎変形症の治療法について教科書で予習すること。 事前準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　顎顔面の変形を来す疾患･病態・診断 ａ　顎変形症	＊山本　泰
2025/09/10（水） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （口外）悪性腫瘍①	【授業の一般目標】 適切な口腔がんの治療を行うために、治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.悪性腫瘍の治療法を選択できる。 3.原発巣の手術療法を説明できる。 4.頸部郭清術を説明できる。 5.化学療法を説明できる。 6.放射線療法を説明できる。 7.緩和ケアを説明できる。 8.周術期管理を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:口腔がんの治療を行うために、悪性腫瘍の治療法について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学学修項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間：60分	＊山本　泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/10（水） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （口外）悪性腫瘍 ①	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊山本　泰
2025/09/10（水） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （口外）悪性腫瘍 ②	【授業の一般目標】 適切な口腔がんの治療を行うために、治療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.悪性腫瘍の治療法を選択できる。 3.原発巣の手術療法を説明できる。 4.頸部郭清術を説明できる。 5.化学療法を説明できる。 6.放射線療法を説明できる。 7.緩和ケアを説明できる。 8.周術期管理を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:口腔がんの治療を行うために、悪性腫瘍の治療法について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学学修項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療 ｂ　外科療法	＊山本　泰
2025/09/10（水） 6時限 15:00～15:50	U9領域B：各論 （口外）唾液腺疾患	【授業の一般目標】 唾液腺に生ずる疾患を適切に治療するために、その特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ドライマウスについて述べられる。 3.Sjögren症候群とMikulicz病の特徴を述べられる。 4.流行性耳下腺炎につて述べられる。 5.唾液腺良性腫瘍の特徴を述べられる。 6.唾液腺悪性腫瘍の特徴を述べられる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：唾液腺の治療について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　唾液腺疾患の病態・診断・治療 ｅ　Sjögren症候群	＊山本　泰
2025/09/11（木） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身麻酔	【授業の一般目標】 安全に歯科治療を行うために、全身麻酔の実際、特に術前の診察内容および気道管理評価について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身麻酔の概念について説明することができる。 3.全身麻酔施行前の診察内容について説明することができる。 4.全身麻酔施行前の診察、特に全身状態の評価について説明することができる。	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/11（木） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身麻酔	5.全身麻酔施行前の診察、特に気道管理評価について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ　歯科治療時の患者管理・麻酔管理 ａ　術前管理	＊下坂　典立
2025/09/11（木） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身麻酔	【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に導入方法および気管挿管について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身麻酔の導入について説明することができる。 3.急速導入について説明することができる。 4.緩徐導入について説明することができる。 5.導入で使用する薬物について説明することができる。 6.末梢性筋弛緩薬の使用理由について説明することができる。 7.呼吸管理について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ　歯科治療時の患者管理・麻酔管理 ｂ　術中管理	＊下坂　典立
2025/09/11（木） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身麻酔	【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に気管挿管とその方法について説明することができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.気管挿管について説明することができる。 3.声門上器具について説明することができる。 4.挿管困難患者の挿管方法について説明することができる。 5.全身麻酔管理の維持方法について説明することができる。 6.維持で使用する薬物について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/11（木） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身麻酔	セ　歯科治療時の患者管理・麻酔管理 ｃ　術後管理	＊下坂　典立
2025/09/11（木） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （麻酔）ペインクリニック	【授業の一般目標】 疼痛管理、感覚異常疾患治療を適切に行うために、管理方法の実際、神経ブロック療法、理学療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面領域の疼痛疾患について説明することができる。 3.顎顔面領域の感覚異常疾患・症状について説明することができる。 4.痛みの悪循環について説明することができる。 5.星状神経節ブロックについて説明することができる。 6.星状神経節ブロックの適応疾患について説明することができる。 7.星状神経節ブロックの生理的反応について説明することができる。 8.星状神経節ブロックの合併症について説明することができる。 9.理学療法について説明することができる。 10.光線療法について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目；スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「14. ペインクリニック（疼痛治療）」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学習項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学習時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ　神経・運動器疾患の病態・診断・治療 ｃ　顔面神経麻痺 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ａ　局所麻酔	＊下坂　典立
2025/09/11（木） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （麻酔）循環器疾患	【授業の一般目標】 全身疾患（高血圧症および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.高血圧症の病態、全身管理（救急処置を含む）について説明することができる。 3.虚血性心疾患について説明することができる。 4.狭心症の病態について説明することができる。 5.狭心症発症時の対応について説明することができる。 6.心筋梗塞の病態について説明することができる。 7.心筋梗塞発症時の対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊下坂　典立
2025/09/11（木） 6時限 15:00～15:50	U9領域B：各論 （麻酔）循環器疾患	【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/11（木） 6時限 15:00～15:50	U9領域B：各論 （麻酔）循環器疾患	2.心電図検査について説明することができる。 3.上室性不整脈について説明することができる。 4.心室性不整脈について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊下坂　典立
2025/09/12（金） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （麻酔）呼吸器疾患	【授業の一般目標】 生体機能検査のうち呼吸機能検査について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.呼吸疾患患者に対する術前の評価法について説明できる。 3.閉塞性性換気障害の病態について説明できる。 4.拘束性換気障害の病態について説明できる。 5.喘息患者の歯科治療上の注意事項を説明することができる。 6.COPD患者の歯科治療上の注意事項を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「p24-28、p75-78」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ２　治療の基礎 エ　全身管理に留意すべき疾患 ｂ　呼吸器疾患	＊鈴木　正敏
2025/09/12（金） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （麻酔）内分泌・代謝疾患	【授業の一般目標】 糖尿病・甲状腺機能疾患患者の歯科治療時の留意点について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づいて以下を教授する。 2.糖尿病の病態について説明することができる。 3.糖尿病患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。 4.副甲状腺疾患患者の歯科治療上の注意事項に説明することができる。 5.甲状腺機能疾患患者の歯科治療上の注意点を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学で学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｈ　内分泌疾患	＊鈴木　正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/12（金） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （麻酔）内分泌・代謝疾患		＊鈴木　正敏
2025/09/12（金） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （麻酔）精神疾患・妊婦	【授業の一般目標】 全身疾患（精神・心身医学的疾患）患者および妊婦に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.うつについて説明することができる。 3.うつ患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 4.統合失調症について説明することができる。 5.統合失調症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 6.歯科治療にあたり注意すべき精神疾患について説明することができる。 7.妊婦について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルテメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ２　治療の基礎 エ　全身管理に留意すべき疾患 ｇ　精神疾患	＊卯田　昭夫
2025/09/12（金） 4時限 13:00～13:50	U9領域B：各論 （麻酔）神経・筋疾患患者	【授業の一般目標】 全身疾患（神経・筋疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.神経・筋疾患について説明することができる。 3.Parkinson病について説明することができる。 4.Parkinson病患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 5.重症筋無力症について説明することができる。 6.重症筋無力症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学　第４版. 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ２　治療の基礎 エ　全身管理に留意すべき疾患 ｈ　神経・運動器疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｇ　神経・運動器疾患	＊卯田　昭夫
2025/09/12（金） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身偶発症	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症とその対応、予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.血管迷走神経反射について説明することができる。 3.血管迷走神経反射の原因について説明することができる。 4.血管迷走神経反射発症時の対応について説明することができる。 5.過換気症候群について説明することができる。 6.過換気症候群の原因について説明することができる。	＊辻　理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/12（金） 5時限 14:00～14:50	U9領域B：各論 （麻酔）全身偶発症	7.過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 8.アナフィラキシーショックについて説明することができる。 9.アナフィラキシーショックの対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15.歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ　歯科における全身的偶発症とその対応 ａ　血管迷走神経反射	＊辻　理子
2025/09/13（土） 1時限 09:00～09:50	U9領域B：各論 （臨検）貧血	【授業の一般目標】 口腔領域に特徴的な症状を呈しかつ歯科治療に影響を及ぼす全身疾患、特に貧血について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.貧血の定義を述べることができる。 3.貧血を調べるための検査項目を述べることが出来る。 4.貧血の臨床症状と合併症を述べることが出来る。 5.貧血に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることが出来る。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：生体内での糖の流れを理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：貧血の検査所見・症状について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ク　赤血球系疾患 ａ　貧血	＊深津　晶
2025/09/13（土） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （臨検）感染症	【授業の一般目標】 感染症について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.主な細菌感染について説明できる。 3.主なウイルス感染症について説明できる。 4.院内感染対策について説明できる。 5.HIV感染症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 主なウイルス感染症について説明できる。 主な細菌感染症について説明できる。 院内感染対策について説明できる。 事前学修項目：生理、解剖、病理を確認すること。 事前学修時間：25分 事後学修項目：授業配布資料を再読。 事後学修時間：15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療	＊深津　晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/13（土） 2時限 10:00～10:50	U9領域B：各論 （臨検）感染症	イ　口腔症状を呈するウイルス感染症 ａ　ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症	＊深津　晶
2025/09/13（土） 3時限 11:00～11:50	U9領域B：各論 （臨検）血液関連疾患	【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、出血性素因をおこす疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.IgA血管炎について説明できる。 3.Osler病について説明できる。 4.特発性血小板減少性紫斑病について説明できる。 5.血小板無力症について説明できる。 6.血友病について説明できる。 7.播種性血管内凝固症候群について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：止血凝固の仕組みを理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：各疾患の検査所見・症状について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ　赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点	田中　陽子
2025/09/16（火） 1時限 09:30～10:50	平常試験９および解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の各論に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科臨床医学の各論に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/09/17（水） 1時限 09:00～09:50	U10臨実・領域B （保存）Tooth wear（歯の損耗）、変色歯、破折	【授業の一般目標】 Tooth wear、歯の変色および破折により生じた歯の欠損や審美障害を解決するために、行うべき検査、診断、治療方針の立案と処置法に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.Tooth wearに対する鑑別診断ができる。 3.Tooth wearに対する適切な治療方針が立案できる。 4.変色歯の鑑別診断ができる。 5.変色歯の原因や程度から適切な処置方針を立案できる。 6.外傷歯の診断に必要な検査法を選択できる。 7.外傷歯に対する適切な治療方針を立案できる。 8.歯の完全破折と不完全破折の鑑別診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	＊小峯　千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/17（水） 1時限 09:00～09:50	U10臨実・領域B （保存）Tooth wear（歯の損耗）、変色歯、破折	各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ｃ　tooth wear〈歯の損耗〉 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ア　歯の硬組織疾患の病因と病態 ｅ　歯の変色・着色 ｆ　歯の亀裂・破折 ｄ　象牙質知覚過敏症 ｃ　フッ化物応用	＊小峯　千明
2025/09/17（水） 2時限 10:00～10:50	U10臨実・領域B （保存）間接修復法	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な間接修復処置が行えるようになるために、適切な検査、診断、治療方針の立案、術式、使用器具および術後管理について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.間接修復法の選択基準について説明できる。 3.各種間接修復法の臨床術式について説明できる。 4.間接修復法の修復物装着に必要な処理材について説明できる。 5.間接修復法における補修修復の手順と必要材料について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｂ　間接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｄ　象牙質・歯髄保護法 ａ　齲蝕の病因 ｃ　窩洞形成法	＊小峯　千明
2025/09/17（水） 3時限 11:00～11:50	U10臨実・領域B （保存）接着修復	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な接着修復を行うために、適切な検査、診断、治療方針の立案、術式、使用器具および術後管理について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の欠損状態に応じた接着修復法を選択できる。 3.齲蝕の除去法とそれに用いる器具器材について説明できる。 4.接着修復処置に必要な前準備とその器具について説明できる。 5.接着修復法の臨床術式を説明できる。 6.異種材料に対する接着前処理と必要な器材について説明できる。 7.修復操作中に生じた偶発症とその対処法について説明できる。 8.修復処置後に生じる臨床的問題点の原因とその対処法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ：なし 学修媒体：配布資料、スライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ａ　直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論	＊小峯　千明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/17（水） 3時限 11:00～11:50	U10臨実・領域B （保存）接着修復	各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 ウ　歯の硬組織疾患の治療 ｅ　補修修復 ａ　齲蝕の病因 ｂ　根面齲蝕への対応	＊小峯　千明
2025/09/17（水） 4時限 13:00～13:50	U10臨実・領域B （小児）齲蝕，歯冠修復	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の齲蝕予防、歯冠修復について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の齲蝕予防について説明できる。 3. 小児の歯冠修復について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の齲蝕と進行抑制、小児の歯冠修復の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 イ　歯の硬組織疾患の予防・管理 ａ　齲蝕の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 １　歯の硬組織疾患 エ　小児の歯の硬組織疾患 ｂ　齲蝕への対応	＊清水　武彦
2025/09/17（水） 5時限 14:00～14:50	U10臨実・領域B （小児）歯内療法，歯周疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯内療法、歯周疾患について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯内療法について説明できる。 3. 小児の歯周疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯内療法、小児の歯周疾患の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ａ　歯髄疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ウ　小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ｂ　歯髄疾患への対応 ｃ　根尖性歯周疾患 ｄ　根尖性歯周疾患への対応 ３　歯周疾患 エ　小児期にみられる歯周疾患 ａ　小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 ｂ　小児の歯肉病変・歯周炎への対応	＊伊藤　龍朗
2025/09/18（木） 1時限	U10領域B：臨実 （歯内）検査・診	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療できるようになるために、歯髄・	＊渡邊　昂洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～09:50	断	根尖歯周疾患の原因・病態・症候を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯髄・根尖歯周疾患の症候の変化を説明できる。 3.歯髄・根尖歯周疾患の主訴を説明できる。 4.歯髄・根尖歯周疾患の検査の意図を説明できる。 5.歯髄・根尖歯周疾患の検査を選択できる。 6.歯髄・根尖歯周疾患の診断プロセスを説明できる。 7.歯髄・根尖歯周疾患の処置方針を説明できる。 8.鑑別診断を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法全般　1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 媒体　パワーポイント、プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｃ　根尖性歯周疾患の治療	＊渡邊　昂洋
2025/09/18（木） 2時限 10:00～10:50	U10領域B：臨実（歯内）治療・手技	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内療法の原則、処置法、用いる器具・材料、高齢者に対する配慮、外傷歯の病態と治療について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯内療法の治療の原則を説明できる。 3.歯髄・根尖性歯周疾患の処置を選択できる。 4.歯内療法の器具、材料を選択できる。 5.歯内療法における高齢者に対する配慮を説明できる。 6.外傷歯の病態と治療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。 歯周組織の構造を説明できる。 準備学習時間：50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイント、プリント アクティブラーニング無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｃ　根尖性歯周疾患の治療	＊岡部　達
2025/09/18（木） 3時限 11:00～11:50	U10領域B：臨実（歯内）歯内療法のまとめ	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、再根管治療、歯内ー歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根未完成歯の歯内療法を説明できる。 3.再根管治療を説明できる。 4.歯内ー歯周疾患の治療を説明できる。 5.内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。 6.外科的歯内療法を説明できる。 7.歯内療法処置の偶発症とその予防を説明できる。 8.顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	＊神尾　直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/18（木） 3時限 11:00～11:50	U10領域B：臨実（歯内）歯内療法のまとめ	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ２　歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 ｄ　根管処置	＊神尾　直人
2025/09/18（木） 4時限 13:00～13:50	U10領域B・臨実（小児）外傷・乳歯の抜歯、粘膜疾患、咬合誘導	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の外傷、乳歯の抜歯、口腔粘膜疾患、咬合誘導について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯の外傷について説明できる。 3.小児の抜歯について説明できる。 4.小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 5.小児の咬合誘導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の外傷と粘膜疾患について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ａ　乳歯 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ３　口腔・顎顔面の疾患 イ　口腔軟組織の疾患 ａ　萌出嚢胞 ｄ　小帯異常 ｅ　Riga-Fede病 ａ　単純疱疹 ｂ　水痘・帯状疱疹 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ｂ　永久歯 エ　児童虐待による歯の外傷 オ　歯の外傷の予防 １０　不正咬合の治療 ア　不正咬合の予防 ａ　予防矯正、保隙（静的咬合誘導）	＊岡本　京
2025/09/18（木） 5時限 14:00～14:50	U10領域B・臨実（小児）歯の異常・小児疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の形成障害および小児疾患・症候群について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の形成障害について説明できる。 3.小児疾患・症候群について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯の形成障害、小児疾患・症候群について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ２　歯の異常 ウ　構造の異常 ｂ　エナメル質形成不全{症}	＊岡本　京
		【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/18（木） 5時限 14:00～14:50	U10領域B・臨実 （小児）歯の異常・小児疾患	２　歯の異常 ア　数の異常 ａ　過剰歯 ｂ　先天欠如 ａ　癒合歯、癒着歯、双生歯 ｂ　中心結節、切歯結節 ｃ　歯内歯 ｆ　Hutchinson歯、Fournier歯 ｇ　タウロドント ａ　歯のフッ素症 ｃ　象牙質形成不全{症}	＊岡本　京
2025/09/19（金） 1時限 09:00～09:50	U10領域B：臨実 （矯正）所見	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、治療計画の立案に必要な情報を収集し整理・統合できるように学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔内写真から得られる所見を述べることができる。 3.エックス線写真から得られる所見を述べることができる。 4.診断用口腔模型から得られる所見を述べることができる。 5.軟組織診査から得られる所見を述べることができる。 6.機能検査から得られる所見を述べることができる。 7.得られた情報から不正咬合の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ６　不正咬合の診断 ウ　診断	＊清水　真美
2025/09/19（金） 2時限 10:00～10:50	U10領域B：臨実 （矯正）第Ⅰ期治療	【授業の一般目標】 適切な乳歯・混合歯列期の矯正治療を行うために、顎顔面形態の特徴、診断、治療開始時期および治療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.乳歯混合歯列期の治療目標を述べることができる。 3.乳歯混合歯列期に用いる矯正装置を説明できる。 4.乳歯混合歯列期の治療計画を立案できる。 5.早期治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期の矯正治療、混合歯列期の矯正治療について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	＊清水　真美
2025/09/19（金） 3時限 11:00～11:50	U10領域B：臨実 （矯正）第Ⅱ期治療	【授業の一般目標】 永久歯列期の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.治療目標の設定ができる。 3.抜歯部位の選択ができる。 4.矯正治療中の管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：永久歯列期の矯正治療について	＊五関　たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/19（金） 3時限 11:00～11:50	U10領域B：臨実（矯正）第Ⅱ期治療	準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、ＰＣによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第６版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ウ　永久歯列期の不正咬合の治療	＊五関　たけみ
2025/09/19（金） 4時限 13:00～13:50	U10領域B：臨実（矯正）外科的矯正治療	【授業の一般目標】 口唇裂・口蓋裂や顎変形症の矯正歯科治療を適切に行うために必要な知識、診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.外科矯正治療における術前矯正治療の目的を説明できる。 3.適切な外科手術法を選択できる。 4.唇顎口蓋裂患者の特徴を説明できる。 5.唇顎口蓋裂患者の歯科矯正治療の流れを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、顎変形症の矯正歯科治療について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料、教科書（歯科矯正学第5版：ｐ336－352） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 オ　顎変形症の治療	＊榎本　豊
2025/09/19（金） 5時限 14:00～14:50	U10領域B：臨実（矯正）臨実まとめ	【授業の一般目標】 永久歯列期の治療に必要な知識、診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.永久歯列期の治療について説明できる。 3.抜歯非抜歯の判定について説明できる。 4.外科的矯正治療の流れについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、顎変形症の矯正歯科治療について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料、教科書（歯科矯正学第5版：ｐ336－352） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 ウ　永久歯列期の不正咬合の治療	＊石井　かおり
2025/09/20（土） 1時限 09:00～09:50	U10領域B：臨実（歯周）歯周基本治療	【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために，歯周病の診査・診断・治療計画および歯周基本治療の内容・目的について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する 2.歯周病の分類と特徴について説明することができる。	＊中山　洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/20（土） 1時限 09:00～09:50	U10領域B：臨実 （歯周)歯周基本治療	3. 歯周病の治療計画について説明することができる。 4. 歯周基本治療の内容について説明できる。 5. 歯周治療におけるメインテナンスおよびＳＰＴについて説明できる。 6. 咬合性外傷の診断・治療法について説明できる。 7. 歯内歯周病変の診断・治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖，歯周疾患の病因と病態，歯周基本治療。40分 事後学習項目：診断結果と歯周基本治療の選択。60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し，パワーポイントで講義を行う。 後日，必要に応じて電子媒体で配布する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｄ　歯周外科治療（切除療法、組織付着療法） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｇ　根分岐部病変の治療	＊中山　洋平
2025/09/20（土） 2時限 10:00～10:50	U10領域B：臨実 （歯周)根分岐部病変，歯周外科治療	【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために，根分岐部病変の治療および歯周外科治療について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根分岐部病変の分類に対する治療方法について説明できる。 3. 歯周ポケット掻爬術について説明できる。 4. 新付着術(ＥＮＡＰ)について説明できる。 5. 歯肉切除術について説明できる。 6. 歯肉剝離掻爬術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖。切除療法および組織付着療法の種類を列挙し，それぞれの適応症と術式を説明できる。根分岐部病変を分類し，適応する術式を説明できる。60分。 事後学習項目：切除療法，組織付着療法の適応症を理解し，術式を選択できる。手技，使用器具についても理解を深める。60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し，パワーポイントで講義を行う。 後日，必要に応じて電子媒体で配布する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｅ　歯周外科治療（歯周組織再生療法）	＊中山　洋平
2025/09/20（土） 3時限 11:00～11:50	U10領域B：臨実 （歯周)歯周外科治療	【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために，歯周組織再生療法および歯周形成手術の治療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2. 再生の3原則に基づいて，歯周組織再生療法の種類を説明できる。 3. 骨移植術について説明できる。 4. 組織再生誘導法(ＧＴＲ法)について説明できる。 5. エナメルマトリックスタンパク質を用いた再生療法について説明できる。 6. 塩基性線維芽細胞成長因子を用いた再生療法について説明できる。 7. 歯周形成手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖，再生の３原則，骨再生の3要素を理解し，歯周組織再生治療の適応症と術式。歯周形成手術の適応症と術式を列挙できる。60分。 事後学習項目：歯周組織再生療法の適応症を理解し，術式を選択できる。手技，使用器具についても理解を深める。歯周形成手術の術式を選択できる。60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し，パワーポイントで講義を行う。	＊中山　洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/20（土） 3時限 11:00～11:50	U10領域B：臨実（歯周)歯周外科治療	後日，必要に応じて電子媒体で配布する。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ　歯・歯髄・歯周組織の疾患 ３　歯周疾患 ウ　歯周疾患の治療 ｆ　歯周外科治療（歯周形成手術）	＊中山　洋平
2025/09/24（水） 1時限 09:30～11:00	平常試験10および解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の臨床実地に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科臨床医学の臨床実地に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修読に十分な準備学修時間 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/09/27（土） 1時限 09:00～09:50	U11領域B：臨実（有床）歯列欠損患者・無歯顎患者に対する診察・検査と評価１	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の咬合・咀嚼障害について説明できる。 3. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の発語障害（発話機能障害）について説明できる。 4. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者の心理社会的障害について説明できる。 5. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する形態的・審美的評価について説明できる。 6. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する機能的評価について説明できる。 7. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する力学的評価について説明できる。 8. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する身体社会的・心理的評価について説明できる。 9. 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する栄養評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ア　咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 １　病態 ウ　発話障害〈発話機能障害〉 オ　心理社会的障害 ２　診察、検査、診断 ア　診察 ａ　形態的・審美的評価 ｂ　機能的評価 ｃ　力学的評価 ｄ　身体社会的・心理的評価 ｅ　栄養評価	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/27（土） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実（有床）歯列欠損患者・無歯顎患者に対する診察・検	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/27（土） 2時限 10:00～10:50	査と評価２	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する補綴装置の評価について説明できる。 3.補綴装置の要件（生物学的、機能的、形態的、力学的、審美的、材料的）について説明できる。 4.有床義歯における咬合力の支持様式について説明できる。 5.有床義歯における咬合様式について説明できる。 6.部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する研究用模型による検査について説明できる。 7.部分歯列欠損患者および無歯顎患者に対する口腔衛生状態の評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｆ　補綴装置の評価 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 イ　検査と評価 ｇ　研究用模型による検査 ｈ　口腔衛生状態の評価 ｉ　その他	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/27（土） 3時限 11:00～11:50	U11領域B：臨実（有床）有床義歯補綴における診断・治療計画・設計	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者および無歯顎患者に適切な補綴歯科治療を実施できるために、必要な病態の把握および診察・検査・診断に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分歯列欠損患者および無歯顎患者における診断について説明できる。 3.部分歯列欠損患者および無歯顎患者における治療の到達目標について説明できる。 4.部分歯列欠損患者および無歯顎患者における治療計画の立案について説明できる。 5.部分歯列欠損患者および無歯顎患者における治療法の選択について説明できる。 6.有床義歯の設計原則について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 ウ　診断 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ２　診察、検査、診断 エ　治療計画の立案 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/29（月） 1時限 09:00～09:50	U11領域B：臨実（有床）部分床義歯による治療１（義歯の設計・構成要素：ノンメタルクラスプデンチャーを含む）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の設計および構成要素について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の設計原則について説明できる。 3.部分床義歯の構成要素について説明できる。 4.ノンメタルクラスプデンチャーについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素	＊伊藤　誠康
2025/09/29（月） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実（有床）部分床義歯による治療２（臨床操作：前処置～印象採得、技工操作：個人トレーおよび作業用模型の製作）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の治療ステップについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯の前処置について説明できる。 3.部分床義歯の個人トレーの製作について説明できる。 4.部分床義歯の印象採得について説明できる。 5.部分床義歯の作業用模型の製作について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ａ　前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 ａ　個人トレーの製作、作業用模型の製作	＊伊藤　誠康
2025/09/29（月） 3時限 11:00～11:50	U11領域B：臨実（有床）部分床義歯による治療３（臨床操作：フレームワーク試適・顎間関係の記録、技工操作：フレームワークの製作～咬合器装着）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の治療ステップについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分床義歯のフレームワークの製作について説明できる。 3.部分床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 4.部分床義歯のフレームワークの試適について説明できる。 5.部分床義歯の咬合器装着・調節について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	＊大久保　昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/29（月） 3時限 11:00～11:50	U11領域B：臨実（有床）部分床義歯による治療３（臨床操作：フレームワーク試適・顎間関係の記録、技工操作：フレームワークの製作～咬合器装着）	・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） ｂ　咬合器装着・調節 ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 ｃ　サベイング、設計線の記入 ｄ　支台装置、連結子、フレームワークの製作	＊大久保　昌和
2025/09/29（月） 4時限 13:00～13:50	U11領域B：臨実（有床）部分床義歯による治療４（臨床操作：ろう義歯試適～装着、技工操作：人工歯排列～咬合調整）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対し適切な補綴歯科治療が出来るようになるために、部分床義歯の治療ステップについて理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の人工歯の選択・排列・歯肉形成について説明できる。 3. 部分床義歯のろう義歯の試適について説明できる。 4. 部分床義歯の埋没、重合について説明できる。 5. 部分床義歯の咬合調整(削合)について説明できる。 6. 部分床義歯の装着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　試適（ろう義歯、フレームワーク） ｅ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 ｆ　埋没、重合 ｇ　咬合調整（削合）と仕上げ	＊大久保　昌和
2025/09/29（月） 5時限 14:00～14:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療１（義歯の設計、臨床操作：前処置～印象採得、技工操作：個人トレーの製作～作業用模型の製作）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の設計原則を説明できる。 3. 無歯顎患者の前処置について説明できる。 4. 全部床義歯の個人トレーの製作について説明できる。 5. 全部床義歯の印象採得について説明できる。 6. 全部床義歯の作業用模型の製作について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/29（月） 5時限 14:00～14:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療１（義歯の設計、臨床操作：前処置～印象採得、技工操作：個人トレーの製作～作業用模型の製作）	・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｂ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/30（火） 1時限 09:00～09:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療２（臨床操作：顎間関係の記録）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の顎間関係の記録について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/30（火） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療３（臨床操作：人工歯選択、技工操作：咬合器装着）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯製作時の咬合器装着・調節について説明できる。 3. 全部床義歯の人工歯選択について説明できる。 4. フレンジテクニックについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/30（火） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療３（臨床操作：人工歯選択、技工操作：咬合器装着）	【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｃ　顎間関係の記録	＊五十嵐　憲太郎
2025/09/30（火） 3時限 11:00～11:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療４（臨床操作：ろう義歯の試適、技工操作：人工歯排列・歯肉形成）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の人工歯排列について説明できる。 3.全部床義歯の歯肉形成について説明できる。 4.全部床義歯の咬合様式を説明できる。 5.全部床義歯のろう義歯の試適について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｃ　人工歯の選択・排列・歯肉形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｄ　ろう義歯の試適	＊鈴木　亜沙子
2025/09/30（火） 4時限 13:00～13:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯による治療（臨床操作：装着、技工操作：埋没、重合、咬合調整と仕上げ）	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全部床義歯の埋没、重合について説明できる。 3.全部床義歯の咬合調整について説明できる。 4.全部床義歯の装着について説明できる。 5.全部床義歯の咬合器再装着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 イ　臨床操作 ｅ　装着 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ５　全部床義歯による治療 ウ　技工操作 ｂ　咬合器装着・調節 ｄ　埋没、重合 ｅ　咬合調整（削合）と仕上げ	＊鈴木　亜沙子
2025/09/30（火） 5時限 14:00～14:50	U11領域B：臨実（有床）全部床義歯装着後の指導と	【授業の一般目標】 無歯顎患者に対する補綴歯科治療後の指導と管理について必要な知識を修得する。	＊鈴木　亜沙子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	管理（リコールとメインテナンス、破損等への対応）	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯装着後の義歯の清掃・管理について説明できる。 3. 全部床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 4. 全部床義歯に対するリベース、リラインについて説明できる。 5. 全部床義歯装着後の咬合の変化への対応について説明できる。 6. 全部床義歯の破損に対する対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、コンプリートデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｂ　残存組織の変化とその対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 イ　補綴装置に対する指導 ａ　セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア ｃ　咬合の変化とその対応 ｄ　機能低下とその対応 ｅ　補綴装置の破損とその対応	＊鈴木　亜沙子
2025/10/01（水） 1時限 09:00～09:50	U11領域B：臨実（有床）部分床義歯装着後の指導と管理（リコールとメインテナンス、破損等への対応）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対する補綴歯科治療後の指導と管理について必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯装着後の義歯の清掃・管理について説明できる。 3. 部分床義歯装着後の支台歯の清掃・管理について説明できる。 4. 部分床義歯装着後の睡眠中の管理について説明できる。 5. 部分床義歯装着後の残存組織の変化について説明できる。 6. 部分床義歯に対するリベース、リラインについて説明できる。 7. 部分床義歯装着後の咬合の変化への対応について説明できる。 8. 部分床義歯の破損に対する対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｅ　補綴装置の破損とその対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 イ　補綴装置に対する指導 ａ　セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア ｂ　残存組織の変化とその対応 ｃ　咬合の変化とその対応	＊小出　恭代
2025/10/01（水） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実（有床）特殊な義歯の設計（オーバーデンチャー・アタッチメント）	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者に対する特殊な義歯の設計（オーバーデンチャー・アタッチメント）とその治療について必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 特殊な義歯の構成要素（アタッチメント）について説明できる。	＊小出　恭代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/01（水） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実（有床）特殊な義歯の設計（オーバーデンチャー・アタッチメント）	3.オーバーデンチャーやアタッチメントを応用した義歯の設計原則を説明できる。 4.オーバーデンチャーやアタッチメントを応用した義歯の治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニック、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ４　部分床義歯による治療 ア　義歯の設計 ｂ　義歯の構成要素 ５　全部床義歯による治療 ア　義歯の設計 ａ　設計の原則 ｂ　義歯の構成要素 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ｃ　インプラントオーバーデンチャーの製作 ｄ　インプラントパーシャルデンチャーの製作	＊小出　恭代
2025/10/01（水） 3時限 11:00～11:50	U11領域B：臨実（有床）特殊な装置による治療（顎顔面補綴装置、舌接触補助床、軟口蓋挙上装置、スピーチエイド）	【授業の一般目標】 顎顔面欠損・機能障害等に対する特殊な補綴装置によるの設計・治療の方針について必要な知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。 3.顎顔面に欠損を有する患者の病因および病態を説明できる。 4.顎顔面補綴装置による治療について説明できる。 5.栓塞子（オブチュレータ）について説明できる。 6.舌接触補助床について説明できる。 7.舌接触補助床の製作法について説明できる。 8.軟口蓋挙上装置およびスピーチエイドについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書（無歯顎補綴治療学、歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、有床義歯補綴学など）の確認 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配付資料および参考図書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ７　特殊な装置による治療 ア　顎顔面補綴装置	＊小出　恭代
2025/10/01（水） 4時限 13:00～13:50	U11領域B：臨実（歯冠）前処置	【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義，種類，内容について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義，種類，内容を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/01（水） 4時限 13:00～13:50	U11領域B：臨実（歯冠）前処置	アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ａ　前処置	＊飯田　崇
2025/10/01（水） 5時限 14:00～14:50	U11領域B：臨実（歯冠）　支台歯形成（支台築造含む）・プロビジョナルレストレーション	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.支台歯形成の方法について説明できる。 3.プロビジョナルレストレーションの製作方法と特徴を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｂ　支台歯形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｅ　プロビジョナルレストレーション	＊内堀　聡史
2025/10/02（木） 1時限 09:00～09:50	U13領域B：臨実（歯冠）印象採得，咬合採得，咬合器の調整	【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材，印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.印象材の種類と特徴を説明できる。 3.印象用器材，印象法の種類と特徴を説明できる。 4.歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5.顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 6.咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 7.咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｄ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/02（木） 1時限 09:00～09:50	U13領域B：臨実 （歯冠）印象採得，咬合採得，咬合器の調整	歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｆ　顎間関係の記録	＊飯田　崇
2025/10/02（木） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実 （歯冠）　歯冠補綴治療の技工操作ーデジタルなどー	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、ロストワックス法による技工操作とデジタルデンティストリーにおける治療方法について知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。 2.ロストワックス法による技工操作について説明できる。 3.デジタルデンティストリーの治療方法について述べることができる。 4.口腔内スキャナーのシステムについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ａ　ロストワックス法による製作 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ウ　技工操作 ｂ　CAD/CAMによる製作 ｃ　その他の方法による製作	＊内堀　聡史
2025/10/02（木） 3時限 11:00～11:50	U11臨実：領域B （歯冠）装着と術後管理	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2.歯冠補綴装置の装着方法について説明できる。 3.歯冠補綴治療の術後管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版・6版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｈ　口腔内試適 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 イ　臨床操作 ｉ　仮着 ｊ　装着	＊岩﨑　正敏 永田　俊介
2025/10/02（木） 4時限 13:00～13:50	U11領域B：臨実 （歯冠）　装着後に発生する問題とその対応	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウン装着後の破損の原因を述べることができる。	＊岩﨑　正敏 永田　俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/02（木） 4時限 13:00～13:50	U11領域B：臨実（歯冠） 装着後に発生する問題とその対応	3. 前装冠破損の原因を推測することができる。 4. 前装冠破損の修理方法について述べることができる。 5. 補綴物の破損に関する理工学的特性を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学・歯科理工学 事前学修時間：90分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ８　指導と管理 オ　リコールとメインテナンス ｅ　補綴装置の破損とその対応	＊岩﨑　正敏 永田　俊介
2025/10/02（木） 5時限 14:00～14:50	U11臨実：領域B（障害者）高齢者等に対する訪問歯科医療	【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 老化の機序を説明できる。 3. 要介護高齢者の歯科治療を説明できる。 4. 在宅歯科医療を説明できる。 5. 高齢者歯科医療における多職種連携について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ９　在宅、病院、施設における歯科診療 イ　多職種協働	＊梅澤　幸司
2025/10/03（金） 1時限 09:00～09:50	U11領域B：臨実（障害者）摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食嚥下機能検査に基づいたリハビリテーションの立案ができる 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 摂食嚥下機能の評価方法について説明できる 3. 治療的アプローチについて説明できる 4. 代償的アプローチについて説明できる 5. 環境改善アプローチについて説明できる 6. 心理的アプローチについて説明できる 7. 栄養療法について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について熟読する。 ・準備学修時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/03（金） 1時限 09:00～09:50	U11領域B：臨実 （障害者）摂食嚥下	ア　治療的アプローチ ａ　間接訓練 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉 ア　治療的アプローチ ｂ　直接訓練 イ　代償的アプローチ ウ　環境改善的アプローチ エ　心理的アプローチ オ　栄養療法 ４　高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 イ　口腔機能の評価 ａ　口腔機能および摂食嚥下機能	＊林　佐智代
2025/10/03（金） 2時限 10:00～10:50	U11領域B：臨実 （インプラント） インプラント外科処置	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.インプラント外科処置について説明できる。 3.インプラント外科処置における合併症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ａ　インプラント体埋入手術（一次手術） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術	＊玉木　大之
2025/10/03（金） 3時限 11:00～11:50	U11領域B:臨実 （インプラント） 国試過去問解説	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.インプラント治療の補綴処置について説明できる 3. インプラント治療に用いる器具器材について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シミュレーションソフトを用いた診断、CAD/CAMを利用したガイデッドサージェリー ・準備学修時間：30　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｃ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作	＊村上　洋
2025/10/03（金）	U11領域B：臨実	【授業の一般目標】	＊村上　洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
4時限 13:00～13:50	（インプラント） 国試過去問解説	欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラントの補綴術式を説明する。 3.インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 過去の講義・実習時に配布した，該当範囲レジュメの通読 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：スライド、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作	＊村上　洋
2025/10/03（金） 5時限 14:00～14:50	U11領域B:臨実 （インプラント） 国試過去問解説	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2.インプラント治療の補綴処置について説明できる 3. インプラント治療に用いる器具器材について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シミュレーションソフトを用いた診断、CAD/CAMを利用したガイデッドサージェリー ・準備学修時間：30　分 ・事後学修時間：30　分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｃ　印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作	＊村上　洋
2025/10/06（月） 1時限 09:30～11:30	平常試験11および 解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の臨床実地に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科臨床医学の臨床実地に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修読に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他	＊根岸　慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/06（月） 1時限 09:30～11:30	平常試験11および解説講義	該当なし	＊根岸　慎一
2025/10/07（火） 1時限 09:00～09:50	U12領域B：臨実（口外）　嚢胞	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.嚢胞性疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の嚢胞性疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：配布資料および教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞	＊山本　泰
2025/10/07（火） 2時限 10:00～10:50	U12領域B：臨実（口外）　良性腫瘍	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する良性腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の良性腫瘍について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：配布資料および教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍	＊山本　泰
2025/10/07（火） 3時限 11:00～11:50	U12領域B：臨実（口外）　悪性腫瘍	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する悪性腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の悪性腫瘍について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：配布資料および教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	＊山本　泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/07（火） 3時限 11:00～11:50	U12領域B：臨実（口外） 悪性腫瘍	c　口腔癌	＊山本　泰
2025/10/07（火） 4時限 13:00～13:50	U12領域B：臨実（口外・放射） 炎症	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の炎症性疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：配布資料および教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 ｈ　顎骨周囲軟組織の炎症	＊山本　泰 ＊伊東　浩太郎
2025/10/07（火） 5時限 14:00～14:50	U12領域B：臨実（口外・放射） 外傷	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面領域に発生する損傷の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の外科的疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：配布資料および教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 ｄ　上顎骨骨折	＊山本　泰 ＊伊東　浩太郎
2025/10/08（水） 1時限 09:00～09:50	U12領域B：臨実（口外・病理） 炎症性疾患	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：１時間	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/08（水） 1時限 09:00～09:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 炎症性疾患	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　軟組織の炎症の病態・診断・治療 ｄ　歯性上顎洞炎	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子
2025/10/08（水） 2時限 10:00～10:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 線維性骨病変	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ｆ　線維骨性病変	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子
2025/10/08（水） 3時限 11:00～11:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 歯原性良性腫瘍	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/08（水） 3時限 11:00～11:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 歯原性良性腫瘍	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子
2025/10/08（水） 4時限 13:00～13:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 唾液腺腫瘍	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　唾液腺疾患の病態・診断・治療 ｇ　良性腫瘍	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子
2025/10/08（水） 5時限 14:00～14:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 粘膜疾患	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：１時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/08（水） 5時限 14:00～14:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 粘膜疾患	歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク　口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 ｉ　口腔扁平苔癬	＊宇都宮　忠彦 ＊山口　桜子
2025/10/09（木） 1時限 09:00～09:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 腫瘍・嚢胞	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 ａ　歯原性嚢胞	＊末光　正昌 ＊飯塚　普子
2025/10/09（木） 2時限 10:00～10:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 腫瘍・嚢胞	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク　口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 ｋ　白板症	＊末光　正昌 ＊飯塚　普子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/09（木） 3時限 11:00～11:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 腫瘍・嚢胞	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　唾液腺疾患の病態・診断・治療 ｇ　良性腫瘍	＊末光　正昌 ＊飯塚　普子
2025/10/09（木） 4時限 13:00～13:50	U12領域B：臨実 （口外・病理） 腫瘍・嚢胞	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3.口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4.口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5.口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6.口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7.口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8.口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9.口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10.口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍	＊末光　正昌 ＊飯塚　普子
2025/10/09（木） 5時限 14:00～14:50	U12領域B：臨実 （病理）顎・口腔領域の疾患	【授業の一般目標】 正確な診断を行うために、非腫瘍性疾患の病理組織診断について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.*以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。	＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/09（木） 5時限 14:00～14:50	U12領域B：臨実 （病理）顎・口腔領域の疾患	2.嚢胞の病理組織診断と鑑別診断を行うことができる。 3.口腔粘膜疾患の病理組織診断と鑑別診断を行うことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： １）嚢胞の分類 ２）口腔粘膜疾患の分類 準備学修時間：30分 事後学修項目： １）嚢胞の分類と病理組織学的特徴 ２）口腔粘膜疾患の病理組織学的特徴 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ　軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 ｂ　非歯原性嚢胞 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク　口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 ｋ　白板症	＊宇都宮　忠彦
2025/10/09（木） 6時限 15:00～15:50	U12領域B：臨実 （病理）顎・口腔領域の疾患	【授業の一般目標】 正確な診断を行うために、腫瘍性疾患と腫瘍類疾患の病理組織診断について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.＊以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて教授されるものである。 2.歯原性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 3.非歯原性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 4.唾液腺腫瘍の歯原性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 5.腫瘍類似疾患の分類と病理学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： １）歯原性腫瘍の分類 ２）非歯原性腫瘍の分類 ３）唾液腺腫瘍の分類 ４）腫瘍類似疾患の分類 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： １）歯原性腫瘍の病理学的特徴 ２）非歯原性腫瘍の病理学的特徴 ３）唾液腺腫瘍の病理学的特徴 ４）腫瘍類似疾患の病理学的特徴 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 １　主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ　軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ｃ　口腔癌 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ２　主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ　顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ａ　歯原性良性腫瘍	＊宇都宮　忠彦
2025/10/10（金） 1時限 09:00～09:50	U12領域B:臨実 （麻酔）全身麻酔	【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に覚醒方法と全身麻酔合併症、そして体液管理について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.全身麻酔の覚醒方法について説明することができる。 3.覚醒時に使用する薬物について説明することができる。 4.悪性高熱症について説明することができる。	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/10（金） 1時限 09:00～09:50	U12領域B:臨実 （麻酔）全身麻酔	5.全身麻酔中の体液管理について説明することができる。 6.輸血について説明することができる。 7.日帰り全身麻酔について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ｂ　全身麻酔	＊下坂　典立
2025/10/10（金） 2時限 10:00～10:50	U12 領域B:臨実 （麻酔）不整脈	【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.除細動について説明することができる。 3.除細動すべき不整脈について説明することができる。 4.心房細動について説明することができる。 5.房室ブロックについて説明することができる。 6.心臓ペースメーカが必要な不整脈について説明することができる。 7.脚ブロックについて説明することができる。 8.抗不整脈薬の使用について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4.管理上問題となる疾患」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス　全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ｂ　循環器・脳血管疾患	＊下坂　典立
2025/10/10（金） 3時限 11:00～11:50	U12領域B:臨実 （麻酔）ペインクリニック	【授業の一般目標】 疼痛管理、感覚異常疾患治療を適切に行うために、管理方法の実際、神経ブロック療法、理学療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面領域の疼痛疾患について説明することができる。 3.顎顔面領域の感覚異常疾患・症状について説明することができる。 4.痛みの悪循環について説明することができる。 5.星状神経節ブロックについて説明することができる。 6.星状神経節ブロックの適応疾患について説明することができる。 7.星状神経節ブロックの生理的反応について説明することができる。 8.星状神経節ブロックの合併症について説明することができる。 9.理学療法について説明することができる。 10.光線療法について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目；スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「14. ペインクリニック（疼痛治療）」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学習項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学習時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊下坂　典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/10（金） 3時限 11:00～11:50	U12領域B:臨実 （麻酔）ペインクリニック	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ　神経・運動器疾患の病態・診断・治療 ｃ　顔面神経麻痺 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ４　手術・周術期の管理、麻酔 ウ　麻酔 ａ　局所麻酔	＊下坂　典立
2025/10/10（金） 4時限 13:00～13:50	U12領域B：臨実 （臨検）貧血	【授業の一般目標】 血液検査に関する臨実問題の解説ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.貧血を調べるための検査項目を述べることが出来る。 3.貧血の臨床症状と合併症を述べることが出来る。 4.貧血に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることが出来る。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：過去の臨床検査に関する授業資料 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ　主要症候 １　全身の症候 オ　血液・造血器、免疫	＊深津　晶
2025/10/10（金） 5時限 14:00～14:50	U12領域B：臨実 （臨検）出血性素因	【授業の一般目標】 血液検査に関する臨実問題の解説ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.調べるための検査項目を述べることが出来る。 3.臨床症状と合併症を述べることが出来る。 4.罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることが出来る。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：過去の臨床検査に関する授業資料 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：マルチメディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ　主要症候 １　全身の症候 オ　血液・造血器、免疫	田中　陽子
2025/10/10（金） 6時限 15:00～15:50	U12領域B：臨実 （歯冠・放射線学）顎・口腔領域の疾患	【授業の一般目標】 顎関節症に対する診断および治療計画立案ができるようになるために，顎関節症の各病態に合わせた治療方針を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎関節咬合科での臨床経験に基づき，以下の内容を教授する。 2.歯科疾患と顎関節疾患とを鑑別診断できる。 3.顎関節症における画像診断結果を説明できる。 4.顎関節症の病態分類について説明できる。 5.各病態における特徴を説明できる。 6.各病態に対する治療方針を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分	＊飯田　崇 ＊村岡　宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/10（金） 6時限 15:00～15:50	U12領域B：臨実（歯冠・放射線学） 顎・口腔領域の疾患	事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 紙媒体による授業プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 １　顎関節症	＊飯田　崇 ＊村岡　宏隆
2025/10/11（土） 1時限 09:00～09:50	U12領域B：臨実（口外）　顎関節	【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ　顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 ｃ　関節突起骨折	＊飯塚　普子
2025/10/11（土） 2時限 10:00～10:50	U12領域B：臨実（口外・病理）国試頻出画像問題の解説	【授業の一般目標】 画像を伴う外科系臨実問題の解説ができる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 国試頻出画像の解説をできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊山本　泰 ＊末光　正昌
2025/10/11（土） 3時限 11:00～11:50	U12領域B：臨実（口外・病理）国試頻出画像問題の	【授業の一般目標】 画像を伴う外科系臨実問題の解説ができる。	＊山本　泰 ＊末光　正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	解説	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.国試頻出画像の解説をできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊山本　泰 ＊末光　正昌
2025/10/14（火） 1時限 09:30～11:35	平常試験12および解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の臨床実地に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科臨床医学の臨床実地に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修得に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/10/15（水） 1時限 09:00～09:50	ガイダンス６	【授業の一般目標】 歯科医学総合講義６に関する概略と評価について説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯科医学総合講義６に関する概略を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：特に必要としない。 ・準備学修時間：０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/10/15（水） 2時限 10:00～10:50	U13 必修・領域A（生化）総まとめ１	【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.生体構成成分の構造・機能を説明できる。 2.ゲノム、遺伝子、染色体を説明できる。 3.細胞・細胞小器官の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分 事後学修項目：プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布済みの講義プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	平塚　浩一 竹内　麗理 栗原　紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/15（水） 2時限 10:00～10:50	U13 必修・領域A （生化）総まとめ 1	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	平塚　浩一 竹内　麗理 栗原　紀子
2025/10/15（水） 3時限 11:00～11:50	U13 必修・領域A （生化）総まとめ 2	【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. う蝕の成り立ちが説明できる。 2. 炎症が説明できる。 3. 細胞外基質が説明できる。 4. 骨リモデリングが説明できる。 5. 歯の成分が説明できる。 6. 唾液の成分とその機能が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分 事後学修項目：プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布済みの講義プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	平塚　浩一 竹内　麗理 栗原　紀子
2025/10/15（水） 4時限 13:00～13:50	U13 必修・領域A （生化）総まとめ 3	【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 三大栄養素と代謝過程を説明できる。 2. 細胞分裂や細胞周期を説明できる。 3. 唾液・血液の成分と働きを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：配布プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分 事後学修項目：配布プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：配布済みの講義プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ａ　生体構成成分	平塚　浩一 竹内　麗理 栗原　紀子
2025/10/16（木） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （感免）微生物・ 免疫学まとめ１	【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物との関わりを理解するために、生体防御機構について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液、歯肉溝滲出液の抗菌物質を説明できる。 3. 口腔領域における免疫応答について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの配布プリントの再確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容について総復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	＊齋藤　真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/16（木） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （感免）微生物・ 免疫学まとめ１	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｇ　免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 エ　自然免疫 ａ　微生物の認識機構 ｂ　微生物の排除機構 ａ　体液性免疫 ｂ　細胞性免疫	＊齋藤　真規
2025/10/16（木） 2時限 10:00～10:50	U13必修・領域A （感免）微生物・ 免疫学まとめ２	【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物との関わりを理解するために、生体防御機構について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液、歯肉溝滲出液の抗菌物質を説明できる。 3. 口腔領域における免疫応答について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの配布プリントの再確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容について総復習する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｇ　免疫系（免疫系担当細胞・臓器、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ３　免疫 エ　自然免疫 ａ　微生物の認識機構 ｂ　微生物の排除機構 ａ　体液性免疫 ｂ　細胞性免疫	＊齋藤　真規
2025/10/16（木） 3時限 11:00～11:50	U13必修・領域A （解剖）まとめ1	【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造に関する基本的な知識を習得することにより、筋の付着を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 頭蓋冠の構造を説明できる。 2. 頭蓋底の構造を説明できる。 3. 咀嚼筋の構造を説明できる。 4. 舌骨筋群の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：課題別講義を復習する。 準備学習時間：３０分 事後学習項目：講義内容を再確認する。 事後学習時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 課題別で配付した資料必須 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ａ　頭蓋の全容	塩崎　一成 松野　昌展
2025/10/16（木） 4時限 13:00～13:50	U13必修・領域A （解剖）まとめ2	【授業の一般目標】 頭頸部を局所解剖的に理解することにより神経、血管の分布を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 脳神経の分布を説明できる。	塩崎　一成 松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/16（木） 4時限 13:00～13:50	U13必修・領域A （解剖）まとめ2	2.頭頸部の脈管、リンパの分布を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：課題別講義を復習する。 準備学習時間：３０分 事後学習項目：講義内容を再確認する。 事後学習時間：６０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 課題別で配付した資料必須 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経	塩崎　一成 松野　昌展
2025/10/17（金） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （組織）まとめ①	【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、器官を構成する４大組織について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.上皮組織について説明できる。 2.支持組織について説明できる。 3.筋組織について説明できる。 4.神経組織について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布プリントの確認 ・準備学修時間：１２0分 ・事後学修項目：講義内容の復習 ・事後学修時間：１２0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］	河野　哲朗
2025/10/17（金） 2時限 10:00～10:50	U13必修・領域A （組織）まとめ②	【授業の一般目標】 口腔の構造を理解するために、構成する細胞・組織についての基本的知識を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯の構造について説明できる。 2.歯周組織の構造について説明できる。 3.唾液腺の構造について説明できる。 4.舌・扁桃の構造について説明できる。 5.口腔組織の加齢変化について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布資料の確認 ・準備学修時間：１２0分 ・事後学修項目：講義内容の復習 ・事後学修時間：１２0分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞの有無：無し 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	河野　哲朗 玉村　亮
2025/10/17（金） 3時限 11:00～11:50	U13必修・領域A （材料）まとめ講義（Ｉ）	【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その基礎的な性質を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.生体材料の力学的、物理的および化学的性質について説明できる。	谷本　安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/17（金） 3時限 11:00～11:50	U13必修・領域A （材料）まとめ講義（Ⅰ）	2.生体材料の生物学的性質および生体安全性について説明できる。 3.切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。 4.印象材の種類、組成および性質について説明できる。 5.歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 6.歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 7.成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。 8.予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。 9.歯内療法関連材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項、歯科材料・機器）を整理・復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ａ　基本的性質 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｂ　診療用器械、切削・研削工具・研磨材 ｃ　印象用材料・機器 ｄ　模型用材料、ワックス ｅ　成形修復・予防塡塞・歯内療法用材料	谷本　安浩
2025/10/17（金） 4時限 13:00～13:50	U13必修・領域A （材料）まとめ講義（Ⅱ）	【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その基礎的な性質を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 2.義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。 3.義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。 4.歯科精密鋳造の原理と鋳造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。 5.歯科用CAD/CAMシステムの特徴について説明できる。 6.歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。 7.歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。 8.歯科インプラント用材料および骨補填材料の種類、組成および性質について説明できる。 9.組織工学用膜材料の種類、組成および性質について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項、歯科材料・機器）を整理・復習する。 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｆ　歯冠修復・義歯用材料 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 セ　歯科材料・機器 ｇ　成形技術・機器 ｈ　装着用材料、接着処理 ｉ　歯科矯正用材料 ｊ　口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料	谷本　安浩
2025/10/20（月） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために，薬物療法の基本的事項に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	青野　悠里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/20（月） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （薬理）薬物療法	1.薬物の作用部位・作用機序を説明できる。 2.薬物の副作用・有害事象を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬理学に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア，プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ａ　薬理作用（薬力学、主作用および副作用を含む） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ｃ　薬物投与（連用と併用を含む）	青野　悠里
2025/10/20（月） 2時限 10:00～10:50	U13必修・領域A （薬理）薬物療法	【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために，薬物療法の基本的事項に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.薬物動態を説明できる。 2.薬物相互作用を説明できる。 3.薬物適用上の注意を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬理学に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア，プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ｂ　薬物動態 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 コ　薬物療法 ｃ　薬物投与（連用と併用を含む）	青野　悠里
2025/10/20（月） 3時限 11:00～11:50	U13必修・領域A （衛生）法に基づく政策	【授業の一般目標】 歯科医師として，高齢社会における歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な地域保健、地域医療の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.地域保健活動を説明できる。 2.医療計画、健康増進計画を説明できる。 3.健康増進と疾病予防を説明できる。 4.地域保健にかかる法規と制度を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	田口　千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/20（月） 3時限 11:00～11:50	U13必修・領域A （衛生）法に基づく政策	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 イ　地域保健にかかる法規と制度 ａ　地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ア　健康増進と疾病予防 ｄ　国民健康づくり対策 ｅ　メタボリックシンドローム対策 ｆ　歯科口腔保健の推進に関する基本的事項 イ　地域保健にかかる法規と制度 ｂ　母子保健 ｃ　学校保健 歯科医学総論 総論Ⅰ　保健・医療と健康増進 １　健康の保持・増進と社会保障 オ　地域の保健・医療 ｂ　医療計画、健康増進計画 ｄ　プライマリヘルスケア	田口　千恵子
2025/10/20（月） 4時限 13:00～13:50	U13必修・領域A （衛生）口腔衛生	【授業の一般目標】 歯科医師として，歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な予防と健康管理の知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 予防手段について説明できる。 2. 口腔健康管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ａ　フッ化物応用 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ３　予防と健康管理・増進 ウ　予防手段 ｂ　保健指導 ｃ　口腔清掃（歯磨剤を含む） エ　口腔健康管理 ａ　口腔衛生管理 ｂ　口腔機能管理	田口　千恵子
2025/10/21（火） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （生理）　生理学必修対策	【授業の一般目標】 人体の機能を理解するために，循環，呼吸，自律神経，内分泌を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 血圧調節を説明できる。 2. 機能中枢を説明できる。 3. 呼吸によるガス分圧調節を説明できる。 4. ホルモンの分泌臓器と作用機序を説明できる。 5. 自律神経による機能調節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各臓器の機能について復習しておく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：循環および呼吸の異常による疾病と症状をまとめる。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能	加藤　治 吉垣　純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/21（火） 1時限 09:00～09:50	U13必修・領域A （生理） 生理学必修対策	ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	加藤　治 吉垣　純子
2025/10/21（火） 2時限 10:00～10:50	U13必修・領域A （生理） 口腔生理学必修対策	【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために，口腔感覚，顎反射，唾液，嚥下を学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 口腔感覚の特徴を説明できる。 2. 顎反射の成立機構を説明できる。 3. 唾液分泌機構を説明できる。 4. 嚥下機構を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：神経伝導路について復習しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：口腔感覚の伝導路および顎反射の反射弓をまとめる。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	吉垣　純子 加藤　治
2025/10/21（火） 3時限 11:00～11:50	U13必修・領域A （病理）病理必修対策と補足	【授業の一般目標】 病理学的知見に基づいて正確に診断するために、病理学の基本的知識について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 病理学の国家試験問題を解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊末光　正昌
2025/10/21（火） 4時限 13:00～13:50	U13必修・領域A （病理）補足、唾液腺腫瘍	【授業の一般目標】 病理学手知見に基づいて正確に診断するために、病理学の総論的な知識や唾液腺腫瘍に関する知見について学修する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液腺腫瘍に関する解説ができる。 3. 病理学の必修問題に関する解説ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書を熟読する。 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業内容に関する解説を行えるようになる。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 配布資料：あり 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ３　主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア　唾液腺疾患の病態・診断・治療	＊末光　正昌 ＊宇都宮　忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/21（火） 4時限 13:00～13:50	U13必修・領域A （病理）補足、唾液腺腫瘍	g　良性腫瘍	＊末光　正昌 ＊宇都宮　忠彦
2025/10/21（火） 5時限 14:00～14:50	U13必修・領域A （病理）歯原性腫瘍	【授業の一般目標】 歯原性腫瘍の診断を正確に行えるようになるために、その病態と特徴を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2.歯原性腫瘍の好発部位・年齢・性別・発生について述べることができる。 3.歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 □事前学修（30分） ・歯の発生と組織学的特徴について解説できる。 ・歯原性腫瘍を列挙できる。 ■事後学修（60分） ・歯原性腫瘍に関する学修資料 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：あり 顕微鏡、webclass及びレスポンスデバイスを使用 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｋ　嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｅ　顎骨・顎関節の疾患	＊宇都宮　忠彦
2025/10/24（金） 1時限 09:30～10:15	平常試験13および解説講義	【授業の一般目標】 歯科基礎医学必修の修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.必修の基本的事項について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修読に十分な準備学修時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一
2025/10/25（土） 1時限 09:00～09:50	U16必修・領域A （保存）必修対策	【授業の一般目標】 歯科臨床で遭遇する多様な症例に適切に対応するために、直近の歯科医師国家試験における保存修復学領域の問題を参考に限られた情報から正答を導き出す思考過程を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.保存修復学領域必修・総論問題に頻出する事項について説明できる。 3.保存修復学領域各論問題に頻出する事項について説明できる。 4.保存修復学領域臨床実地問題の主文内における主訴、症状、所見、検査結果を正しく解釈できる。 5.保存修復学領域臨床実地問題の視覚素材を臨床的に正しく解釈できる。 6.保存修復学領域問題出題者の出題意図を読み解き正答を導くことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域） ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	＊寺中　文子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/25（土） 1時限 09:00～09:50	U16必修・領域A （保存）必修対策	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊寺中　文子
2025/10/25（土） 2時限 10:00～10:50	U16必修・領域A （保存）必修対策	【授業の一般目標】 歯科臨床で遭遇する多様な症例に適切に対応するために、直近の歯科医師国家試験における保存修復学領域臨床実地問題を参考に限られた情報から正答を導き出す思考過程を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.保存修復学領域必修・総論問題に頻出する事項について説明できる。 3.保存修復学領域各論問題に頻出する事項について説明できる。 4.保存修復学領域臨床実地問題の主文内における主訴、症状、所見、検査結果を正しく解釈できる。 5.保存修復学領域臨床実地問題の視覚素材を臨床的に正しく解釈できる。 6.保存修復学領域問題出題者の出題意図を読み解き正答を導くことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験過去問題（保存修復領域） ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：パワーポイント、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ａ　歯の硬組織疾患の治療	＊寺中　文子
2025/10/25（土） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （診断）医療面接、口腔内診査	【授業の一般目標】 適切な診療をおこなうために、診療録、診療情報および医療面接に関する基本的事項を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.ＳＯＡＰについて説明できる。 3.医療面接に意義・目的について説明できる。 4.医療面接のマナーについて説明できる。 5.感情面の対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：診療録、診療情報の管理と記録および医療面接のマナー、聴取事項について学修する。 ・事前学習時間：50分 ・事後学習項目：授業時配布プリントの復習 ・事後学習時間：50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し・講義資料およびスライド 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ａ　意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ８　診察の基本 ウ　医療面接 ｂ　自己紹介、患者の確認 ｃ　マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） ｄ　聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） ｅ　患者への説明・声かけ・例示	＊青木　伸一郎
2025/10/27（月） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査、治療計画、歯周治療および歯周治療用材料を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。	＊高井　英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/27（月） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （歯周）	2. 歯周組織検査について理解できる。 3. 治療計画を立案できる。 4. 歯周基本治療について理解できる。 5. 歯周外科治療の基本手技について理解できる。 6. 歯周治療用材料について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査および治療計画について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 ア　口腔検査 ｃ　歯周組織（歯周病）検査	＊高井　英樹
2025/10/27（月） 2時限 10:00～10:50	U14必修・領域A （歯周）	【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査、治療計画および治療法について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織検査について理解できる。 3. 治療計画を立案できる。 4. 歯周治療について理解できる。 5. 歯周外科治療の基本手技について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査、治療計画および治療法を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｄ　歯周治療	＊高井　英樹
2025/10/27（月） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （歯内）歯内療法全般	【授業の一般目標】 歯髄根尖歯周組織疾患の適切な診断・治療ができるようになるために、歯内治療の知識全般を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内分野における主要症候を説明できる。 3. 歯内分野における検査を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容　歯内療法全般 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体　プリント　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ　病因、病態 ２　口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア　主な病因・病態 ｂ　歯・歯周組織の疾患	＊神尾　直人
2025/10/27（月） 4時限 13:00～13:50	U14必修・領域A （歯内）歯内療法全般	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内治療の知識全般を習得する。	＊神尾　直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	U14必修・領域A （歯内）歯内療法全般	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の治療の基本的術式を説明できる。 3.歯内分野における正常構造と機能、発生、加齢を説明できる。 4.歯内分野における病因、病態を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法総論全般 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 学修媒体　パワーポイント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ５　歯と歯周組織の構造 イ　組織と性状 ａ　エナメル質、象牙質、歯髄	＊神尾　直人
2025/10/27（月） 5時限 14:00～14:50	U14必修・総論A （臨検）検査の意義・基準値まとめ	【授業の一般目標】 口腔領域に特徴的な症状を呈しかつ歯科治療に影響を及ぼす全身疾患、特に貧血について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.生体内における検査の内容を理解する。 3.基準値を復讐する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：生体内における検査の内容を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：糖尿病の検査所見・症状について理解する。 事後学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ　顎・口腔領域の疾患 ４　主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ク　赤血球系疾患 ａ　貧血	＊深津　晶
2025/10/28（火） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （小児）小児歯科まとめ１	【授業の一般目標】 小児の発育を考慮した小児歯科治療を実践するために、小児の身体的・精神的発達を理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の発育を説明できる。 3.身体発育の特徴を説明できる。 4.身体発育と精神発達の評価法を説明できる。 5.小児の生理的特徴を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の身体的・精神的発達について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 イ　人体の発育 ａ　発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化	＊伊藤　龍朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28（火） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （小児）小児歯科まとめ１	イ　人体の発育 ｂ　成長・発達（形態的・生理的変化）の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達） ｃ　小児の生理的特徴	＊伊藤　龍朗
2025/10/28（火） 2時限 10:00～10:50	U14必修・領域A （小児）小児歯科まとめ２	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の外傷、乳歯の抜歯について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の外傷について説明できる。 3.小児の抜歯について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯周疾患、歯の外傷、外科的処置の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ａ　乳歯 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 ４　小児の歯・口腔・顎の外傷 ア　歯の外傷の病態・診断・治療 ｂ　永久歯 エ　児童虐待による歯の外傷 オ　歯の外傷の予防	＊岡本　京
2025/10/28（火） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （矯正）器具器材	【授業の一般目標】 矯正治療に用いる器具・器材について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.矯正治療の流れを説明できる。 3.診療に用いる器具・器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：矯正治療に用いる器具・器材 準備学修時間：３０分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクテェブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学　第6版　医歯薬出版 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ　治療 ２　歯・歯周組織・咬合の治療 ア　基本的術式 ｅ　不正咬合の治療	鈴木　裕介
2025/10/28（火） 4時限 13:00～13:50	U14必修・領域A （矯正）矯正装置	【授業の一般目標】 歯科矯正治療で用いる装置について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べることができる。 3.舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 4.ヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 5.床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 6.拡大装置の種類および作用効果について説明できる。 7.矯正治療前後での計測角の変化について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について 準備学修項目：（60分） 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分	鈴木　裕介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28（火） 4時限 13:00～13:50	U14必修・領域A （矯正）矯正装置	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：ＰＣ、配布資料、教科書（歯科矯正学第6版：ｐ215－262） 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ　成長・発育に関連した疾患・病態 １０　不正咬合の治療 イ　乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 ａ　動的咬合誘導	鈴木　裕介
2025/10/28（火） 5時限 14:00～14:50	U14必修・領域A （インプラント） 上部構造、装着	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラントの補綴術式を説明する。 3.インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 過去の講義・実習時に配布した，該当範囲レジュメの通読 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：スライド、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作	＊村上　洋 ＊網野　雄太
2025/10/29（水） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A (障害者）摂食嚥下	【授業の一般目標】 摂食嚥下機能障害の病態から検査および対応が選択できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。 3.摂食嚥下障害の病因および病態について説明できる。 4.摂食嚥下機能検査について説明できる。 5.摂食嚥下障害への対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第２版の該当項目について予習する. ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド，配布資料 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｆ　摂食嚥下障害 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ６　口腔・顎顔面の機能 エ　嚥下 ａ　摂食嚥下の5期 総論Ⅴ　診察	＊林　佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/29（水） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （障害者）摂食嚥下	５　高齢者への対応 イ　評価 ｅ　摂食嚥下障害 歯科医学各論 各論Ⅴ　配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 ７　摂食嚥下障害への対応〈摂食機能療法〉 イ　代償的アプローチ ウ　環境改善的アプローチ エ　心理的アプローチ オ　栄養療法 歯科医学総論 総論Ⅵ　検査 １　口腔検査・顎口腔機能検査 イ　顎口腔機能検査 ｅ　摂食嚥下機能検査	＊林　佐智代
2025/10/29（水） 2時限 10:00～10:50	U14必修・領域A （障害者）障害者歯科関連まとめ	【授業の一般目標】 障害児・者の歯科治療が行えるようになるために、障害者や高齢者の対応について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.障害者の保健・医療・福祉について述べられる。 3.障害者の概念や分類を説明できる。 4.障害者の行動調整法について述べられる。 5.障害者および高齢者の歯科治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 準備学習時間　60分 事後学修項目　スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版　該当項目について熟読する。 事後学習時間　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ア　障害の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ　診察 ３　障害者への対応 ウ　行動調整 エ　診察の基本 オ　歯科治療上留意すべき事項 ５　高齢者への対応 ア　診療の基本 ａ　診察時の注意	＊梅澤　幸司
2025/10/29（水） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （歯冠）クラウンブリッジ補綴学のまとめ①	【授業の一般目標】 有歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な歯冠補綴装置の治療に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。 3.歯冠補綴装置の装着までの診療の流れについて説明できる。 4.歯冠補綴装置に関わる歯科補綴治療の治療計画について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア，配付プリント，教科書 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ３　クラウンブリッジによる治療 ア　クラウンブリッジの設計	＊飯田　崇
2025/10/29（水） 4時限	U14必修・領域A （歯冠）クラウン	【授業の一般目標】 有歯顎患者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるために必要な歯冠補綴装置	＊飯田　崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00～13:50	ブリッジ補綴学のまとめ②	の治療に関する知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.クラウンブリッジ補綴学の定義と意義を説明できる。 3.歯冠補綴装置の種類について説明できる。 4.歯冠補綴装置の製作方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ　主要症候 ２　口腔・顎顔面の症候 ウ　歯列、咬合	＊飯田　崇
2025/10/29（水） 5時限 14:00～14:50	U14必修・領域A （インプラント） 上部構造装着、IOD	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。」 2.インプラントの補綴術式を説明する。 3.インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 過去の講義・実習時に配布した，該当範囲レジュメの通読 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：スライド、配布プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 ウ　臨床操作 ｂ　二次手術 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ　歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 ６　インプラント義歯による治療 エ　上部構造の製作 ａ　セメント固定式上部構造の製作	＊村上　洋 ＊網野　雄太
2025/10/30（木） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （有床）有床義歯のまとめ１	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者及び無歯顎患者に対する歯の欠損によって生じる障害の治療を適切に行えるようになるために、基本的術式および関連知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者の治療に関連する人体の正常構造・機能について説明できる。 3.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者の治療に関連する加齢変化について説明できる。 4.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者の病因・病態を説明できる。 5.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者にみられる症候を説明できる。 6.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者の治療に必要な診察・検査項目を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義資料及び国家試験過去問題の確認 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり Google form等による問題演習、反転授業 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室	＊五十嵐　憲太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/30（木） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （有床）有床義歯のまとめ１	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｅ　咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 ５　人体の発生・成長・発達・加齢変化 エ　人体の加齢変化 ａ　細胞・組織・器官の形態的変化（口腔および顎骨を含む） ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｆ　摂食嚥下障害 ｇ　発話障害〈発話機能障害〉 ７　主要症候 イ　口腔・顎顔面領域の症候 ｅ　歯列・咬合の症候（不正咬合） ８　診察の基本 カ　歯列・咬合の診察 ｂ　咬合状態 ９　検査・臨床判断の基本 オ　口腔・顎顔面の検査 ｇ　口腔機能の検査	＊五十嵐　憲太郎
2025/10/30（木） 2時限 10:00～10:50	U14必修・領域A （有床）有床義歯のまとめ２	【授業の一般目標】 部分歯列欠損患者及び無歯顎患者に対する歯の欠損によって生じる障害の治療を適切に行えるようになるために、基本的術式および関連知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床実務経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者の治療の流れを説明できる。 3.部分歯列欠損患者及び無歯顎患者の治療に必要な器具・器材を説明できる。 4.有床義歯補綴学に関連する歯科医学史を説明できる。 5.有床義歯補綴学に関連する歯科医学英語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：これまでの講義資料及び国家試験過去問題の確認 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり Google form等による問題演習、反転授業 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 ケ　歯・歯周組織に対する基本的処置 ｅ　歯の欠如・欠損の治療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １１　治療の基礎・基本手技 シ　口腔機能のリハビリテーション ａ　咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能 ス　患者管理の基本 ａ　口腔環境の評価（口腔清掃状態、補綴装置の清掃状態、残存歯の状態、口腔粘膜の状態、咬合状態、補綴装置の適合状態、顎堤の状態、唾液、味覚） セ　歯科材料・機器 ｃ　印象用材料・機器 ｄ　模型用材料、ワックス ｆ　歯冠修復・義歯用材料 １２　一般教養的事項 ア　医学史、歯科医学史 ウ　歯科医療に必要な基本的医学英語	＊五十嵐　憲太郎
2025/10/30（木） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （口外）口腔外科まとめ①	【授業の一般目標】 口腔外科領域の問題を解くための基本知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：臨床実地問題（口腔外科学領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義	＊山本　泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/30（木） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （口外）口腔外科まとめ①	【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｉ　外傷	＊山本　泰
2025/10/30（木） 4時限 13:00～13:50	U14必修・領域A （口外）口腔外科まとめ②	【授業の一般目標】 口腔外科領域の問題を解くための基本知識を修得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3.与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：臨床実地問題（口腔外科学領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目:講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間:60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ６　主要な疾患と障害の病因・病態 イ　口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 ｉ　外傷	＊山本　泰
2025/10/31（金） 1時限 09:00～09:50	U14必修・領域A （麻酔）全身の兆候	【授業の一般目標】 全身の兆候（脱水、浮腫、ショック）について理解することが出来る。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.悪心・嘔吐について説明することができる。 3.脱水について説明することができる。 4.浮腫について説明することができる。 5.ショックについて説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「4.管理上問題となる疾患」 ・準備学修時間：30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ７　主要症候 ア　全身の症候 ａ　発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、不整脈、血圧上昇・低下、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嚥下障害、誤嚥、悪心、嘔吐、下痢 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 ア　救急患者の診察 ａ　救急処置を要する症状および病態（心停止、失神、ショック、けいれん、頭痛、運動麻痺、呼吸困難、胸痛、アレルギー症状、誤飲、誤嚥）	＊辻　理子
2025/10/31（金） 2時限 10:00～10:50	U14 必修・領域A （麻酔）全身偶発症	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症とその対応および予防について理解する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.血管迷走神経反射の発症機序について説明することができる。 3.血管迷走神経反射発症時の対応について説明することができる。 4.過換気症候群の発症機序について説明することができる。 5.過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 6.合併症の予防について説明することができる。 7.アナフィラキシーショックについて説明することができる。	＊辻　理子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/31（金） 2時限 10:00～10:50	U14 必修・領域A （麻酔）全身偶発症	8.アナフィラキシーショックの対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15.歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30 分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １０　初期救急 ア　救急患者の診察 ａ　救急処置を要する症状および病態（心停止、失神、ショック、けいれん、頭痛、運動麻痺、呼吸困難、胸痛、アレルギー症状、誤飲、誤嚥）	＊辻　理子
2025/10/31（金） 3時限 11:00～11:50	U14必修・領域A （放射線）放射線学関連問題解説	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、顎口腔領域における画像検査、放射線治療について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査 ａ　放射線の性質と作用	＊村岡　宏隆
2025/10/31（金） 4時限 13:00～13:50	U14必修・領域A （放射線）放射線学関連問題解説	【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、顎口腔領域における画像検査、放射線治療について学ぶ。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.放射線の作用と性質について説明できる。 3.放射線の防護・管理について説明できる。 4.顎口腔領域における画像検査の原理、特徴、適応について説明できる。 5.顎口腔領域における放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査、放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：放射線の作用と性質、放射線の防護・管理、画像検査・放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ９　検査・臨床判断の基本 カ　画像検査	＊村岡　宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/31（金） 4時限 13:00～13:50	U14必修・領域A （放射線）放射線学関連問題解説	a　放射線の性質と作用	＊村岡　宏隆
2025/11/04（火） 1時限 09:30～10:25	平常試験14および解説講義	【授業の一般目標】 歯科臨床医学の必修・総論に関する修得状況について確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 歯科臨床医学の必修・総論に関する知識のアウトプット状況を確認し修正できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集など ・準備学修時間：知識の修読に十分な準備学修時間 【学修方略（ＬＳ）】 その他 【場所（教室/実習室）】 205教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし	＊根岸　慎一